

関文化交流センター改修工事

図 面 目 録

(建築)	図番	図面名称	(電気)	図番	図面名称	(機械)	図番	図面名称
	A - 01	特記仕様書1(建築)		E - 01	特記仕様書(電気・包含)		M - 01	特記仕様書(機械)
	02	特記仕様書2(建築)		02	電気設備 1階平面図(改修図)		02	器具表 身障者便所詳細図
	03	特記仕様書3(建築)		03	電気設備 2階平面図(改修図)		03	改修前 便所平面詳細図
	04	特記仕様書4(建築)		04	電気設備 3階平面図(改修図)		04	改修後 便所平面詳細図
	05	特記仕様書(構造・S造)		05	電気設備 1階平面図(撤去図)		05	改修後 換気平面詳細図
	06	特記仕様書(解体)		06	電気設備 2階平面図(撤去図)			
	07	配置図・案内図・工事概要		07	電気設備 3.4階平面図(撤去図)			
	08	仕上表		08	電気設備 平面詳細図			
	09	改修前・改修後 1階平面図						
	10	改修前・改修後 2階平面図						
	11	改修前・改修後 3階平面図						
	12	改修前・改修後 屋根伏図						
	13	改修前 平面詳細図						
	14	改修後 平面詳細図						
	15	改修前 矩形図						
	16	改修後 矩形図						
	17	展開図1						
	18	展開図2						
	19	建具表						
	20	E V詳細図1						
	21	E V詳細図2						
	22	部分詳細図						
	23	伏図						
	24	軸組図						
		(参考)仮設計画図						

工事特記仕様書

I. 工事名 関文化交流センター改修工事

II. 工事概要

1. 工事場所 三重県亀山市関町泉ヶ丘1011 - 1
2. 敷地面積 5934.00 m²
3. 工事内容
 - 棟名称 -
 - 構造 RC,SRC造 3階建
 - 建築面積 1257.59 m²
 - 延床面積 1933.51 m²
 - 工事項目 建築工事

- III. 建築工事仕様
1. 共通仕様
 - 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成22年度版）（以下、標準仕様書という。）による。
 2. 特記仕様
 - 1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
 - 2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。
印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。
特記事項に記載される内容が複数ある事項については 印の付いたものを適用し 印の付いたものは適用しない。
使用材料等で、複数の材料に 印が付いたものは図面による。
 - 3) 項目に記載の ()内番号は標準仕様書の該当項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
①	① 適用基準等	本特記事項に個別の記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 建築工事標準詳細図 (平成22年版)
②	② 工事実績情報の登録等 (1.1.4)	○ 請負者は、受注時において工事請負代金額が、500万円の工事について、(財)日本建設情報総合センター工事実績情報サービス(以下「JACIC」)が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。 データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約締結後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時においては、変更契約締結後10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等は含まない。 ○ 請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し、必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書(第9号様式)を監督員に提出しなければならない。 ○ 請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額(当該下請契約が2以上ある時は、それらの金額の総額)が4,500万円以上になるとき施工体制台帳を作成し、工事現場に備えと共に、別に定める様式により、監督員に提出しなければならない。 ○ 請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により監督員に提出しなければならない。
③	③ 発生材の処理等 (1.3.8)	・ 引渡しを要するもの() ・ 特別管理産業廃棄物 有() 処理方法() ・ 現場において再利用を図るもの() ・ 再生資材の利用を図るもの ○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ 引渡しを要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し、監督員へ提出すること。 ○ 引渡しを要しないもの、再生資源化を図るもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令のほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。 (マニフェストA、B、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。)

4	建設副産物情報交換システムの利用	工事は受注時において延べ面積が500m ² 以上の工事については、 「工事着工前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。 また、工事完了後にはJACICが運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。																												
⑤	三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表を(マニフェスト)の数量の集計を越えて請求することはできない。																												
⑥	概成工期	建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態にまで完了していること。																												
7	電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																												
⑧	技能士 (1.5.2)	職種別に可能なものについては積極的に活用すること。																												
⑨	建築材料等	本工事に使用する 建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」及び別記記載の資材及び見積メーカー(参考)又はこれらと同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと。他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし、「みえ・グリーン購入基本指針」に基づき環境配慮を行うこと。(同指針に基づき、木材を使用する場合において、原料として使用される原木は、 県産間伐材、林地残材又は小径木等とするか、又はその伐採にあたって生産された国における森林に関する法令に照らして合法な木材とすること。) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木、利用推進協議会が認証する「三重の木」の優先利用に努めること。 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散の少ないものとする。 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散の少ないものとする。 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシルを含有しない難燃発性の可塑性材料を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が少ないものとする。 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が少ないものとする。 これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散の少ないものとする。																												
10	リサイクル認定製品の利用	本工事では三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき性能、品質、数量、価格等に考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な場合は監督員と協議すること。																												
①	施工中の安全管理	接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出させること。																												
⑫	室内空気中の化学物質の濃度測定	測定物質(示したものとす。) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 集会所</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 住宅</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ その他</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン	○ 集会所	○	○	○	○	○	○	○ 住宅	○	○	○	○	○	○	○ その他	○	○	○	○	○	○
施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																								
○ 集会所	○	○	○	○	○	○																								
○ 住宅	○	○	○	○	○	○																								
○ その他	○	○	○	○	○	○																								
⑬	特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。																												
⑭	騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械を使用する。																												
⑰	排出ガス対策建設機械の使用	排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。																												

⑱	工事写真	工事写真の撮り方 / 建築、及び同 / 建築設備に従い撮影する。 電子納品とし、次のものを提出する。 CD 部数は「19 電子納品」を参照 全写真のサルネームを印刷したもの(A4版用紙) 1部 代表的写真を抽出し、L版相当サイズ(A4版用紙に1ページあたり3枚)で印刷したもの 1部
⑰	完成図等	作成する (完成図 ・ 保全に関する資料) 完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等) なお、完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。 ○ CADによる作成 (要 ・ 不要) ただし、作成できない場合は監督員との協議による。 ○ CADによる提出 (要 ・ 不要) ただし、提出できない場合は監督員との協議による。
⑱	完成写真	デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (A4版用紙に1ページあたり3枚) ○ アルバム 1部 (大きさ 335mm x 290mm程度) 箇所数は 外観4面 各室2面 程度とする。 規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
⑲	電子納品	工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。 (提出部数 2部 ・ 部) 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。 (提出部数 2部 ・ 部)
⑳	設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強 駆動装置又は電動建具等による建具等の2次側配管配線及び 操作スイッチ施工図 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
㉑	設計GL	図示のベンチマーク(BM) ○FL=-300 (現状地盤はBM mm)
㉒	養生その他	工事施工に際し既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にない補修すること。
㉓	事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書(三重県公共工事共通仕様書第13号様式)を監督員に速やかに提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
㉔	調査協力	受注者は、発注者が行う生コンクリートに関する調査に協力すること。 調査内容については、購入先、購入価格、資材の搬入と施工に条件に関すること等、詳細は監督員と別途協議によるものとする。
㉕	市内企業優先使用	本工事に於いて、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を亀山市内に事業所(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者の中から選定するよう努めること。
㉖	ISO14001への協力	受注者は、亀山市のISO14001に基づく「環境保全活動」に協力するものとする。詳細は監督員と別途協議するものとする。
㉗	工法の提案 (1.5.8)	設計図書に定められた工法以外で所要の品質及び性能の確保が可能な工法並びに環境の保全に有効な工法の提案がある場合は、監督職員と協議する。
㉘	提出書類	監督員より別途指示するものとする。

②	① 足場 (2.2.4)	枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生 労働省平成15年4月策定)」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりや巾木の機能を有する部材をあらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または、改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。																																				
設	2 監督職員事務所 (2.3.1)	設置する 監督職員事務所の規模(単位:m2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>規模</th> <th>(10程度)</th> <th>(20程度)</th> <th>(35程度)</th> <th>(65程度)</th> <th>(100程度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 監督職員事務所の仕上げ <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁、天井</td> <td>合板 又は せつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>溶融亜鉛めっき合板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </tbody> </table>	規模	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)	面積						部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁、天井	合板 又は せつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	溶融亜鉛めっき合板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																
規模	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)																																	
面積																																						
部位等	仕 上 げ																																					
床	合板張り又はビニール床シート張り																																					
内壁、天井	合板 又は せつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																					
屋根	溶融亜鉛めっき合板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																					
工	3 監督職員事務所の備品等 (2.3.1)	備品等の設置 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長くつ</th> <th>雨がっぱ</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>湯沸器</th> <th>掃除具</th> <th>請負者加入電話機</th> <th>機器</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </tbody> </table>	種類	机・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計	数量	個	個	個	個	個	種類	長くつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	湯沸器	掃除具	請負者加入電話機	機器	数量	個	台	個	台	台
種類	机・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計																																	
数量	個	個	個	個	個																																	
種類	長くつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																	
数量	足	着	個	個	台																																	
種類	消火器	湯沸器	掃除具	請負者加入電話機	機器																																	
数量	個	台	個	台	台																																	
事	④ 仮設便所	構内既存の施設 ・ 利用できる 利用できない																																				
	⑤ 工用水	構内既存の施設 ○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) 利用できない																																				
	⑥ 工用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) 利用できない 本工事で新規受電または既設電氣回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。																																				
③	① 埋戻し及び盛り土 (3.2.3)(表3.2.1)	種別 ・ A種 B種 ・ C種 ・ D種																																				
②	② 建設発生土の処理 (3.2.5)	自由処分 ・ 処分地指定 処分地 () ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km																																				
④	1 試験杭及び試験掘り (4.2.2)	・ 試験杭 ・ 位置及び本数 図示 本 最初の ・ 試験堀 ・ 位置、形状及び箇所数 図示 ・																																				
2	杭の載荷試験 (4.2.3)	試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 ・ 載荷荷重(kg) 報告書 提出部数 2部																																				
3	地盤の載荷試験 (4.2.4)	試験方法 平板載荷 2箇所 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 図示 ・ 地耐力長期(fe=100kN/m ²) 報告書 提出部数 2部																																				
4	既成コンクリート杭 (4.3.2)	・ PHC杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ SC杭 ・ 1種 ・ 2種 (・ A種 ・ B種 ・ C種) ・ RC杭 ・ 1種 ・ 2種 (・ A種 ・ B種 ・ C種)																																				
	(4.3.3)	・ 上記以外の建築基準法に基づく杭 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ 長さ ()m 先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型																																				
	(4.3.4)	施工方法 ・ 打込み工法(支持力) ・ 打撃工法 ・ プレボーリング併用打撃工法																																				
	(4.3.5)	・ 掘削深さ 設計GL- m 掘削径 mm)																																				
	(4.3.6)	・ セメントミルク工法 (支持地盤) ・ 特定埋込杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) (支持地盤)																																				
	(4.3.7)	継手 アーク溶接 ・ 無溶接継手 (工法) 杭頭の処理 行う ・ 行わない																																				



地 業 工 事	④ 5 鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2)	・鋼管杭 ・SKK400 ・SKK490 ・H形鋼管杭 ・SHK400 ・SHK400M ・SHK490M 径 300 ・350 ・400 ・450 長さ ()m 先端形状 開放形 補強工法 補強バンド 継手 JISA5525(鋼管くい)
	(4.3.3)	施工方法 ・打込み工法(支持力) ・打撃工法 ・プレローリング併用打撃工法 (掘削深さ設計GL- m 掘削径 mm)
	(4.3.4)	・セメントミルク工法(支持地盤)
	(4.3.5)	・特定埋込杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とする。)
	(4.4.5)	(支持地盤) 杭頭の処理 行う ・行わない
	6 場所打ち コンクリート 杭地業	施工方法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・鋼管コンクリート杭工法 ・掘底 (・行う ・行わない)
	(4.5.4)	
	(4.5.5)	
	(4.5.3)	鉄筋 鉄筋の種類は標準仕様書 5章2節による
	(表4.5.1)	コンクリートの種別 ・A種 ・B種 設計基準強度() N/mm ² セメントの種類 高炉セメントB種 最小かぶり厚さ 100 支持地盤()
7 地盤改良	・(表層改良 浅層改良)工法	
(4.5.4)		
⑧ 砂及び砂利地業 (4.6.3)	厚さ(mm) 60 (図示) 仕上がりレベルを計測し、記録すること、	
⑨ 捨コンクリート地業 (4.6.5)	厚さ(mm) 60 ・50 仕上がりレベルを計測し、記録すること、	
⑩ 床下防湿層 (4.6.6)	○ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上) 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする、	

鉄 筋 工 事	⑤ ① 鉄筋の種類 (5.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>鉄筋の記号</th> <th>径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD295A</td> <td>D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD295B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>D19以上</td> <td></td> </tr> </table> ・建築基準法第37条の規定に基づく認定を受けたもの	鉄筋の記号	径	備考	SD295A	D16以下		SD295B			SD345	D19以上	
	鉄筋の記号	径	備考											
	SD295A	D16以下												
	SD295B													
	SD345	D19以上												
	2 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 4 ・5 ・6 ・10 寸法 (mm) 100×100 ・150×150												
	③ 継ぎ手 (5.3.4)	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>重ね継手</td> <td>D19以上</td> <td>全て</td> </tr> <tr> <td>ガス圧接</td> <td>D22以上</td> <td>全て</td> </tr> </table>		径	部位	重ね継手	D19以上	全て	ガス圧接	D22以上	全て			
		径	部位											
	重ね継手	D19以上	全て											
	ガス圧接	D22以上	全て											
4 圧接完了後の 試験 (5.4.9)	抜取試験方法 超音波探傷 ・引張試験													
5 特殊な鉄筋・継手 種類 (5.5.2)														
6 杭頭補強方法 (別図1.1)	・A形 B形													
⑦ 帯筋 (別図1.1)	帯筋組立の形 H形 ・W-I形 ・SP形 ・丸型													
⑧ 梁貫通孔補強 (別図表7.1)	配筋種別 ○H()形 ・M()形 ・HM()形													
9 荷物吊上げ用 フック (別図表7.3)	・A種 ・B種 ・C種													

コ ン ク リ ー ト 工 事	⑥ ① 普通コンクリートの 種類 (6.1.3)	○普通コンクリート ・軽量コンクリート
	② レディーミスト コンクリートの 種類 (6.1.5)	Ⅰ類 ・Ⅱ類
	③ コンクリートの 仕上り (6.2.5)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別 ・A種 ○B種 ・C種
	④ セメント (6.3.2)(表6.3.1)	種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種
	⑤ 型枠 (6.9.3)	材料 複合合板 (厚さ 12)
	⑥ コンクリートの 強度試験 (6.10.4)	圧縮強度試験の供試体の材齢及び養生方法 材齢28日 (標準養生) 材齢28日 (現場水中養生) ・型枠脱型用 (現場水中養生)
	7 軽量コンクリート (6.11.1)(表6.11.1)	種別 ・1類 ・2類
	8 無筋コンクリート (6.14.1)	適用箇所 標準仕様書 6.14.1 による ・上記以外の適用箇所 () 設計基準強度 18 (N/mm ²) (N/mm ²) スラブ 15cm ・18cm
	7 ① 施工管理技術者 (7.1.3)	適用する
	② 製作工場 (7.1.3)	建築基準法77条の45項第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鉄構工業会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・上記に定める下記グレードをして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・R ○M ・H ・S

骨 工 事	③ 鋼材 (7.2.1)	材質 ○SS400 ・SKT400 ○STKR400 ・SSC400 ・BCR295 ・SN400 ・建築基準法に基づき指定及び認定を受けたもの																
	④ 高力ボルト (7.2.2)	種類 トルシア形高力ボルト2種(S10T) ・JIS形高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (建築基準法に基づき指定及び認定を受けたもの) 1種(F8T相当)																
	⑤ アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) (表7.10.1)	材質 構造用 SNR400 建方用 SS400 ・建方用アンカーボルトの保持及び埋込み ・A種 B種 ・C種 (表7.10.2)																
	⑥ 溶接部の開先 (7.6.4)	開先の形状 開先の形状は、原則として、国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による、																
	⑦ 溶接部の試験 (7.6.11)	試験の種類 超音波探傷試験 <table border="1"> <tr> <th>溶接区分</th> <th>AQOL(%)</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>2.5</td> <td></td> <td>計数連続生産型抜取検査</td> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>2.5</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	溶接区分	AQOL(%)	検査水準	備考	現場溶接	2.5		計数連続生産型抜取検査	工場溶接	2.5	6			4.0		
	溶接区分	AQOL(%)	検査水準	備考														
	現場溶接	2.5		計数連続生産型抜取検査														
	工場溶接	2.5	6															
		4.0																
	⑧ 錆止め塗装 (18.3.3) (7.8.3)	・鉄骨等錆止め塗料塗り工法 1回目 製作工場の組立後 2回目 工事現場において建て方及び溶接完了後 ・塗料の種類 標準仕様書18.3.2による ・JISK5724																

9 耐火被覆 (7.9.2)	種別 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材吹付け ・耐火板張り ・耐火材巻き付け 所要性能 建築基準法の規定に基づき指定又は認定を受けた物 (ロックウールt=25 一時間耐火)
10 亜鉛メッキ	種別 A種 ・B種

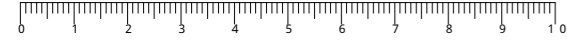
ブ ロ ッ ク 造 り 工 事	8 ① 補強コンクリート ブロック造 (8.2.2)	ブロックの種類・厚さ 空洞ブロック16 各部の配筋 標仕別図8節による																				
	② コンクリート ブロック (8.3.2)	ブロックの種類 空洞ブロック16 (ただし、衛生配管用裏積みブロックは、空洞ブロック08とすることができる。)																				
	③ ALC/パネル (8.4.4) (表8.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>単位荷重 (N/m²)</th> <th>呼び寸法 厚さ(mm) 幅(mm)</th> <th>取付方法</th> </tr> <tr> <td>外壁用パネル</td> <td>・100 ・120</td> <td>600</td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>間仕切用パネル</td> <td>・100 ・120</td> <td></td> <td>・B種 ・C種 ・D種 ・E種</td> </tr> <tr> <td>屋根用パネル</td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床用パネル</td> <td>・100 ・120 ・150</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	単位荷重 (N/m ²)	呼び寸法 厚さ(mm) 幅(mm)	取付方法	外壁用パネル	・100 ・120	600	・A種 ・B種 ・C種	間仕切用パネル	・100 ・120		・B種 ・C種 ・D種 ・E種	屋根用パネル	・100			床用パネル	・100 ・120 ・150		
	種類	単位荷重 (N/m ²)	呼び寸法 厚さ(mm) 幅(mm)	取付方法																		
	外壁用パネル	・100 ・120	600	・A種 ・B種 ・C種																		
	間仕切用パネル	・100 ・120		・B種 ・C種 ・D種 ・E種																		
	屋根用パネル	・100																				
	床用パネル	・100 ・120 ・150																				
	(8.4.3)	外壁パネルの取付方法 A種 ・B種 ・C種																				
	(8.4.4)	耐火目地材の充填(材料 A種 ・B種) 間仕切パネルの取付方法 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種																				
4 ④ 押出成形 セメント板 (8.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状及び 原料区分</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>働き幅 (mm)</th> <th>取付方法</th> </tr> <tr> <td>・外壁用 パネル</td> <td>・フラットパネル ・デザインパネル</td> <td>・100</td> <td></td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁 パネル</td> <td>・フラットパネル ・デザインパネル</td> <td>・100</td> <td></td> <td>・B種 C種</td> </tr> </table>	種類	表面形状及び 原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	取付方法	・外壁用 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル	・100		・A種 ・B種	・間仕切壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル	・100		・B種 C種						
種類	表面形状及び 原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	取付方法																		
・外壁用 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル	・100		・A種 ・B種																		
・間仕切壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル	・100		・B種 C種																		
(8.5.3)	外壁パネルの取付方法 ・A種 ・B種 間仕切パネルの取付方法 ・B種 ・C種																					

防 水 工 事	⑨ ① アスファルト防水 (表9.2.3) ~(表9.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種別															
	施工箇所	種別																	
	(9.2.2)	アスファルトの種類 3種 ・4種 ・絶縁用シート ポリエチレンフィルム(厚さ 0.1mm以上) ・フラットヤークロス(70g/m) ² ・押え金物 アルミ製 L-30×15×2.0																	
	(9.2.2)	・断熱工法の断熱材 種類 JIS A9511(ポリエチレンフォーム保温材) 3種b類(スキン層付) ・立上り保護 ・軒先保護材() ・れんが(材種 JIS R1250 ・脱気装置 製造書の仕様による ・種類() 設置数量()箇所 ・防水層下地モルタル塗(施工箇所:) ・保護コンクリートの厚さ 80																	
	(9.2.5)																		
	(9.3.2) (表9.3.1)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>AS-1</td> <td>2.5 ・3.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>AS-2</td> <td>4.0</td> </tr> </table>	施工箇所	種別	厚さ(mm)		AS-1	2.5 ・3.0		AS-2	4.0								
	施工箇所	種別	厚さ(mm)																
		AS-1	2.5 ・3.0																
		AS-2	4.0																
(9.4.2) (表9.4.1)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>S-F1</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S-F2</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S-M1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S-M2</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S-M3</td> <td>1.2</td> </tr> </table>	施工箇所	種別	厚さ(mm)		S-F1	1.2		S-F2	2.0		S-M1	1.5		S-M2	1.5		S-M3	1.2
施工箇所	種別	厚さ(mm)																	
	S-F1	1.2																	
	S-F2	2.0																	
	S-M1	1.5																	
	S-M2	1.5																	
	S-M3	1.2																	
	・絶縁用シート 発泡ポリエチレンシート ・露出の場合の保護塗装 ・カラー ・シルバー																		

4 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td>X-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>X-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y-2</td> </tr> </table>	施工箇所	種別		X-1		X-2		Y-1		Y-2
	施工箇所	種別									
		X-1									
		X-2									
		Y-1									
		Y-2									
	種別 X-1 における脱気装置 製造書の仕様による										
	種別 Y-2 における保護層を適用する										
	表9.6.1による										
	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td>幅 10.15mm</td> <td>MS-2</td> </tr> </table>	施工箇所	目地寸法	種別		幅 10.15mm	MS-2				
施工箇所	目地寸法	種別									
	幅 10.15mm	MS-2									
⑤ シーリング (9.6.2) (表9.6.1)											
(9.6.5)	・接着性試験 ○簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ○接着体との組み合わせは、表9.6.1による、										

10 天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種類(名称)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td></td> <td></td> <td>荒磨き</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	使用部位	種類(名称)	厚さ(mm)	表面仕上げ	工法	床			荒磨き		壁				
	使用部位	種類(名称)	厚さ(mm)	表面仕上げ	工法											
	床			荒磨き												
	壁															
	(10.1.5) (表10.2.1) (10.6.2)	・清掃は床面ワックスを使用する ・ジェットバーナーで上面のバフ仕上有り ・石裏面処理(床面) 適用する ・適用しない														
	(10.1.3)	・割付 標仕10.1.3(a)による														
	2 テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ</th> <th>表面仕上</th> </tr> <tr> <td></td> <td>大理石</td> <td>1.5 - 12mm</td> <td></td> </tr> </table>	使用部位	種石の種類	種石の大きさ	表面仕上		大理石	1.5 - 12mm							
	使用部位	種石の種類	種石の大きさ	表面仕上												
		大理石	1.5 - 12mm													

タ イ ル 工 事	⑩ ① 張付用材料 (11.2.3)	タイル製造所の指定する製品とする 有機質接着剤は、JIS A5548(陶磁器質タイル用接着剤)による F ・F																		
	2 陶磁器質タイル 張り (表11.3.2) (11.2.1)	タイルの種類 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法 mm</th> <th>きじ 磁器</th> <th>せ 陶器</th> <th>うわ 施器</th> <th>くすり 無ゆう</th> <th>役物 無ゆう</th> <th>色 有標</th> <th>特 注</th> </tr> <tr> <td>男子便所(1.2.3F)</td> <td>ア13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法 mm	きじ 磁器	せ 陶器	うわ 施器	くすり 無ゆう	役物 無ゆう	色 有標	特 注	男子便所(1.2.3F)	ア13							
	施工箇所	形状寸法 mm	きじ 磁器	せ 陶器	うわ 施器	くすり 無ゆう	役物 無ゆう	色 有標	特 注											
	男子便所(1.2.3F)	ア13																		
	(11.4.1)(11.4.2)	種別 タイルシート工法 ・目地樹法 ・棧木法																		
		・見本焼きを行う ・タイルの試験張りを行う																		



木 工 事	1 木材 (12.1.4) (12.2.1)(表12.2.1) (12.2.1) (12.2.1)(表12.2.2)	・見え掛り部分の表面仕上げ ・A種 B種 C種 ・含水率 A種 B種 ・構造材及び下地材の品質 標準仕様書による ・造作材の品質 A種 B種 樹種
	2 床張り用合板 及びその他の 合板 (12.2.3)	ホルムアルデヒドの放散量 F
	3 集成材等 (12.2.2)	ホルムアルデヒドの放散量 F 適用箇所 品名 強度等級曲げ樹種品質 樹種名 接着性能
	4 防腐・防蟻処理 (12.2.1)(表12.2.3)	・代用樹種を適用する
	5 防虫処理	・構造用集成材躯体木工事仕様書による。 表面処理用木材保存(防腐・防蟻)剤は、ホルムアルデヒド含有しない 非ピリン系の薬剤とし、監督員の承諾するものとする。
	6 接着剤	ホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、 メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド 系防腐剤(以下、「ユリア樹脂等」という。)を用いた接着剤のホルムアル デヒドの放散量 F
屋 根 及 び と い 工 事	1 長尺金属板 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)	屋根葺形式 材種及び形状 厚さ(mm) 下蓋 備考 ・瓦棒葺 ・ガルバリウム鋼板 0.4 アスファルトルー (心木なし) フッ素カラー フィング940
	2 折版葺 (13.3.2)	緊結方法 厚さ(mm) 山の高さ(mm) 山のピッチ(mm) 重ね形(波廊下) 0.8 80 250 ・はせ締め形 山による区分 軒先面戸板 (EV部) 鋼板製 使用する ・ガルバリウム鋼板(カラー) ・使用しない
	3 粘土瓦葺 (13.4.2)	種類 大きさ 産地 役物の種類 棟の工法 ・雪止め瓦を使用する ・瓦葺木の材種・寸法 杉又はヒノキ 21×15 ・棟補強用芯材 杉又はヒノキ 40×30
	4 とい (13.5.2) (表13.5.1) (13.5.3) (表13.5.5) (13.5.2)	材種 ・高耐候性特殊樹脂 ・硬質塩化ビニル管(カラー) ・銅管製といの防露 ロックウール保温筒のホルムアルデヒドの放散量 F
金 属 工 事	① 1 あと施工アンカー (14.1.3)	・引抜き耐力の確認試験を行う 引張試験
	② ステンレス (14.2.2)	○表面仕上げ ○HL仕上げ ・鏡面仕上げ
	3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種
	④ 軽量鉄骨 天井下地 (14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3)	野縁などの種類 屋内 ○19型 屋外 25型 屋外の場合の補強 ・有り ・無し 屋外の場合の野縁間隔 ・300程度
	⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.2.1) (表14.2.2)	スタッド、ライナーの種類 ・50形 ○65形 ・90形 ・100形

官 工 事	6 金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3)	施工箇所 材種 ・アルミニウム ・ステンレス ・鋼 形状 ・スパンドレル形 ・パネル形 表面処理 ・B-1 ・B-2
	7 アルミニウム製 笠木 (14.7.2) (表14.7.1)	部材の種類 ・250型 ・300型 ・350型 表面処理 ・B-1種 ・A-1種 隅角部及び突当りの役物 ・有り ・無し
	⑧ 手すり及び タラップ (14.8.2)	材種 表面処理の種別 施工箇所 アルミニウム 表14.2.1の種別(種) 階段、廊下、便所 鋼 ○メーカー仕様 階段 ステンレス ○HL程度 階段
	⑨ 手すり及び タラップ (14.8.3)	材種 表面処理の種別 施工箇所 鋼 表14.2.2の種別(種) 階段 ステンレス 階段
	10 くつふきマット	材種 ・塩化ビニル(受枠 ステンレス SUS304) ・ステンレス SUS304(受枠 ステンレス SUS304) ・硬質アルミニウム合金(受枠 硬質アルミニウム合金)
	① 天井見切縁	材種 ・アルミニウム合金製 ○塩化ビニル製
	② 点検口	取付箇所 材種 寸法 形式 ○天井 ○アルミニウム製 ○450角 ・額縁タイプ ○600角 ○目地タイプ
	⑬ ① モルタル塗り (15.2.2)	・既製目地材を使用する 形状()
	2 仕上塗材仕上げ (15.5.2)	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 F
	3 ロックウール 吹付け (15.7.2)	建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたもの ホルムアルデヒドの放散量 F ・仕上げ吹付厚さ
工 事	種類 呼び名 仕上形状 工法 上塗り材 薄付仕上塗材E 外装薄塗材E ・砂壁状 吹付け 上塗り材E 内装薄塗材E ・砂壁状ジュラック 吹付け 複層仕上塗材E 複層塗材E ・ゆず肌状 ・水系アクリル樹脂 (防水形) ・凸部処理 ・ウレタン樹脂エナメル 色艶あり 複層仕上塗材RE 複層塗材RE ・凹凸模様 ・艶なし 増塗り材 ・メタリック ・行う ・行わない 耐候性 耐候形3種	
	① 1 メタルカーテン ウォール (17.1.3)	耐風圧性能 ・200 ・240 280 耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	2 PCカーテン ウォール (17.1.3)	耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	17 ① 1 メタルカーテン ウォール (17.1.3)	耐風圧性能 ・200 ・240 280 耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	2 PCカーテン ウォール (17.1.3)	耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	① 17 ① 1 メタルカーテン ウォール (17.1.3)	耐風圧性能 ・200 ・240 280 耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	2 PCカーテン ウォール (17.1.3)	耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	① 17 ① 1 メタルカーテン ウォール (17.1.3)	耐風圧性能 ・200 ・240 280 耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	2 PCカーテン ウォール (17.1.3)	耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	① 17 ① 1 メタルカーテン ウォール (17.1.3)	耐風圧性能 ・200 ・240 280 耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。

建 具 工 事	1 アルミニウム製 建具 (16.2.2) (表16.2.1)	外部に面する建具 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 A-3 W-4 70 ・B種 S-5 A-4 W-5 100 ・C種 S-6 A-4 W-5 70 (2800pa) ・100
	2 網戸 (16.2.3)	表面処理 B-1種 ・B-2種 内部に面する建具 表面処理 C-1種 ・C-2種 形式 可動式 ・固定式 網の材質 合成樹脂 ・ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス(SUS316) 網目 ・16メッシュ ・18メッシュ ・40メッシュ
	3 防鳥網	材質及び網目 ステンレス(SUS304) 線径 1.5mm ピッチ 15mm
	④ 鋼製建具 (16.3.2) (表16.2.1)	○簡易気密型ドアセット 気密性 A-3 水密性 W-1 ・外部に面する建具の耐風圧 S-4 ・S-5 ・S-6
	⑤ 鋼製軽量建具 (16.4.2)	○簡易気密型ドアセット 気密性 A-3
	6 ステンレス製建具 (16.5.4) (16.5.5)	ステンレス鋼板 SUS304 表面仕上げ HL 曲げ加工 普通曲げ ・角出し曲げ
	7 木製建具 (16.6.2)(表16.6.1)	建物内部に使用する 木製建具の表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの 放散量 F 建具材の含水率 ・A種 B種 ・C種
	⑧ 建具用金物 (16.7.4)	マスターキー 製作する ・製作しない ○監督員と協議の上システムを決定する
	9 自動ドア開閉 装置 (16.8.2)(表16.8.1) (表16.8.2) (表16.8.3)	開閉装置の性能値 ・スライディングドア ・スイングドア センサの種類 マツスイッチ ・光線スイッチ
	10 重量シャッター (16.10.2) (表16.10.1)	開閉機能による種類 上部電動式(手動併用) ・上部手動式 ・耐風圧性能(JIS A4705による強さの区分) ・50 ・80 ・120 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
11 軽量シャッター (16.11.2) (表16.11.1) (16.11.4)	開閉機能による種類 手動式 ・上部電動式(手動併用) ・耐風圧性能 ・50 ・65 ・80 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	
12 オーバーヘッド ドア (16.12.2) (16.12.3)	セクション材料 開閉形式 収納形式 ガイドレール スチールタイプ バランス式 スタンド形 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローベット形 ・ステンレス ・ファイバー ・電動式 ・ハイリフト形 グラスタイプ ・パーチカル形 ・耐風圧性能 ・50 ・75 ・100 ・125	
⑬ ガラス留め材 (16.13.2) (16.13.4)	留め材は 9章6節のシーリングによる ・防火認定2種防火 ・熱線反射ガラスの映像調整を行う	
カ ー テ ン 工 事	17 ① 1 メタルカーテン ウォール (17.1.3)	耐風圧性能 ・200 ・240 280 耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。
	2 PCカーテン ウォール (17.1.3)	耐震性能 1/200 ・1/100 上記層間変形時に、部材の脱落や主要部材にひずみの残留が残らず、 目地の補修程度で済むこと。

塗 装 工 事	① ① 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 F
	② ② 施工一般 (18.2.2) (18.17.2)	塗料種類 施工箇所 下地の種類 素地ごしらえ 錆止め塗料塗 SOP B種 金物 ○鉄鋼面 ○C種 ○A種(見え掛り) ・B種(見え隠れ) EP B種 階段壁 ○ボード面 ・A種 ○B種 EP-G B種 階段壁 ○RC面 ○A種 ○B種 DP B種 階段柱 ○鉄鋼面 ・A種 ○B種 木材保護塗料 木部見掛 ・木部 2回塗 UVカット樹脂ニス フローリング ・木部 サンダー掛け 3回塗 ・難燃塗料(木部) モーエンアーク 不燃NM-0700 ファイヤーディレーF4 不燃NM-1493同等品 ○錆止め塗料の種類 ○A種 ・B種
	3 マスチック 塗料塗り (18.18.2) (表18.18.1)	種別 凸部処理 仕上材塗り ・A種 ・行う ・行う ・B種 ・行わない ・行わない ・C種 ・行う ・アクリル樹脂エナメル2回塗り ・行わない ・艶有合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り
	⑬ ① ビニル床シート 張り (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 継目 ○NC ・NF ○無地 ○2.5 ・色柄 ○2.0 ○溶接 ・ 突付け
	2 ビニル床タイル 張り (19.2.2)	寸法 種類 厚さ(mm) ・300×300 ・コンポジションビニル床タイル 半硬質 2.0 ・450×450 ・コンポジションビニル床タイル 軟質 ・ホモジニアスビニル床タイル
	3 特殊機能床材 (19.2.2)	・帯電防止ビニル床タイル 寸法(mm) ・長さ(mm) ・視覚障害者用床タイル 材質 ビニル床タイル 寸法(mm) 300×300
	4 カーベツ敷き (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)	種別 色柄 パイル形状 パイル長・総厚さ 工法 ・タフテッドカーベツ 無地 ルーフパイル ・5~7mm ・グリッパー ・柄物 ・カットパイル ・4~6mm 全面接着 ・ニードルパンチカーベツ 無地 総厚さ 全面接着 ・柄物 ・タイルカーベツ A種 無地 ルーフパイル 総厚さ・サイズ ・グリッパー B種 柄物 ・カットパイル 6.5 500角 接着剤 (ビールアップ形)
	5 合成樹脂塗床 (表19.4.3)	・弾性ウレタン塗床材(JIS k5970) ホルムアルデヒドの放散量 F 仕上げ 平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材(JIS k5970) ホルムアルデヒドの放散量 F 仕上げ ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ(平滑・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(平滑・防滑) ・防滑仕上げ
	6 フローリング張り (19.6.2)(表19.6.1)	ホルムアルデヒドの放散量 F 種別 ・単層フローリング ・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット ・複合フローリング ・複合1種フローリング ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング
	7 畳敷き (19.6.2)(表19.6.1)	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ○柔道用化学タタミ

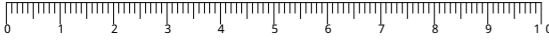
内装工事	⑨	せっこうボード、 その他のボード 及び合板張り (19.7.2)	材種 ○せっこうボード	種別	厚さ (mm) 壁・9.5(準不燃) ○12.5(不燃) 天・9.5(準不燃) 井○12.5(不燃)	備考	
		化粧せっこう ボード	・トラバーチン模様 ・木目模様	9.5(不燃) ・9.5(準不燃) 9.5(準不燃)			
		ロックウール 化粧吸音板	・普通 ・立体模様	○9			
		ケイ酸カルシ ウム板	タイプ2 0.8FK	○6 ・10 ・12			
		防火軒天ボード (ハルパ・ガラス繊維混入ケイ酸カルシウム板)		・12	平板 有孔板		
		9 吸音材張り (19.7.2)	材種 ・吸音用グラスウールボード ・グラスウール成形板	種別 ・2号32K	厚さ ・25	工法 ガラスクロス19メッシュ張り (小口共) 化粧ボタン止め (タテ、ヨコ共@300程度)	
		⑩ 壁紙張り (19.8.2)	ホルムアルデヒドの発散量 F 品質 JIS A6921 による	施工箇所 壁、天井	材種 ビニル壁紙	防火性能 不燃	品質 中級
		⑪ 断熱材 (19.9.2)	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂 又は メラニン樹脂を使用した 断熱材のホルムアルデヒドの発散量 F	施工箇所 天井裏 外壁	材種 グラスウール	厚さ (mm) ○50 ○100	防火性能 品質
		⑫ 接着材	上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂を用いた接着剤のホルムアルデ ヒドの発散量 F	材種 硬質ウレタン フォーム保温材発泡	現場	難燃性 なし (難燃3級) あり	JIS A9526

ユニット 及び その他 工事	⑫	1 フリーアクセス フロア (20.2.2)	施工箇所	耐荷重性能 (N)	高さ (mm)	床仕上材	備考
						タイルカーベット ・6.5mm ・ビニル床タイル ・()mm	帯電防止
						タイルカーベット ・6.5mm ・ビニル床タイル ・()mm	帯電防止
		1-2 ユニットフロア 床下地					
	2 可動間仕切 (20.2.3)	組立て方式 ・スタッド式 ・パネル式 ・スタッドパネル式 仕切り方 ・密閉形 ・開放形 ・床置き形 表面材の材質及び仕上げ 材質 ・鋼板(厚さ) 仕上 ・メラニン樹脂 ・アクリル樹脂塗装焼付塗装					
	3 移動間仕切 (20.2.4)	走行方向 平行方向移動式 ・二方向移動式 操作方法 手動式 ・電動式 表面材の材質及び仕上げ 材質 ・鋼板(厚さ) 仕上 ・メラニン樹脂 ・アクリル樹脂塗装焼付塗装					
	⑭ トイレブース (20.2.5)	表面仕上 ○メラニン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 幅木 ○有り(SUS 製) ・無し(製支柱) 扉小口の材質 ・ステンレス製 ・アルミ製					

排水 工事	5 階段滑り止め (20.2.6)	・ステンレス SUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) 幅 ・約35mm 工法 接着工法 ・埋込工法				
	6 黒板及び ホワイトボード (20.2.8)	・黒板の種類 ・黒板の色 ・ホワイトボードの種類	焼付け ・緑 ・グレー ・線入り ・暗線方眼入り ・ホーロー ・暗線方眼入り			
	7 表示 (20.2.10)	区分 ・室名札 ・案内板	材質 ・アクリル ・アクリル	厚さ ・5mm ・5mm	印刷等の種類 ・シルクスクリーン 印刷 ・シルクスクリーン 印刷	取付方法 ・ステンレス枠 平付
	8 ブラインド (20.2.12)	形式 ・横形ブラインド ・縦形ブラインド	スラット ・アルミニウム合金	開閉方法 ・ギヤ式 ・コード式	スラットの成形幅(mm) ・25 ・80 ・100	
	9 ロールスクリーン (20.2.13)	操作方法 () 材質 ()				
	10 カーテンレール (20.2.14)	材種 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 強さ区分 ・10・90 形状 ・シングル ・ダブル 断面形状 ・角形 ・C形 ・D形				
	11 アコーディオン ドア	表面材 ・ビニルレザー張り 形式 ・引分け 折りたたみ幅(mm) ・約230 ・約120				
	12 ステンレス 流し台	長さ ・900 ・1200 ・1050				
	13 コンロ台	長さ ・600 ・750				
	14 吊戸棚	長さ ・900 ・1200 ・1050				
15 水切り棚	・ステンレス製 長さ ・900 ・1200					
16 収納・収納家具	合板類、MDF、パーティクルボード、接着材 及び 塗料のホルムアル デヒドの発散量 F					

排水 工事	21 1 排水管及び施工 (21.2.1) (表21.2.1)	排水管用材料	材種	管の種類	呼び径	備考
			・硬質塩化ビニル管	VU	100 50	
			硬質塩化ビニル管継手	接着剤	・ゴム輪	
	2 側塊 排水樹 (21.2.1)	側塊(JIS A5372) 形状() ・グレーチング 寸法()	材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ
3 その他の材料	コンクリート設計基準強度 18 (N/mm ²)			(N/mm ²)		

舗 装 工 事	22 1 アスファルト舗装 (22.3.2)(表22.3.1) (22.4.2)(表22.4.1) (22.4.4) (22.3.3) (表22.3.3)	舗装厚 車道部 ・A-5-15 歩道部 ・A-3-10 表層及び基層の種類 加熱アスファルト混合物 ・再生加熱アスファルト混合物 路盤材料 ・クラッシュラン ・再生クラッシュラン			
	2 透水性 アスファルト舗装 (22.3.2)(表22.3.1) (22.4.2)(表22.4.1) (22.3.3)(表22.3.3)	舗装厚 車道部 ・A-5-15-15 歩道部 ・A-3-10-5 路盤材料 ・クラッシュラン ・再生クラッシュラン 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 行う ・行わない			
	3 視覚障害者用 誘導ブロック	寸法 ・300x300 材質 ・コンクリート製			
	4 砂利敷き	・通路部 ・建物周囲 ・A種 ・B種 ・A種 ・B種			
植 栽 工 事	23 1 植栽基盤 (23.2.2) (表23.2.2)	植栽基盤整備工法 ・樹木 ・芝及び地被類	A種 B種		
	2 植込み用土 (23.2.2)	・現場発生の良質土 ・客土			
	3 新植樹木の 枯損償 (23.3.4)	引渡しの日から	1年		
	4 移植樹木の 枯損処理 (23.3.6)	引渡しの日から	1年		
外 構 工 事	24 1 旗竿	材種 ・アルミニウム製 形式 ・テーバー付き ・ロープ式 ・ハンドル式 脚部 ・埋込式 ・ベース式 高さ(m) ・5 ・6 ・7			
	2 フェンス	・ネットフェンス 高さ(mm) ・900 ・1200 ・格子フェンス 高さ(mm) ・600 ・900 ・1200 網材種 ・ビニル被覆鉄線			
	3 車止めさく	形式 上下式鎖内蔵式 標準品 スプリング付	材質 ステンレス製(鎖共)	柱径 (mm) 76.3	高さ (mm)



鉄骨構造標準図

1. 特記事項

- 本標準図は、5階建程度以下の小規模鉄骨造を対象に作成したものであるから、本標準図の範囲を超える建物に用いる場合には、設計図に必要事項を書き加えること。
- 材料はすべてJIS規格品及び相当品を使用する。
- 加工工場は、建設大臣認定工場とし、()グレ-ド以上の工場とする。
- 加工工場は、製作に先立ち、工作図及び製作要領書を作製し承認を得ること。
- 立会検査は、「現寸検査」、「仮付検査」、「製品検査」を行う。
- ハイテンションボルトは、トルシア形高力ボルト(TCボルト、SSボルト等)を用いること。
- エンドタブは、原則としてスチ-ル製とするが、係員の承認を得た場合は、フラックスタブ又は、ゲ-ジタブを使用してよい。
- 錆止は、JIS K 5621、5625(2回塗り)とする。
- 非破壊検査は、超音波探傷とし突き合わせ溶接部の10%を検査、報告書を提出する。検査は、原則として、第3者検査会社による。但し、4階以下、かつ、3000㎡以下の建物は、係員の承認を得て自主検査とすることができる。
- 上記以外は (建設大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」日本建築学会「鉄骨工事技術指針」) による。

2. 使用材料

鋼材	使用場所		ボルト	使用場所	
	SS400	プレート		中ボルト	M16,M20

注 認定規格品柱脚を使用の場合は当該規格品の仕様による。

3. 溶接規準

1. 突合溶接

T	6mm(6mmは角形鋼管のみ)	25mm	T	12mm
G	6mm	R=2mm	r	45°
		G=7mm	R=2mm	r=35°

2. すみ肉溶接

T	4.5	5	6	7	8	9	10	11	12
S	4	4	5	5	6	7	7	8	9

12mm以上の場合は、上図のように開先を設けること。サイズは設計図による。

3. スカラップ

4. 裏アテ金

裏アテ金は、厚さ9mm以上とし、幅25mmとする。
角形鋼管のR部分にも裏アテ金を用いること。
裏アテ金を用いない場合は、裏ハツリを行い溶接すること。

5. エンドタブ

4. 鉄骨詳細

1. H型鋼柱

(√) : 突合溶接 (√) : すみ肉溶接

柱フランジ同厚以上
梁フランジ同厚以上

2. 角型鋼管柱

梁はR部分を避ける。
内ダイヤ
50以上
20
20
D 100
D < 100

3. 山形ラ-メン等

補強プレ-ト
柱溶接後切断
建方用ボルト
裏当て
設計図書による

5. 梁貫通補強

補強プレ-ト
E1.15 D
E1.15 D
補強プレ-ト
15
D
H
補強プレ-トはウェブの両面に設け全周すみ肉溶接する。
D/H/3とし、これを超える場合は、設計図又は係員の指示による。
補強プレ-トの厚みは、ウェブ材の2/3以上とする。

6. デッキプレ-ト部分詳細・頭付スタッドボルト

スタッドボルトは、ア-クスタッド溶接を完全に行うこと。

1. 大梁

2. 小梁

ワイヤ-メッシュ 6-@150
PL-6
50

7. 小梁・片持梁

1. 小梁

2. 片持梁

この形状のガセットプレ-トを
100
100
100

8. ボルトのピッチ及びエッジ標準

ボルト径	16	20	22
D	60	60	60
e	40	40	40

9. 柱脚

1. 柱脚(ピンの場合)

アンカ-ボルトは2重ナット締めとする。

100
150
50
200
250
3.5d
50
50
50
固練りモルタル充填
ねじ3山以上

2. 柱脚(固定、その他の場合)

設計図によること。

10. 配筋基準

コンクリ-トのかぶり厚さ

土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	基礎・擁壁
	40	60

定着および継手の常用長さ

鉄筋の種類	コンクリ-トの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着長さLo	重ね継手の長さL
SD295	21以上	35dまたは	40dまたは
SD345	27以下	25dフックつき	30dフックつき

- 注) (1)末端のフックは定着および重ね継手の長さには含まない。
(2)dは鉄筋の公称直径とする。
(3)直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは細いほうの鉄筋の公称直径による。
(1)定着長さLoには小はりおよびスラブの下端筋は含まない。

11. その他

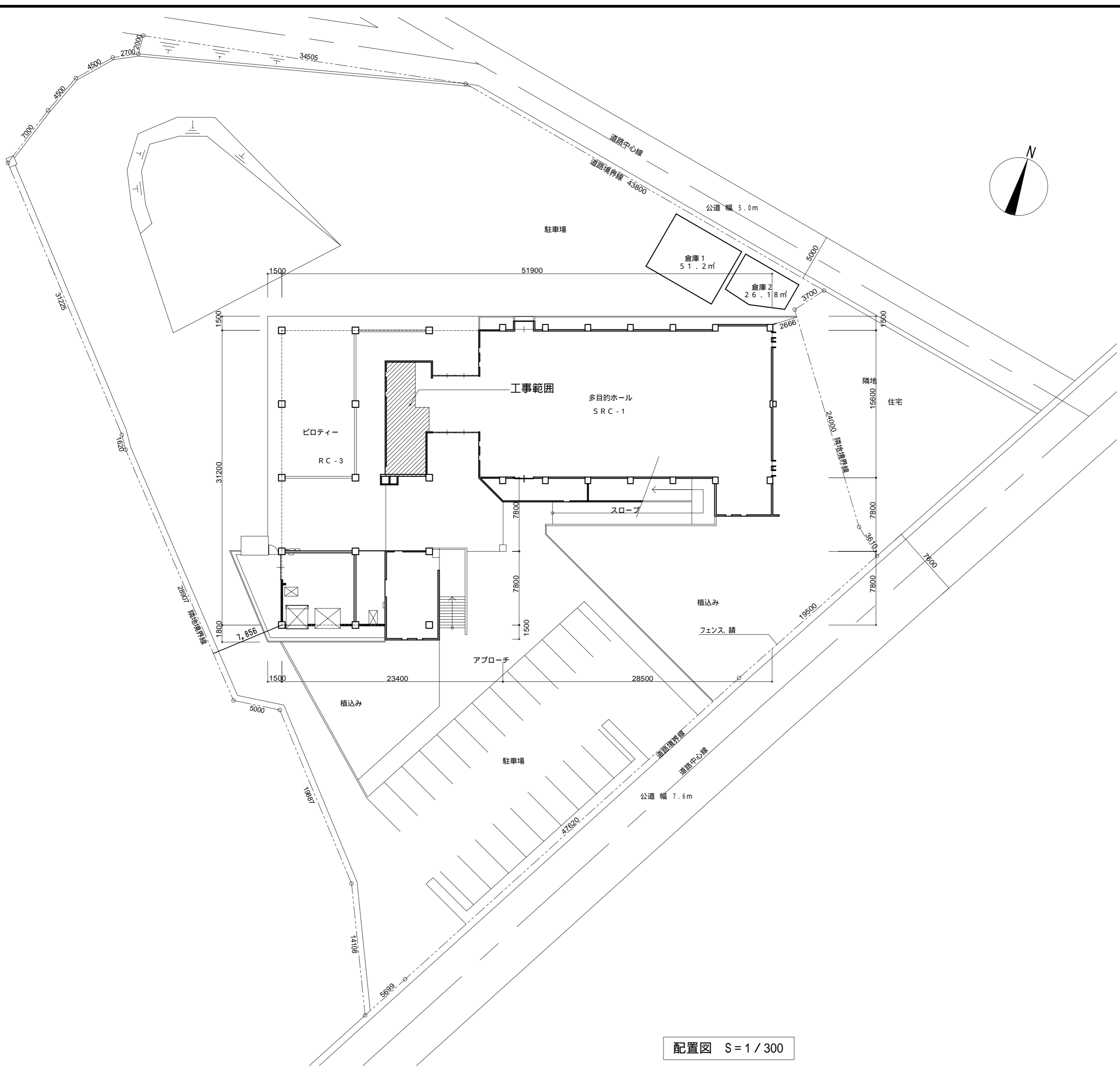
- 母屋、胴縁の最外端、Bolt 2本使用。
- ALC床、折板、ル-フデッキ等の大梁取付は、かさ上材としてC-100・50・20・2.3を使用。
- ALC取付鋼材については、メ-カ-仕様による。
- 棒鋼プレ-スは、原則としてJIS規格とする。規格以外の場合もねじ部分は鍛造ねじとする。係員の承認を得て建設大臣認定品を使用することができる。



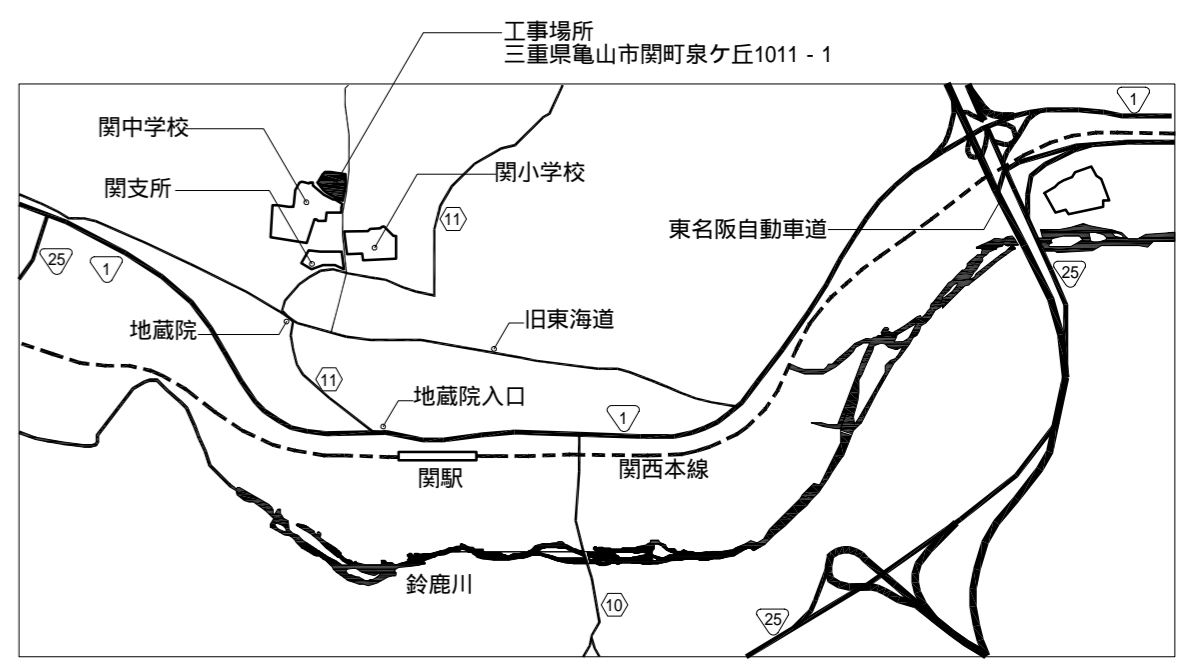
<p align="center">解体工事特記仕様書</p> <p>工事名 関文化交流センター改修工事</p> <p>工事概要</p> <p>1 工事場所 三重県亀山市関町泉ヶ丘1011 - 1</p> <p>2 敷地面積 5934.00 m²</p> <p>3 工事内容</p> <p>構造: RC, SRC造 3階建</p> <p>建築面積: 1257.59 m²</p> <p>延面積: 1933.51 m²</p> <p>工事項目: 建築工事</p> <p>解体工事仕様</p> <p>1 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書、建築物解体工事共通仕様書(平成18年版)、建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説(平成18年版)による。</p> <p>2 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。</p> <p>印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。</p> <p>特記事項に記載される内容が複数ある事項については 印の付いたものを適用し 印の付いたものは適用しない。</p>		<p>⑨ 危険災害の防止</p> <p>工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、請負者が誠意をもって解決すること。</p> <p>重機搬出時、発生材搬出時、仮設材搬出時には交通整理のための誘導員を配置すること。</p> <p>⑩ 工事進入路</p> <p>重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については、事前に施工計画書を提出し監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は速やかに清掃を行うこと。</p> <p>⑪ 工事写真</p> <p>着工前: 解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。</p> <p>工事中: 随時撮影を行うほか、監督員の指示による。</p> <p>上記すべてがカラーサービス版で一部提出すること。</p> <p>⑫ 完成写真</p> <p>台紙貼り1部(カラーサービス版)</p> <p>全景写真のほか、監督員の指示による。</p> <p>⑬ 電子納品</p> <p>工事写真は三重県CALS電子納品マニュアル、デジタル写真管理情報基準(案)に基づき納品すること。(提出部数 3部・部)</p> <p>工事完成図書については、工事完成図書電子納品要領(営繕版)に基づき電子納品すること。(提出部数 3部・部)</p> <p>⑭ 事故報告</p> <p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに事故発生報告書(三重県公共工事共通仕様書第13号様式)を監督員に速やかに提出すること。また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況、聴取、調査、検証等に協力すること。</p> <p>⑮ 提出書類</p> <p>施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、マニフェスト(E票)の写し、その他監督員の指示するものとする</p> <p>⑯ 産業廃棄物</p> <p>施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。</p>
--	--	---

<p>A. 一般共通事項</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 適用基準</td> <td> <p>○産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」及び「三重県副産物処理基準」に基づき適正に処理すること。</p> <p>② 請負者は受注時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、(財)日本建設情報総合センター(以下「JACIC」という。)が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時において、変更があった日から10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。ただし、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。</p> <p>○請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>・請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額(当該下請契約が二以上ある時は、それらの請負代金額の総額)が3,000万円以上になるとき施工体制台帳を作成し、工事現場に備えると共に、別に定める様式により監督員に提出しなければならない</p> <p>○請負者は、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により提出しなければならない。</p> <p>・引渡しを要するもの()</p> <p>○特別管理産業廃棄物 有(波型スレート)・無 ○</p> <p>処理方法(アスベスト成形板の処理 (標9・1・3))</p> <p>・現場において再利用を図るもの()</p> <p>○再生資材の利用を図るもの</p> <p>・アスファルトコンクリート塊</p> <p>○セメントコンクリート塊</p> <p>○建設発生木材</p> <p>・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し監督員へ提出すること。</p> <p>○引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。(マニフェストA、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。)</p> </td> </tr> <tr> <td>② 工事実績情報の登録等</td> <td> <p>○請負者は受注時において延べ面積が80m²以上かつ500万円以上の解体工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出する。また、工事完了後にはJACIC(財)日本建設情報総合センター)が運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。</p> </td> </tr> <tr> <td>③ 発生材の処理等</td> <td> <p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。</p> </td> </tr> <tr> <td>④ 建設副産物情報交換システムの利用</td> <td> <p>設計図書に明記のない場合、または、疑いを生じた場合は、監督員と協議しその指示を受けてから施工すること</p> </td> </tr> <tr> <td>⑤ 三重県産業廃棄物税</td> <td> <p>日曜日、祝日は休日とし、作業時間は原則として午前8時30分から午後5時までとする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		項目	特記事項	① 適用基準	<p>○産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」及び「三重県副産物処理基準」に基づき適正に処理すること。</p> <p>② 請負者は受注時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、(財)日本建設情報総合センター(以下「JACIC」という。)が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時において、変更があった日から10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。ただし、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。</p> <p>○請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>・請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額(当該下請契約が二以上ある時は、それらの請負代金額の総額)が3,000万円以上になるとき施工体制台帳を作成し、工事現場に備えると共に、別に定める様式により監督員に提出しなければならない</p> <p>○請負者は、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により提出しなければならない。</p> <p>・引渡しを要するもの()</p> <p>○特別管理産業廃棄物 有(波型スレート)・無 ○</p> <p>処理方法(アスベスト成形板の処理 (標9・1・3))</p> <p>・現場において再利用を図るもの()</p> <p>○再生資材の利用を図るもの</p> <p>・アスファルトコンクリート塊</p> <p>○セメントコンクリート塊</p> <p>○建設発生木材</p> <p>・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し監督員へ提出すること。</p> <p>○引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。(マニフェストA、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。)</p>	② 工事実績情報の登録等	<p>○請負者は受注時において延べ面積が80m²以上かつ500万円以上の解体工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出する。また、工事完了後にはJACIC(財)日本建設情報総合センター)が運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。</p>	③ 発生材の処理等	<p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。</p>	④ 建設副産物情報交換システムの利用	<p>設計図書に明記のない場合、または、疑いを生じた場合は、監督員と協議しその指示を受けてから施工すること</p>	⑤ 三重県産業廃棄物税	<p>日曜日、祝日は休日とし、作業時間は原則として午前8時30分から午後5時までとする。</p>	<p>C. その他</p> <p>① アスベスト含有建材の除去等</p> <p>適用範囲</p> <p>アスベスト含有吹付け材、アスベスト含有保温材等及びアスベスト含有成形板の処理にあたっては、建築物解体工事共通仕様書6章「アスベスト含有建材の除去等」及び公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)9章1節「アスベスト含有建材の処理工事」に基づき適切に処理すること。</p> <p>処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ mm</th> <th>含有率 %</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒル石吹付仕上</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト成形板として処理を有するもの</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>部 位</th> <th>品 名</th> <th>部 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスベストラックス</td> <td>○ 図示</td> <td></td> <td>○ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図示</td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>部 位</th> <th>品 名</th> <th>部 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>図示</td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工調査</p> <p>アスベスト含有分析調査 行わない ○ 行う()</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>アスベスト含有吹付け材の除去を行う場合は、下記により、アスベスト粉じん濃度測定を行うこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室外</td> <td>4方向各1点(敷地境界)</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出吹き出し口</td> <td>出口吹き出し風速1m/sec以下の位置各2点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>付近</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業室外</td> <td>4方向各1点(敷地境界)</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>処理作業後(養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>(注)2</td> <td>(注)3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1 速報値で10f/以上検出された場合は、その原因を確認すること。</p> <p>(注)2 各施工箇所ごとの室面積が10m²以下は1点、50m²以下までは2点、300m²以下までは3点とする。300m²を超えるものは、300m²ごとに1測定点を追加する。</p> <p>(注)3 粉じん測定は、粉じん飛散抑制剤を散布した翌日とし、速報値で10f/以下であることを確認した後、シートの撤去を行うこと。</p> <p>粉じん濃度測定結果報告書 2部 (部)</p> <p>作業主任者</p> <p>石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から石綿作業主任者を選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。</p> <p>保護具・保護衣</p> <p>監督員の保護具・保護衣は請負者が無償で提供すること。</p> <p>工法</p> <p>除去工法 ○ 封じ込め工法 ・ 囲い込み工法</p>	材 料 名	厚さ mm	含有率 %	処 理 を 行 う 範 囲	ヒル石吹付仕上	-	-	○ 図示				図示	品 名	部 位	品 名	部 位	アスベストラックス	○ 図示		○ 図示		図示		図示	品 名	部 位	品 名	部 位		図示		図示	測定時期	測定場所	測定点	備考	処理作業前	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	(注)1	処理作業中	負圧・除じん装置の排出吹き出し口	出口吹き出し風速1m/sec以下の位置各2点	(注)1	付近			処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	(注)1	処理作業後(養生中)	処理作業室内	(注)2	(注)3
項目	特記事項																																																																			
① 適用基準	<p>○産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」及び「三重県副産物処理基準」に基づき適正に処理すること。</p> <p>② 請負者は受注時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、(財)日本建設情報総合センター(以下「JACIC」という。)が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時において、変更があった日から10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。ただし、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。</p> <p>○請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>・請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額(当該下請契約が二以上ある時は、それらの請負代金額の総額)が3,000万円以上になるとき施工体制台帳を作成し、工事現場に備えると共に、別に定める様式により監督員に提出しなければならない</p> <p>○請負者は、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により提出しなければならない。</p> <p>・引渡しを要するもの()</p> <p>○特別管理産業廃棄物 有(波型スレート)・無 ○</p> <p>処理方法(アスベスト成形板の処理 (標9・1・3))</p> <p>・現場において再利用を図るもの()</p> <p>○再生資材の利用を図るもの</p> <p>・アスファルトコンクリート塊</p> <p>○セメントコンクリート塊</p> <p>○建設発生木材</p> <p>・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し監督員へ提出すること。</p> <p>○引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。(マニフェストA、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。)</p>																																																																			
② 工事実績情報の登録等	<p>○請負者は受注時において延べ面積が80m²以上かつ500万円以上の解体工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出する。また、工事完了後にはJACIC(財)日本建設情報総合センター)が運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。</p>																																																																			
③ 発生材の処理等	<p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。</p>																																																																			
④ 建設副産物情報交換システムの利用	<p>設計図書に明記のない場合、または、疑いを生じた場合は、監督員と協議しその指示を受けてから施工すること</p>																																																																			
⑤ 三重県産業廃棄物税	<p>日曜日、祝日は休日とし、作業時間は原則として午前8時30分から午後5時までとする。</p>																																																																			
材 料 名	厚さ mm	含有率 %	処 理 を 行 う 範 囲																																																																	
ヒル石吹付仕上	-	-	○ 図示																																																																	
			図示																																																																	
品 名	部 位	品 名	部 位																																																																	
アスベストラックス	○ 図示		○ 図示																																																																	
	図示		図示																																																																	
品 名	部 位	品 名	部 位																																																																	
	図示		図示																																																																	
測定時期	測定場所	測定点	備考																																																																	
処理作業前	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	(注)1																																																																	
処理作業中	負圧・除じん装置の排出吹き出し口	出口吹き出し風速1m/sec以下の位置各2点	(注)1																																																																	
	付近																																																																			
処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	(注)1																																																																		
処理作業後(養生中)	処理作業室内	(注)2	(注)3																																																																	





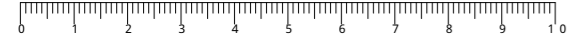
配置図 S=1/300



案内図

面積表	
敷地面積	5934.00 m ²
法定敷地面積 m ²
建築面積	1257.59 m ²
延床面積	1933.51 m ²
建ぺい率	21.19 %
容積率	32.58 %

工事概要	
1F	R C造階段撤去の上、S造階段新設 住宅用9人乗り貫通型EV新設 男女便所：ブース、機器撤去の上、洋便ブース、機器、内部仕上新設 インターホン新設、電気錠に改修 屋外スロープ：手摺新設 屋外ピロティ：天井点検口 新設
2F	R C造階段撤去の上、S造階段新設 住宅用9人乗り貫通型EV新設 防火シャッター：危害防止装置 新設 男女便所：ブース、機器撤去の上、洋便ブース、機器、内部仕上新設 身障者用便所：引戸新設、内部仕上新設 廊下(便所前)：手摺新設 事務室：1F電気錠の開錠スイッチ新設
3F	R C造階段撤去の上、S造階段新設 住宅用9人乗り貫通型EV新設 防火シャッター、防火戸撤去新設 男女便所：ブース、機器撤去の上、洋便ブース、機器、内部仕上新設 廊下(便所前)：手摺新設 階段室と繋がる玄関ホール、廊下の天井撤去、新設



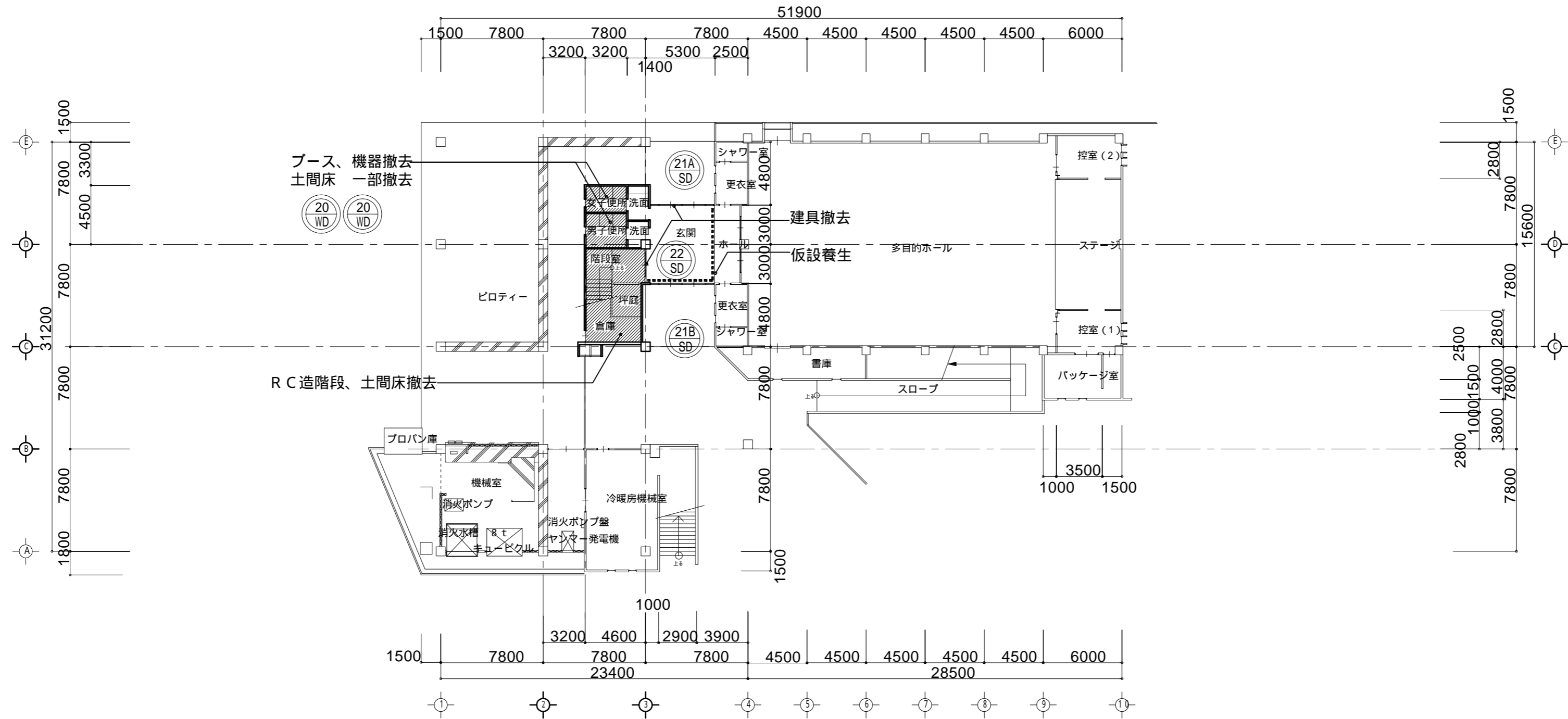
室名	改修前 (撤) : 撤去範囲 (既存残) : 既存残し範囲														改修後 (新) : 新設範囲 (既存残) : 既存残し範囲															
	一般FLからの		下地	床		巾木		腰・壁		天井		天井高	室緑	内装	備考	一般FLからの		下地	床		巾木		腰・壁		天井		天井高	室緑	内装	備考
	寸法	仕上		H	下地	H	下地	H	下地	廻縁	寸法	仕上				H	下地		H	下地	廻縁	寸法	仕上	H	下地	H	下地			
1F	階段室	-30	±0	M	クッションフロア M下地共 磁器質タイル貼 (撤)	テラゾーブロック25 (撤)	75	C	M金コテ EP-G (既存残)	C	C打放の上、ヒル石吹付 (撤) C (階段裏)C打放の上、ヒル石吹付 (撤)					±0	M	VS-A (新)	VH (新)	60	C	トップコート塗替 (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2700		準	EV新設、手摺		
	倉庫	±0	-150	M	C土間 直均仕上げ (撤)	Cブロックあらわし (撤)		C	Cブロックあらわし (撤)	L	C打放し (撤)	1860																		
	男子便所	-80	-50	M	磁器質タイル貼 (既存残)	磁器質タイル貼		M	磁器質タイル貼 (既存残)	L	アスベストラックス ア6.0 (撤)	2450				-80	-50	M	既設 磁器質タイル貼の上、 VS-B(下地レベリング) (新)	床立上げ (新)	60	C.CB	既設 磁器質タイル貼の上、 不燃化粧板ア3.0(下地レベリング) (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2450		準	トイレブース、手摺、面台	
	女子便所	-80	-50	M	磁器質タイル貼 (既存残)	磁器質タイル貼		M	磁器質タイル貼 (既存残)	L	アスベストラックス ア6.0 (撤)	2450				-80	-50	M	既設 磁器質タイル貼の上、 VS-B(下地レベリング) (新)	床立上げ (新)	60	C.CB	既設 磁器質タイル貼の上、 不燃化粧板ア3.0(下地レベリング) (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2450		準	トイレブース、手摺、面台	
2F	階段室	-30	±0	M	クッションフロア M下地共 磁器質タイル貼 (撤)	テラゾーブロック25 (撤)	75	C	M金コテ EP-G (既存残)	L	GB-Rア9.0ヒル石吹付 (撤) C (階段裏)C打放の上、ヒル石吹付 (撤)					±0	M	VS-A (新)	VH (新)	60	C	トップコート (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2700		準	EV新設、手摺 便所側廊下に手摺新設		
	男子便所	-80	-50	M	磁器質タイル貼 (既存残)	磁器質タイル貼		M	磁器質タイル貼 (既存残)	L	アスベストラックス ア6.0 (撤)	2450				-80	-50	M	既設 磁器質タイル貼の上、 VS-B(下地レベリング) (新)	床立上げ (新)	60	C.CB	既設 磁器質タイル貼の上、 不燃化粧板ア3.0(下地レベリング) (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2450		準	トイレブース、手摺、面台	
	女子便所	-80	-50	M	磁器質タイル貼 (既存残)	磁器質タイル貼		M	磁器質タイル貼 (既存残)	L	アスベストラックス ア6.0 (撤)	2450				-80	-50	M	既設 磁器質タイル貼の上、 VS-B(下地レベリング) (新)	床立上げ (新)	60	C.CB	既設 磁器質タイル貼の上、 不燃化粧板ア3.0(下地レベリング) (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2450		準	トイレブース、手摺、面台	
	身障者用便所	-30	±0		クッションフロア (撤)	VH (撤)	75	M	VP (既存残)											床立上げ (新)	60	C.CB	既設 M下地VPの上、 不燃化粧板ア3.0(下地レベリング) (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2450		準	ベビーシート、手摺、面台	
3F	階段室	-30	±0	M	クッションフロア M下地共 磁器質タイル貼 (撤)	テラゾーブロック25 (撤)	75	C	M金コテ EP-G (既存残)	L	GB-Rア9.0ヒル石吹付 (撤) C (階段裏)C打放の上、ヒル石吹付 (撤)					±0	M	VS-A (新)	VH (新)	60	C	トップコート (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2700		準	EV新設、手摺 便所側廊下に手摺新設		
	男子便所	-80	-50	M	磁器質タイル貼 (既存残)	磁器質タイル貼		M	磁器質タイル貼 (既存残)	L	アスベストラックス ア6.0 (撤)	2450				-80	-50	M	既設 磁器質タイル貼の上、 VS-B(下地レベリング) (新)	床立上げ (新)	60	C.CB	既設 磁器質タイル貼の上、 不燃化粧板ア3.0 (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2450		準	トイレブース、手摺、面台	
	女子便所	-80	-50	M	磁器質タイル貼 (既存残)	磁器質タイル貼		M	磁器質タイル貼 (既存残)	L	アスベストラックス ア6.0 (撤)	2450						M	既設 磁器質タイル貼の上、 VS-B(下地レベリング) (新)	床立上げ (新)	60	C.CB	既設 磁器質タイル貼の上、 不燃化粧板ア3.0 (新)	L	GB-R ア12.5+DR ア9.0 (新)	2450		準	トイレブース、手摺、面台	

仕上凡例				耐火構造、防火認定		一般事項		仕上材程度一覧表	
C	コンクリート	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	主要構造部		1、特記なき限り木部はUC塗りとする。			
L	軽量鉄骨壁・天井	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	床:鉄筋コンクリート造		1、図中C・Mとあるは特記なき限りレベリングア10とする。		VS-A	ホスビリューム(東リ) 同等以上
M	モルタル	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	柱:鉄筋コンクリート造		1、C打放し部は内外共打増ア20とする。(特記以外)		VS-B	NSトワレ(東リ) 同等以上
W	木軸組	2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り	梁:鉄筋コンクリート造		1、ステンレスは特記なき限りSUS304、HL仕上とする。		VS	既存ビニル床シート
CB	コンクリートブロック	UC	ポリウレタン樹脂ワニス塗り	外壁:鉄筋コンクリート造		1、クロス下地ボードはVカットジョイント処理とする。		不燃化粧板	セラールア3.0(アイカ工業) 同等以上
SUS	ステンレス SUS304(ヘアライン)	CL	クリヤーラッカー	屋根:鉄筋コンクリート造		1、塗装下地ボードはターバーボードジョイント処理とする。		UL工法	三洋UL壁工法Fタイプ(三洋工業) (EVシャフト壁)
		FC	ふっ素樹脂保護塗装			1、特記なき限り天井廻り縁は硬質プラスチック製(目透かしタイプ)とする。			
		DP	耐候性塗料			1、内部仕上材はF、天井内仕上材はF 以上とする。			
DR	岩綿吸音板					1、内部仕上材はF、天井内仕上材はF 以上とする。			
KKB	無石棉ケイ酸カルシウム板	BB	ブラインドボックス	石こうボードア9.5	準不燃QM-9828				
GB-R	石こうボード			石こうボードア12.5	不燃NM-8619				
GB-S	防水石こうボード			防水石こうボードア12.5	準不燃QM-9826				
GB-D	化粧石こうボード			化粧石こうボードア9.5	準不燃QM-9824				
GB-PD	化粧石こう吸音ボード			普通硬質石こうボードア9.5	不燃NM-8196				
GB-F	強化石膏ボード			無石棉ケイ酸カルシウム板	不燃NM-8578				
FKB	フレキシブルボード(無石棉)			岩綿吸音板	不燃NM-8599				
UF	現場発泡ウレタン			グラスウール	不燃NM-6505				
VT	ビニル床タイル			ロックウール	不燃NM-8600				
VS	ビニル床シート			Mクロス(下地不燃)	不燃NM-9892				
				Vクロス(下地準不燃)	準不燃QM-9505				
VH	ビニル巾木			化粧シート(不燃ボード)	不燃NM-0131				
WH	木製巾木			化粧シート(金属板)	不燃NM-0085				
Vクロス	ビニルクロス			化粧石こう吸音ボード	不燃NM-0879				
Mクロス	無機質クロス			強化石膏ボードア21+21	耐火FP060NP-0007				

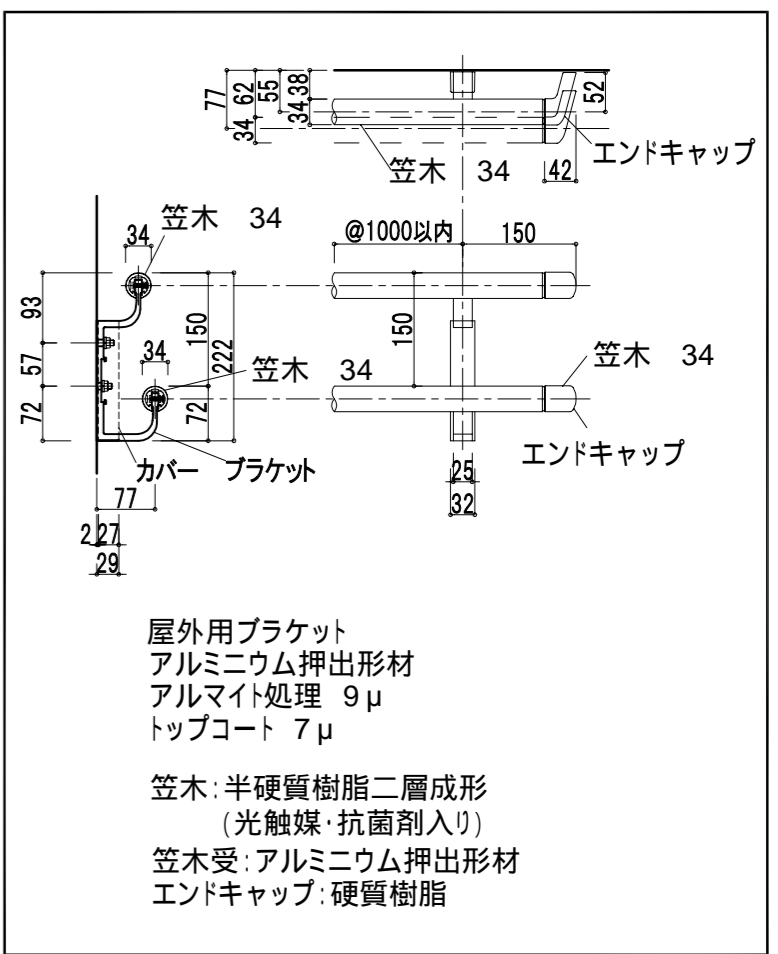
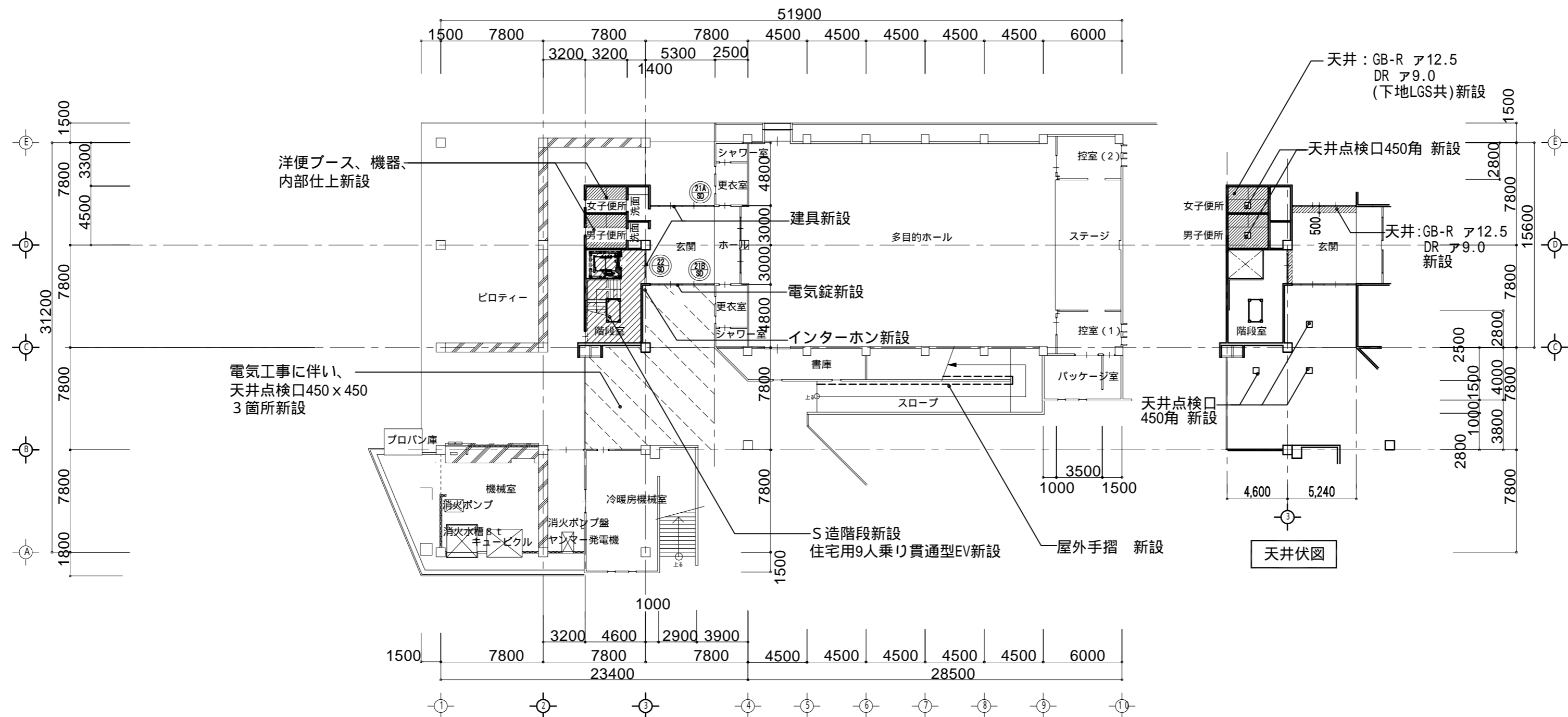
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	図面番号 1 概観面 第142310号	担当 浦野 大空 1級建築士 第142310号	図面種類 A 08	縮尺 NS 仕上表	設計者 株式会社 浦野設計 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号	監理者 浦野 三男 1級建築士 11388号
----	----------------	------------	-----------------------	---------------------------	----------------------------------	-----------------	-----------------	--	---------------------------------



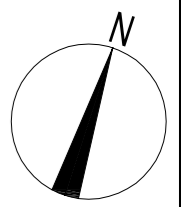
改修前



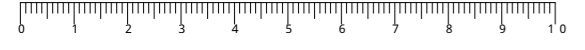
改修後



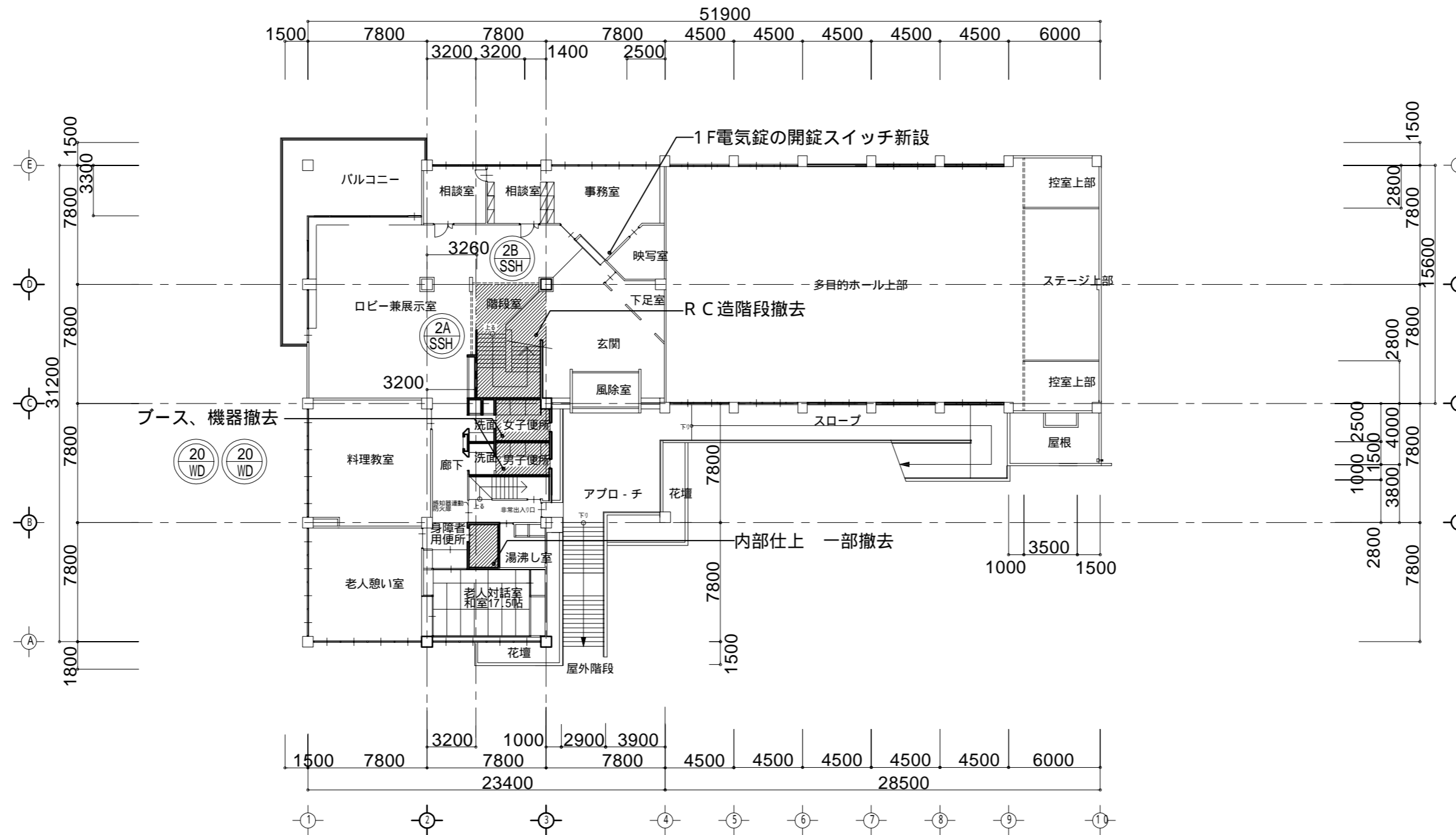
屋外手摺詳細図 S=1:10



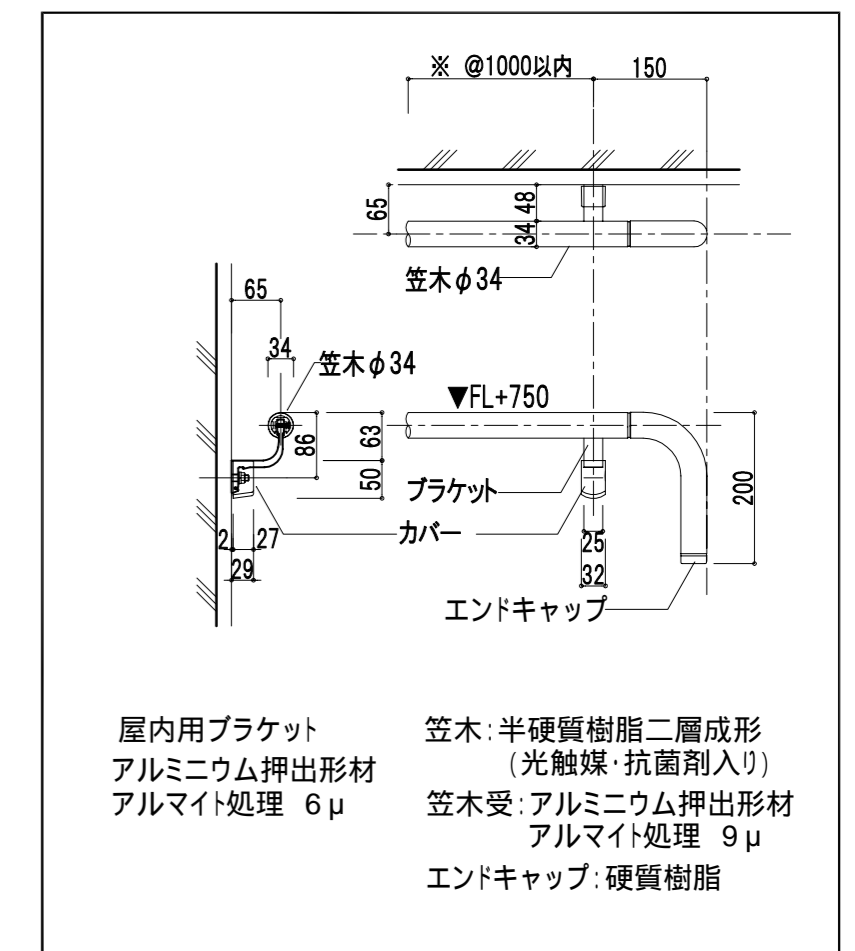
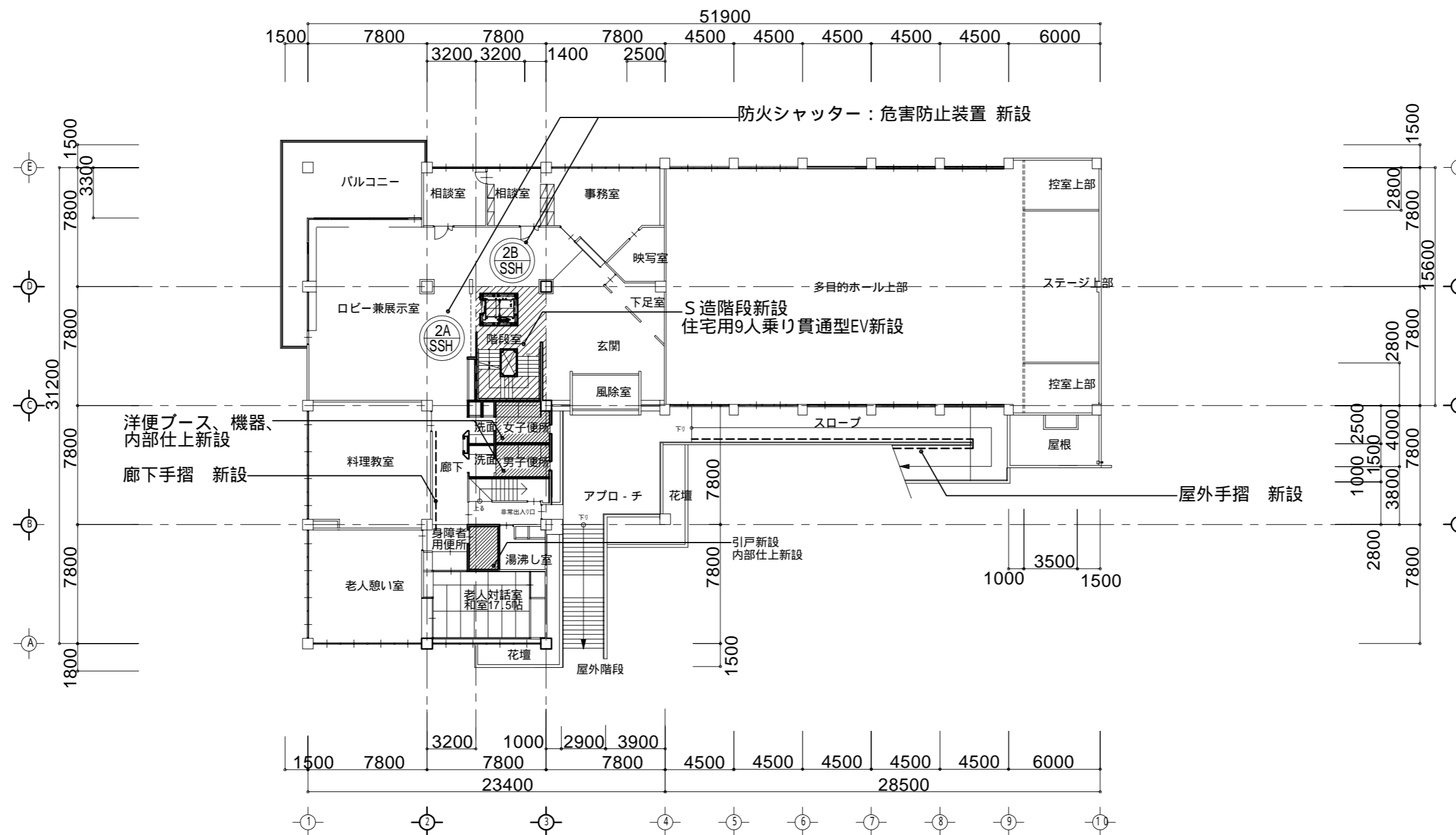
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	図面責任者 関野 大空 1級建築士 第142316号	担当者 09	図面種類 A 09	縮尺 1/300(A2) 1階平面図	株式会社 浦野設計 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号	管理建築士 浦野 三男 1級建築士 11388号
----	----------------	------------	-----------------------	-------------------------------------	-----------	-----------------	--------------------------	---	-----------------------------------



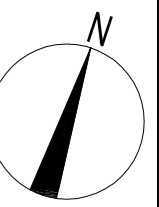
改修前



改修後



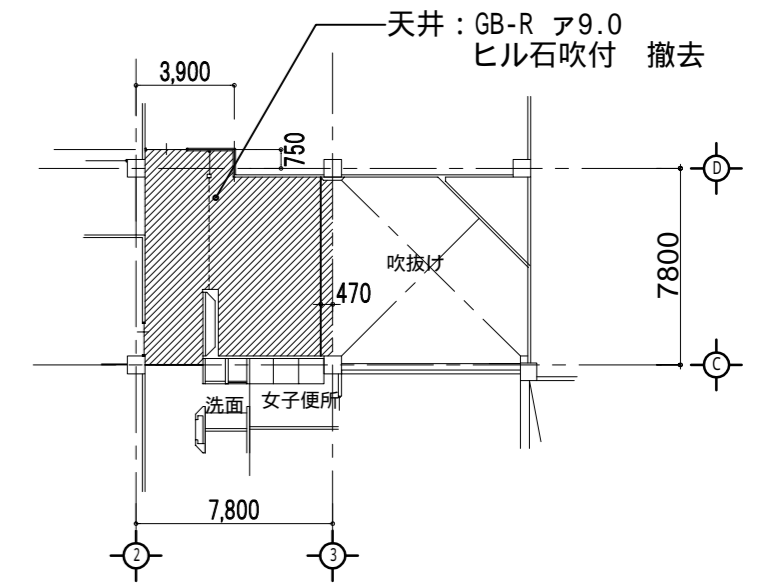
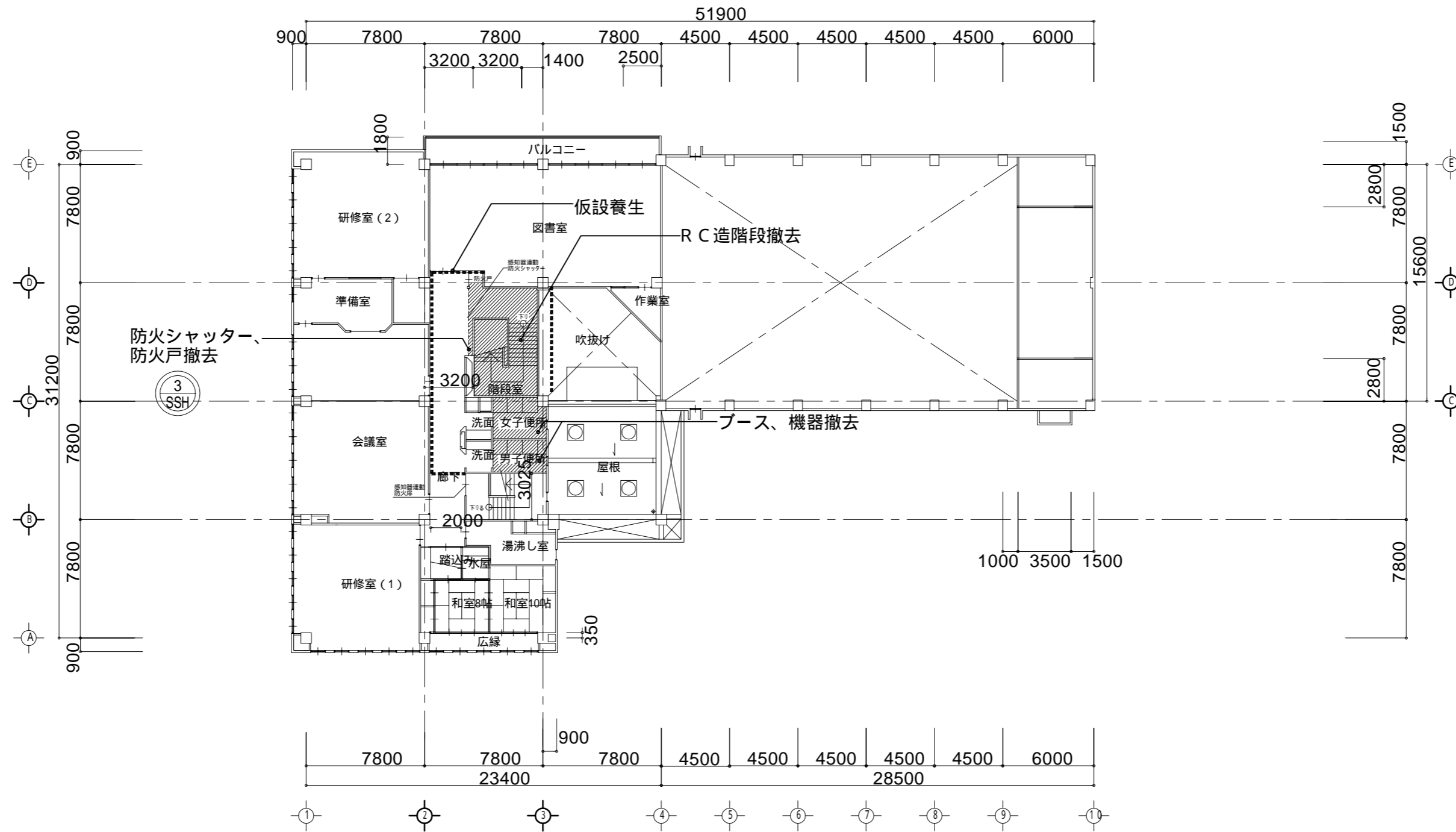
廊下手摺詳細図 S=1:10



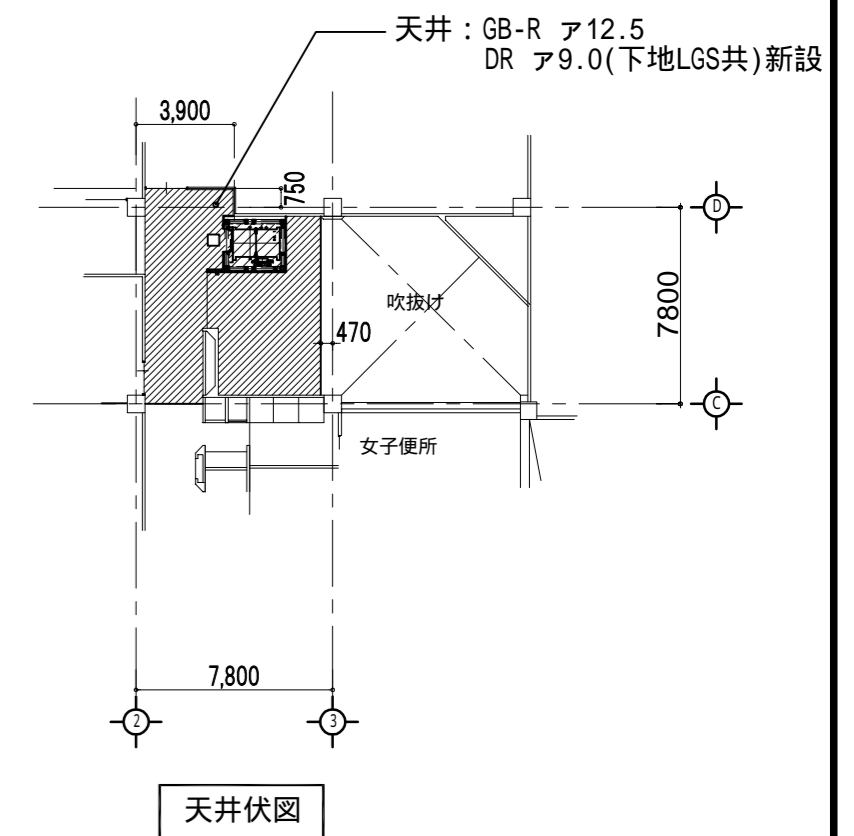
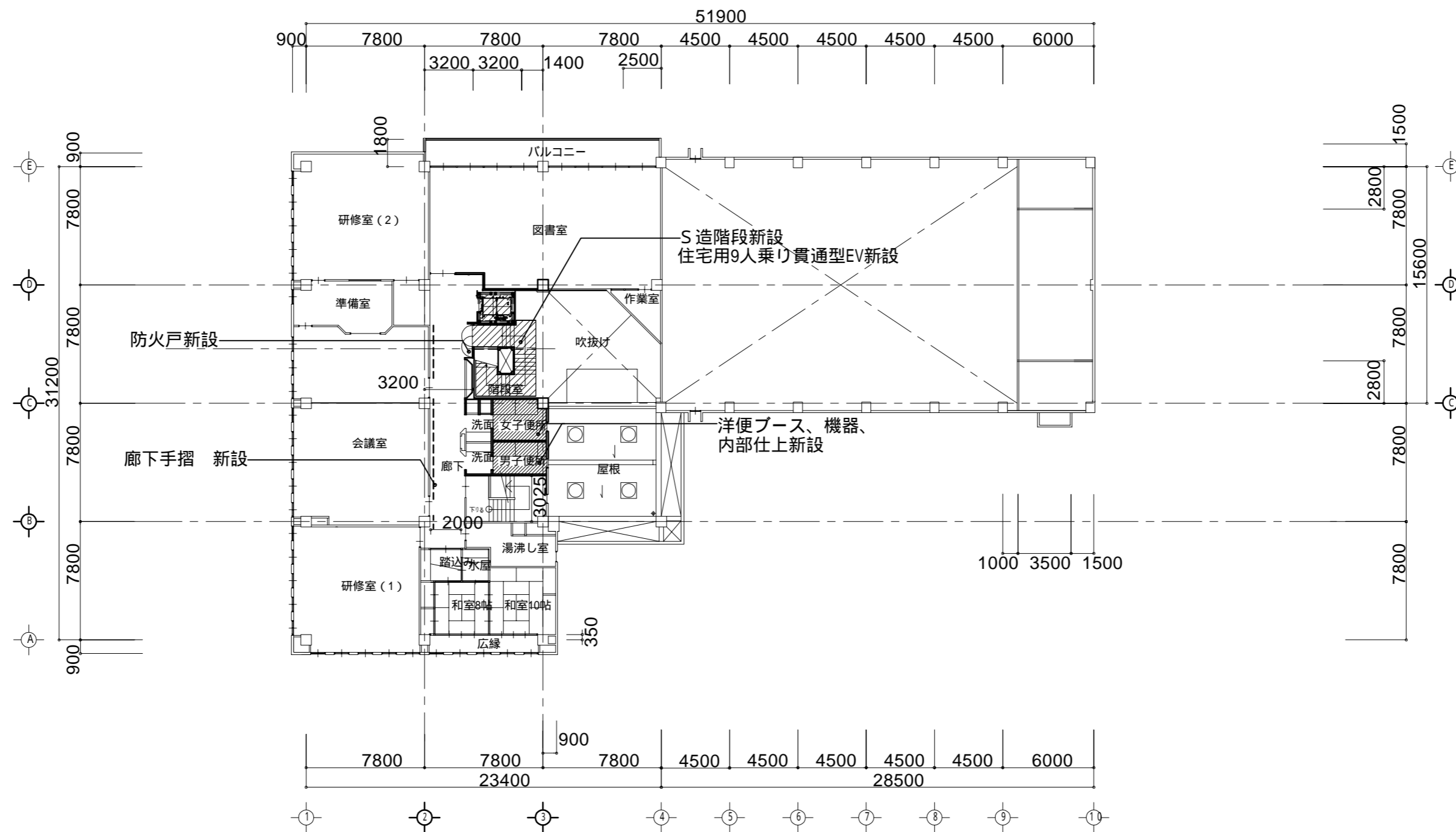
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	設計責任者 関野 六郎 1級建築士 第142316号	担当 関野 六郎 1級建築士 第142316号	図面種類 A 10	縮尺 1/300(A2) 2階平面図	株式会社 浦野設計 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号	管理建築士 浦野 三男 1級建築士 11388号
----	----------------	------------	-----------------------	-------------------------------------	----------------------------------	-----------------	--------------------------	---	-----------------------------------



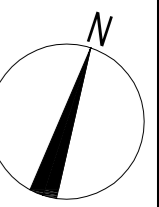
改修前



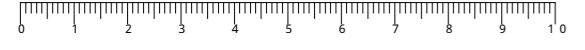
改修後



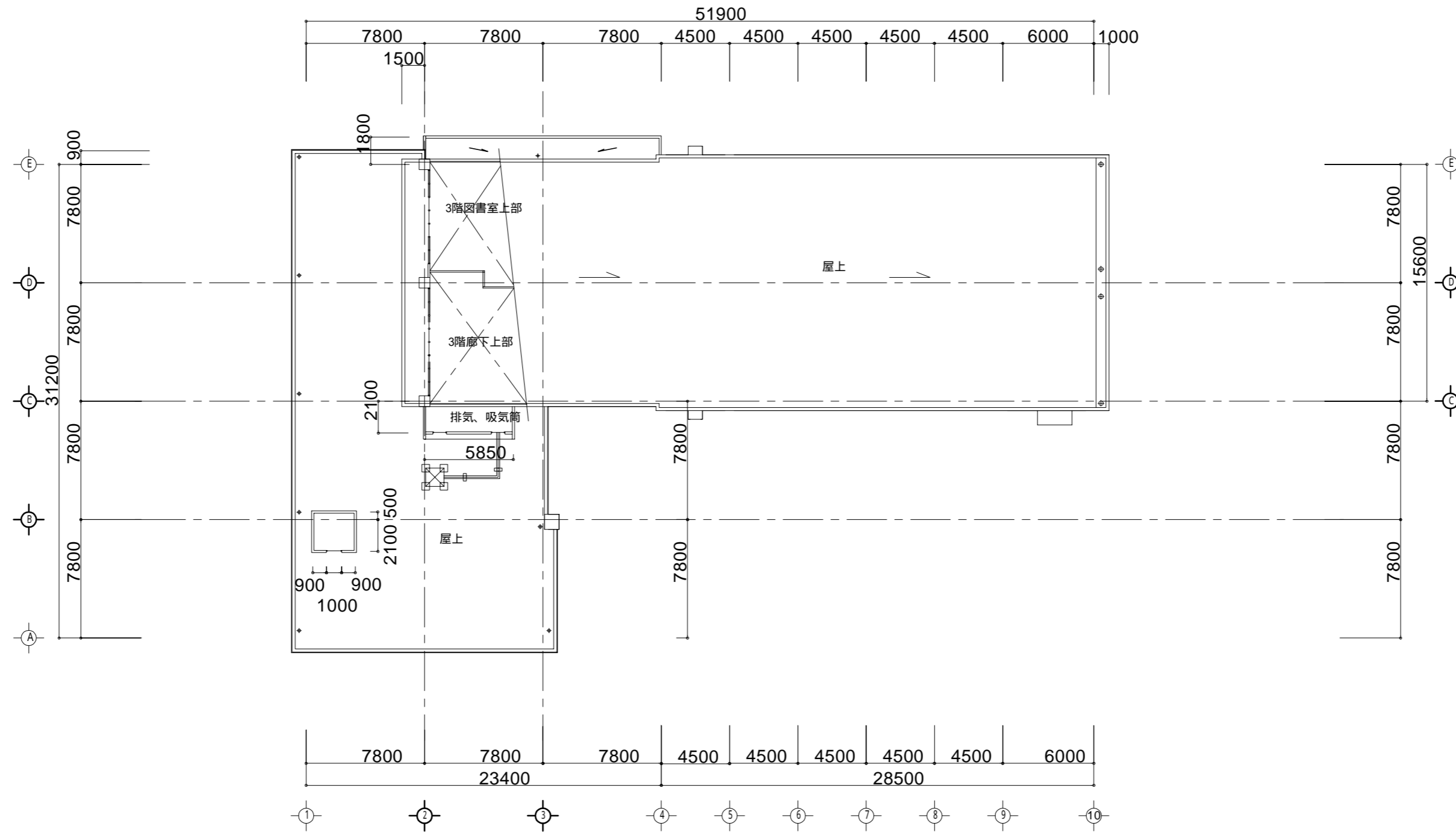
天井伏図



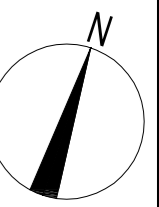
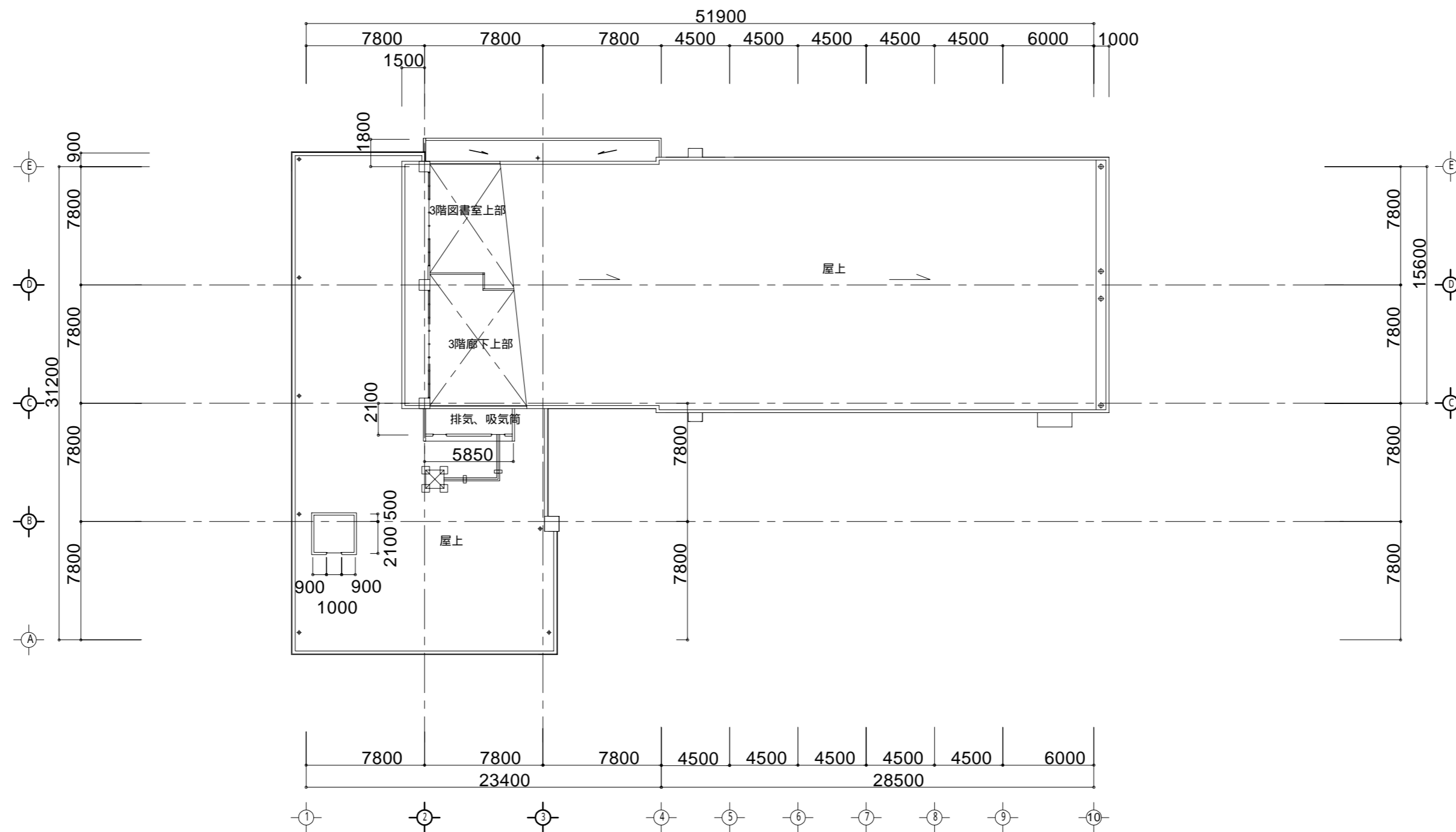
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総務責任者 岡部 六郎 1級建築士 第142316号	担当 11	図面種類 A 11	縮尺 1/300(A2) 3階平面図	株式会社 浦野設計 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号	管理建築士 浦野 三男 1級建築士 11388号
----	----------------	------------	-----------------------	-------------------------------------	----------	-----------------	--------------------------	---	-----------------------------------



改修前



改修後



特記	
----	--

設計番号	P1203M
------	--------

作成日付	訂正
------	----

工事名称	関文化交流センター改修工事
------	---------------

編者責任者	
用部 六室	
1級建築士	
第142316号	

担当	
図面種類	A
図面番号	12
縮尺	1/300(A2)
図面名称	屋上階平面図

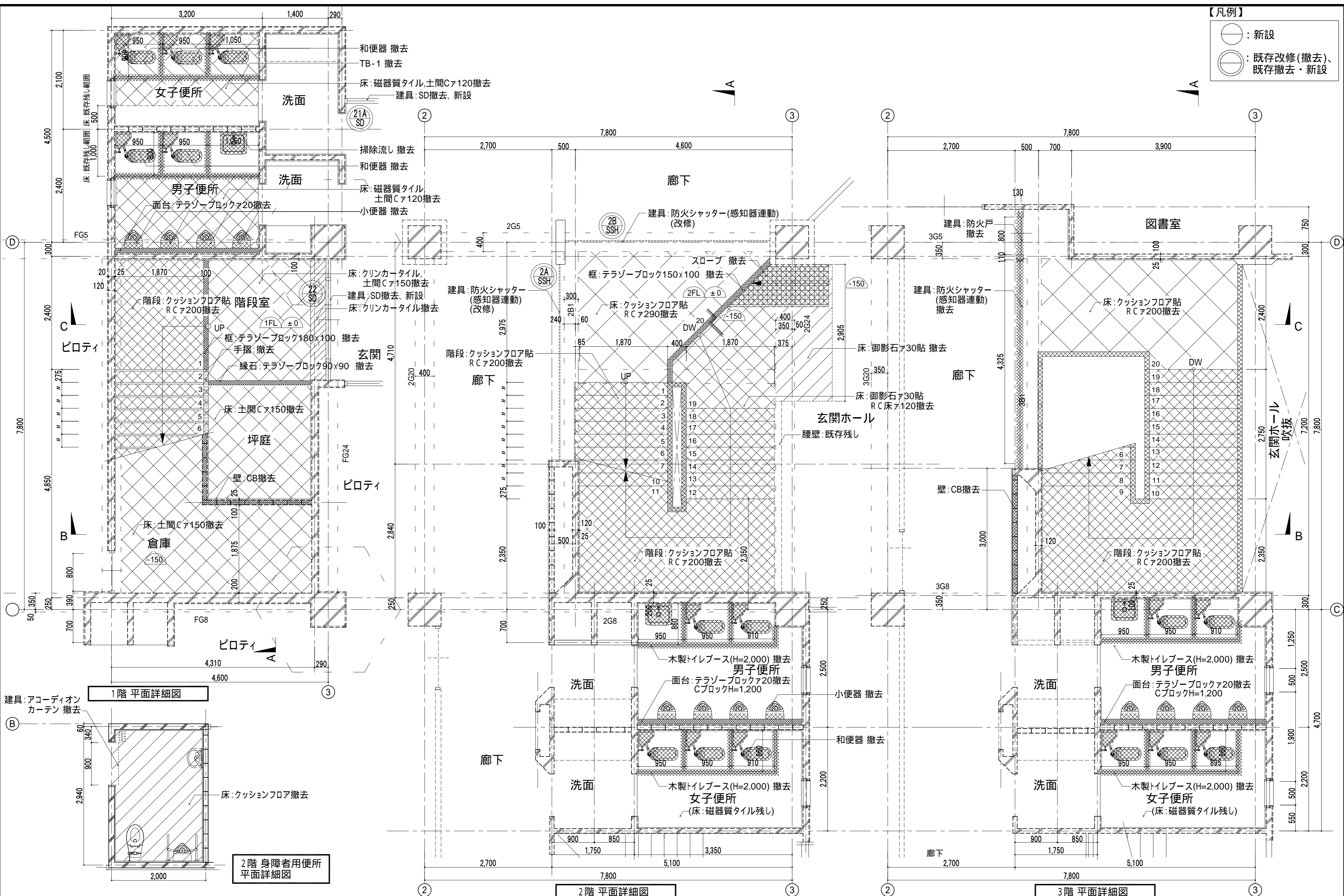
株式会社 浦野設計
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号

管理建築士	
浦野 三男	
1級建築士	
11388号	

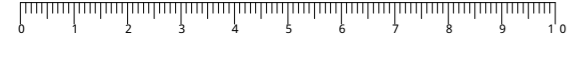


【凡例】

- : 新設
- (with diagonal lines) : 既存改修(撤去)、既存撤去・新設

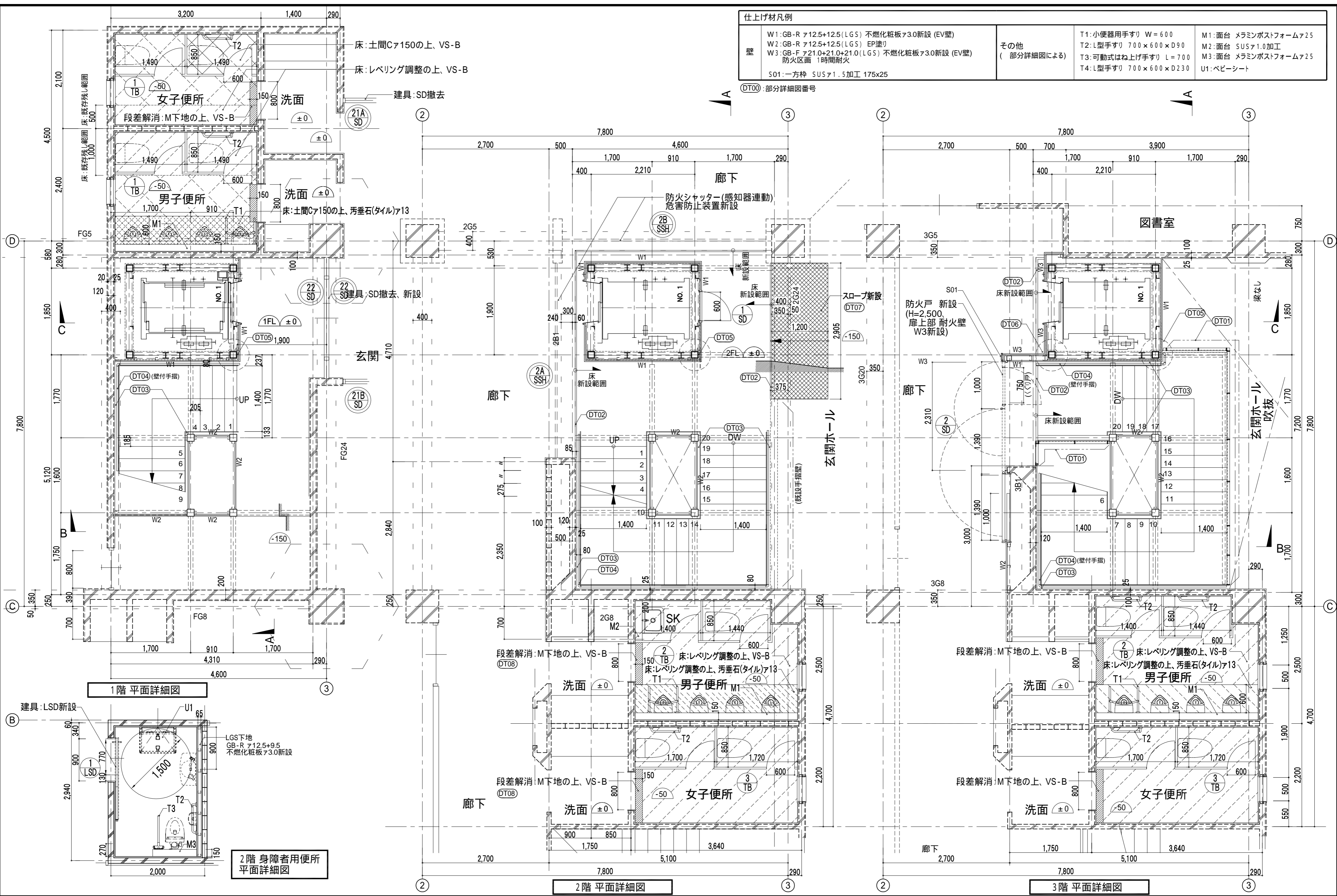


特記	図号	設計者	図名	縮尺	製図者	承認者	図面番号	縮尺	製図者	承認者
	P1203M	浦野設計	関文化交流センター改修工事	1/50(A2)	浦野 大空	浦野 大空	A	1/50(A2)	浦野 大空	浦野 大空
					1級建築士 第142316号		13	改修前 平面詳細図		
									株式会社 浦野設計	浦野 大空 1級建築士 11388号
									URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号	



仕上げ材凡例		
壁	W1:GB-R 125+12.5(LGS) 不燃化粧板 γ 3.0新設 (EV壁) W2:GB-R 125+12.5(LGS) EP塗り W3:GB-F γ 21.0+21.0(LGS) 不燃化粧板 γ 3.0新設 (EV壁) 防火区画 1時間耐火	その他 (部分詳細図による) S01:一方枠 SUS γ 1.5加工 175x25
		T1:小便器用すりすり W=600 T2:L型すりすり 700x600xD90 T3:可動式はね上げすりすり L=700 T4:L型すりすり 700x600xD230
		M1:面台メラミンボストフォーム γ 25 M2:面台 SUS γ 1.0加工 M3:面台メラミンボストフォーム γ 25 U1:ペビシート

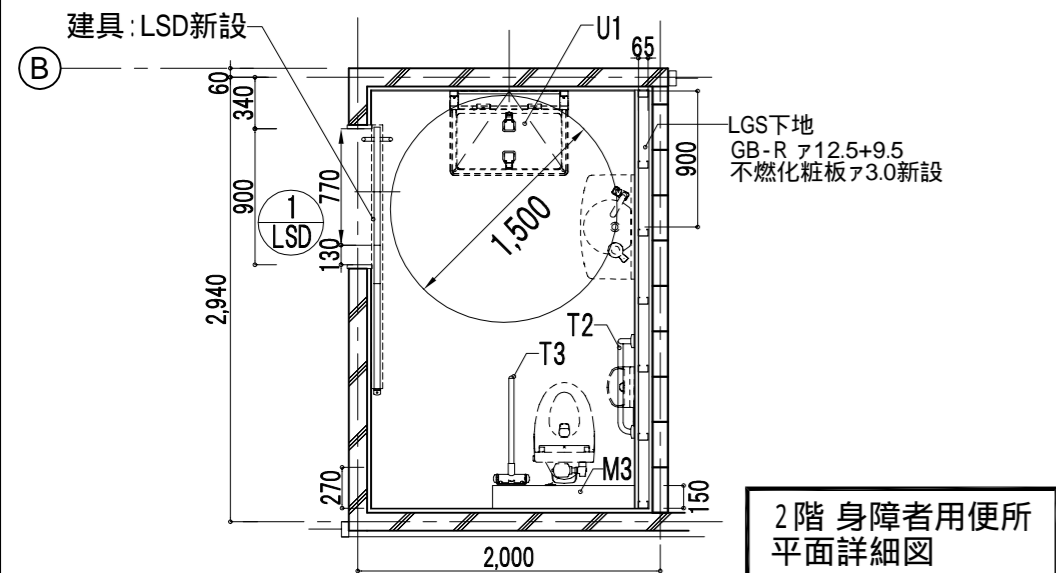
DT00:部分詳細図番号



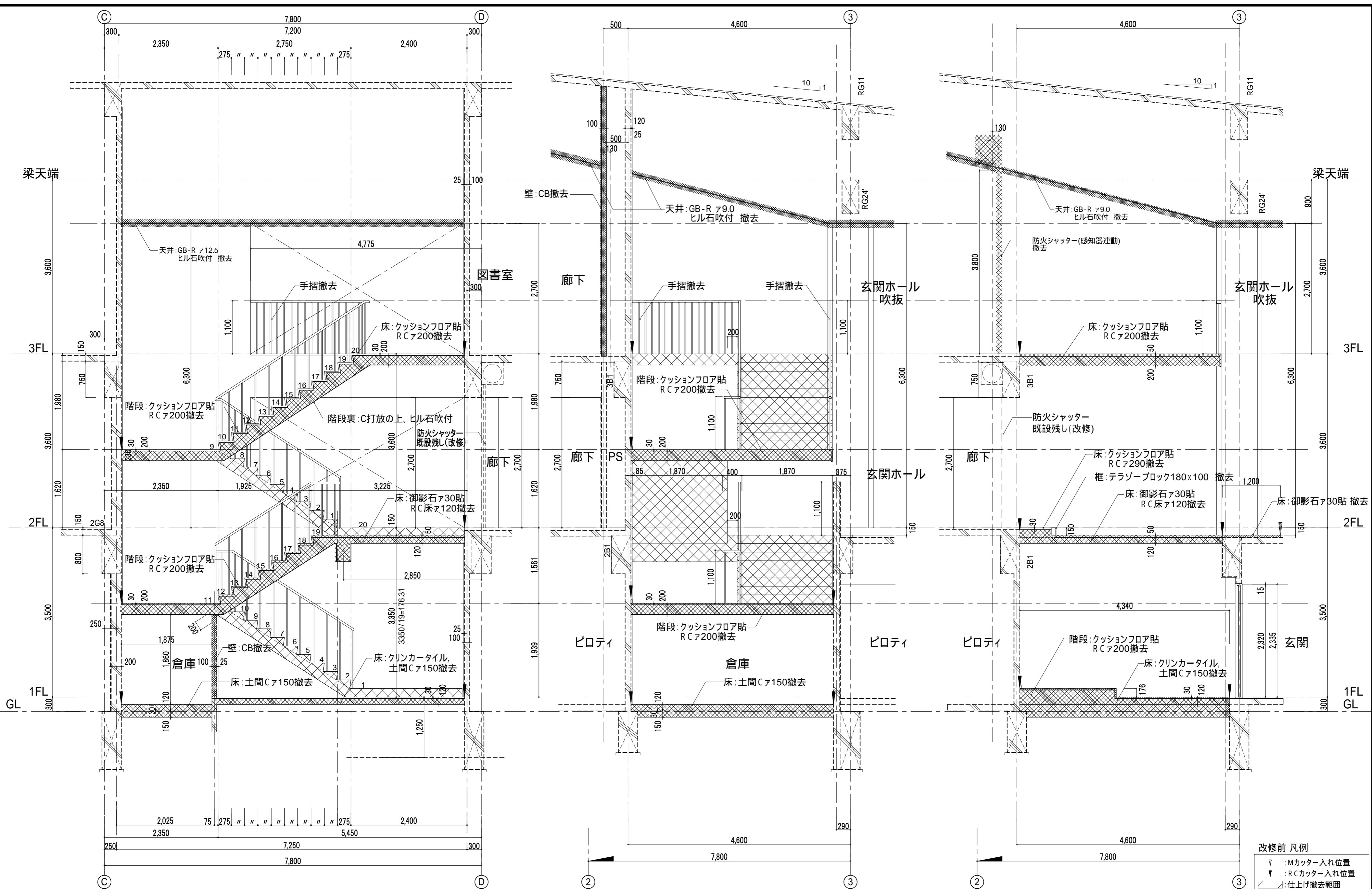
1階平面詳細図

2階平面詳細図

3階平面詳細図



2階身障者用便所平面詳細図



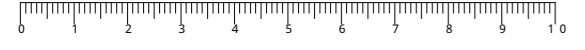
A 断面詳細図

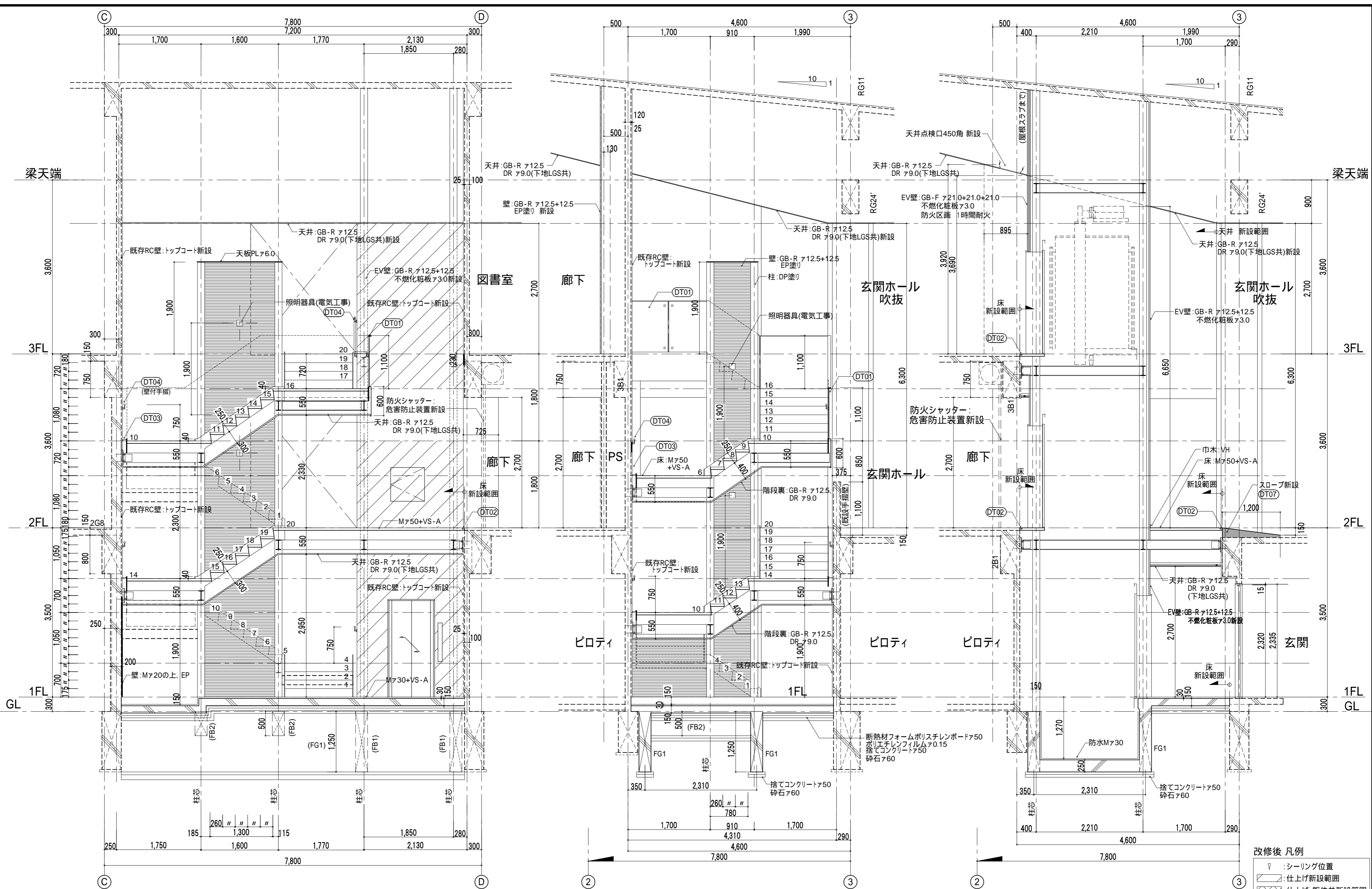
B 断面詳細図

C 断面詳細図

- 改修前 凡例
- ▽ : Mカッター入れ位置
 - ▼ : RCカッター入れ位置
 - ▨ : 仕上げ撤去範囲
 - ▩ : 仕上げ・躯体共撤去範囲
 - ▧ : 土間C、砕石撤去範囲

特記	図番	301番号	作成日付	工事名称	図面種類	縮尺	設計者	図面番号	縮尺	株式会社 浦野設計	設計者
		P1203M	訂正	関文化交流センター改修工事	A	1/50(A2)		15	改修前 矩計図	URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号	浦野 三男 1級建築士 11388号





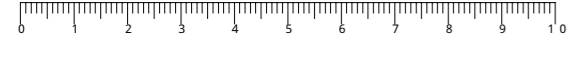
A 断面詳細図

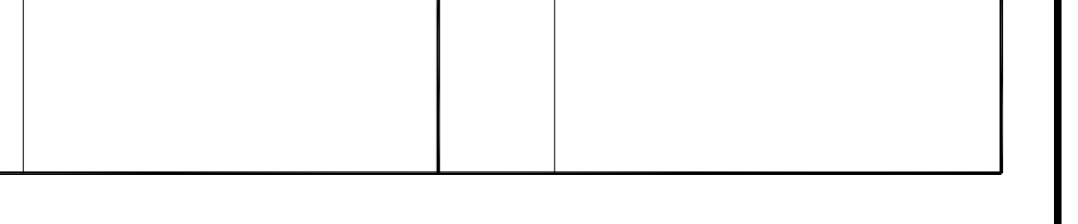
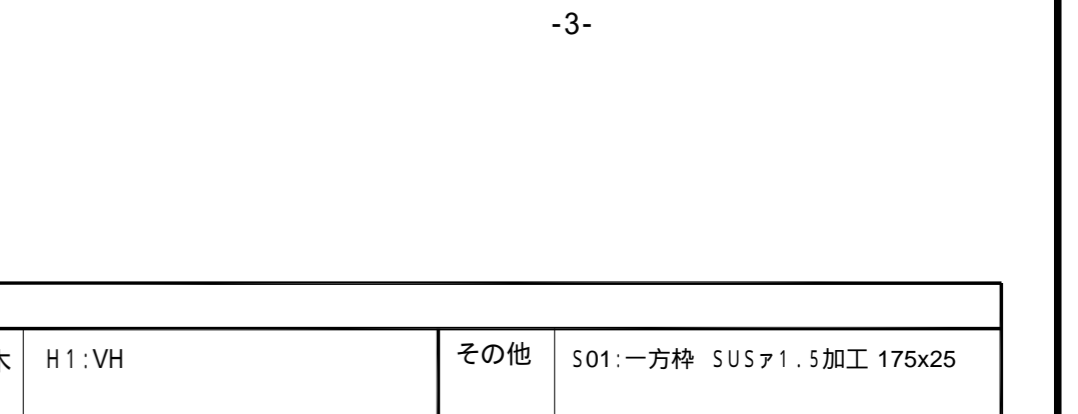
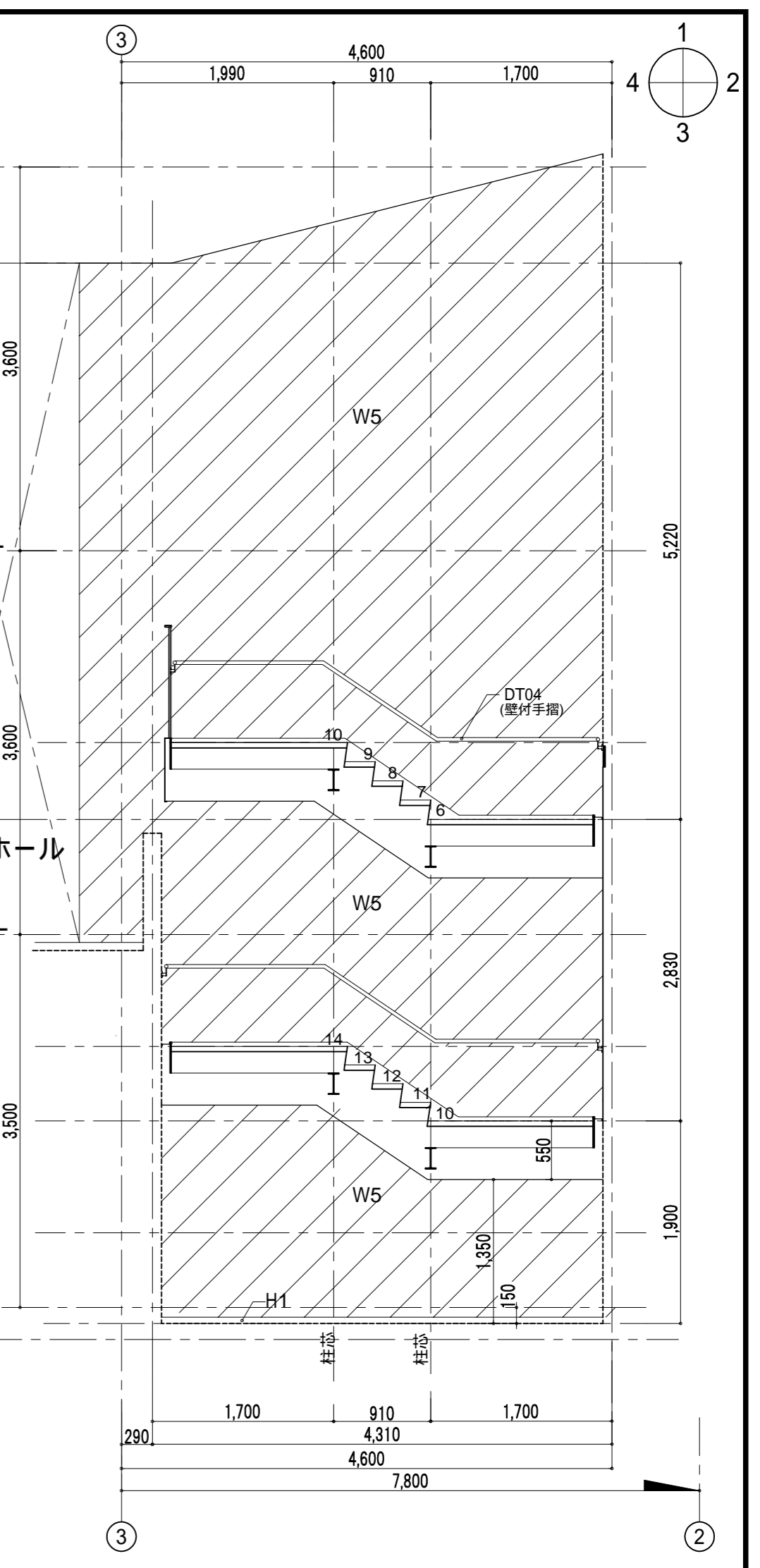
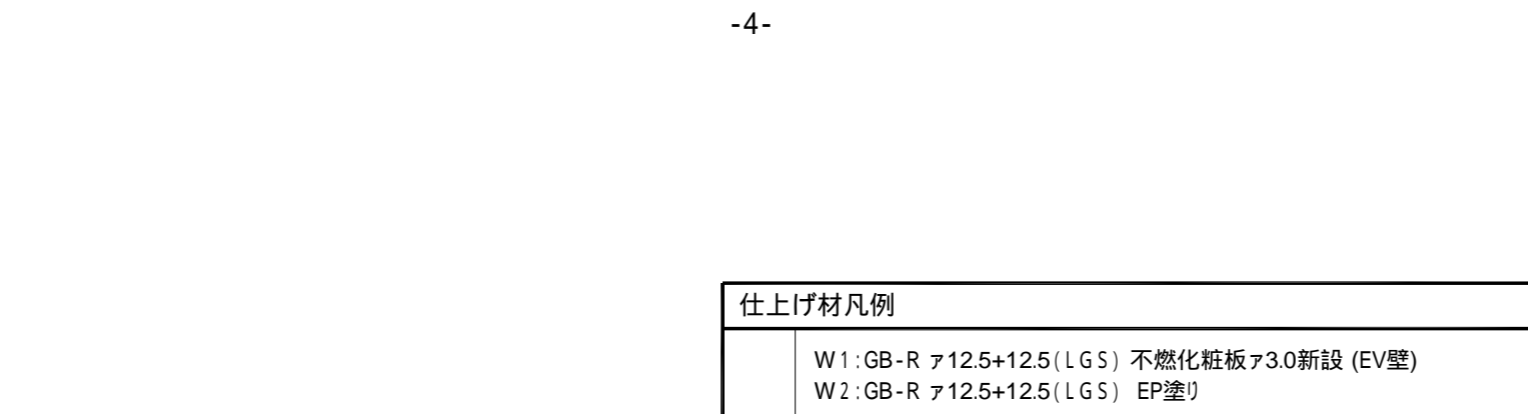
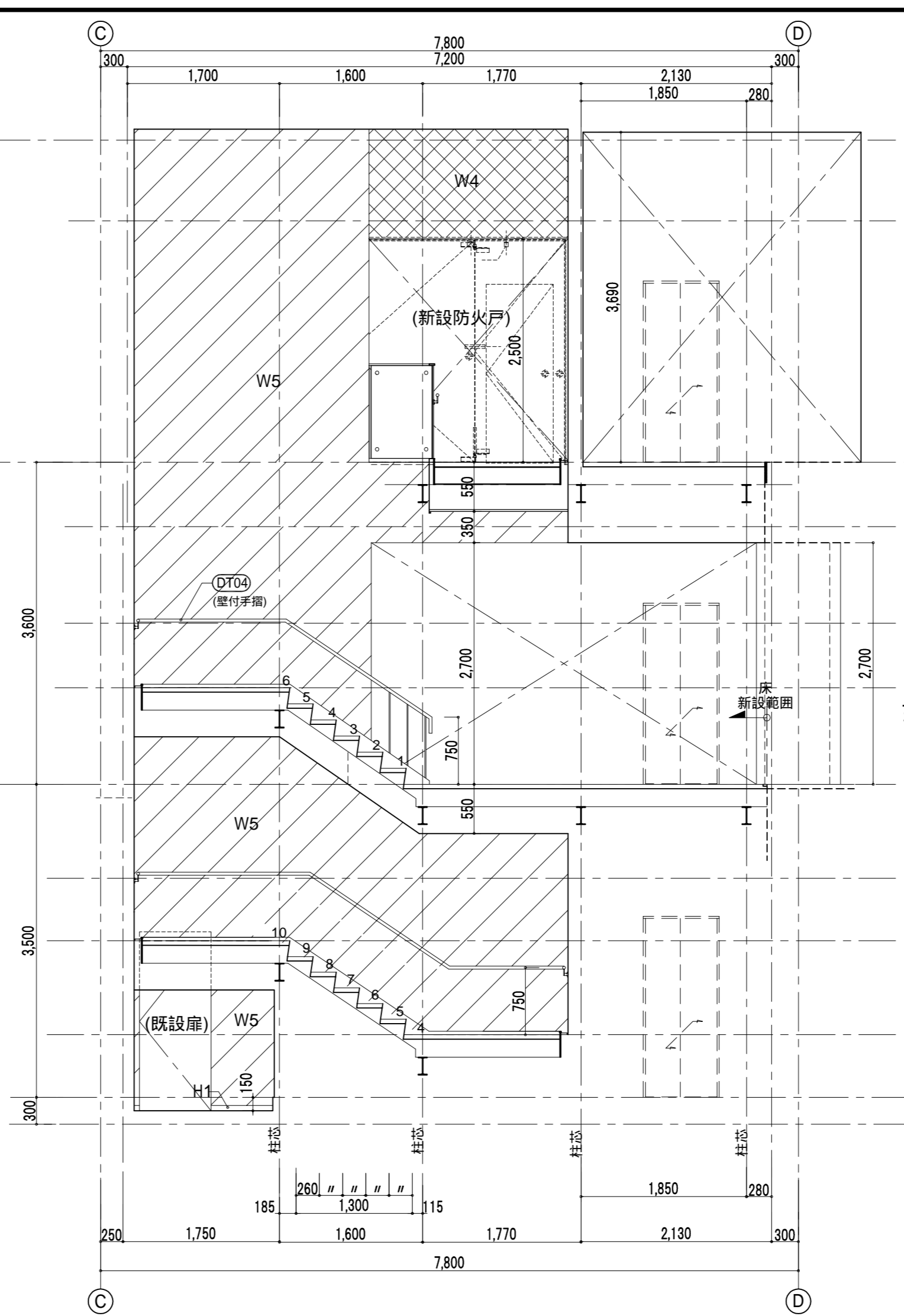
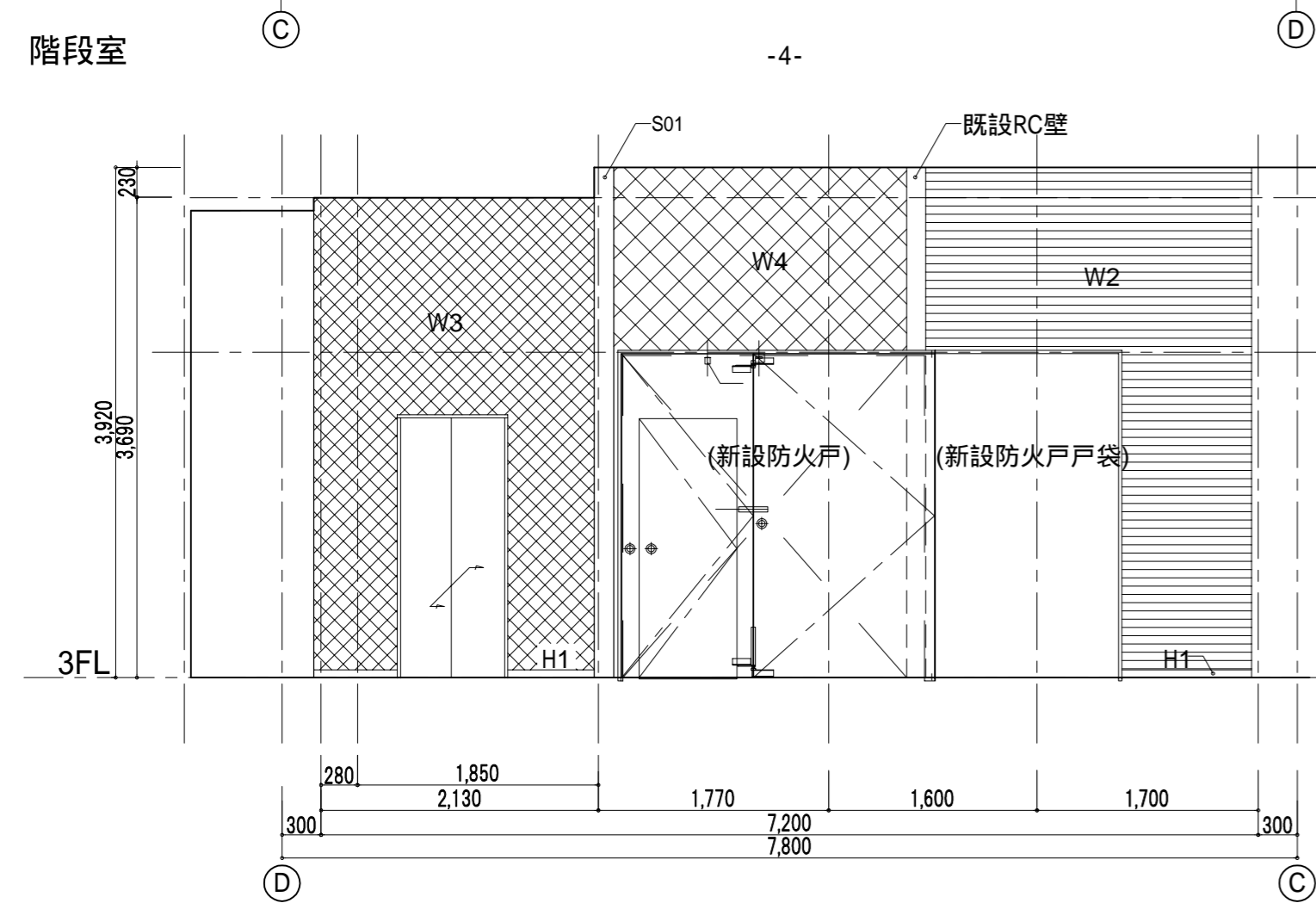
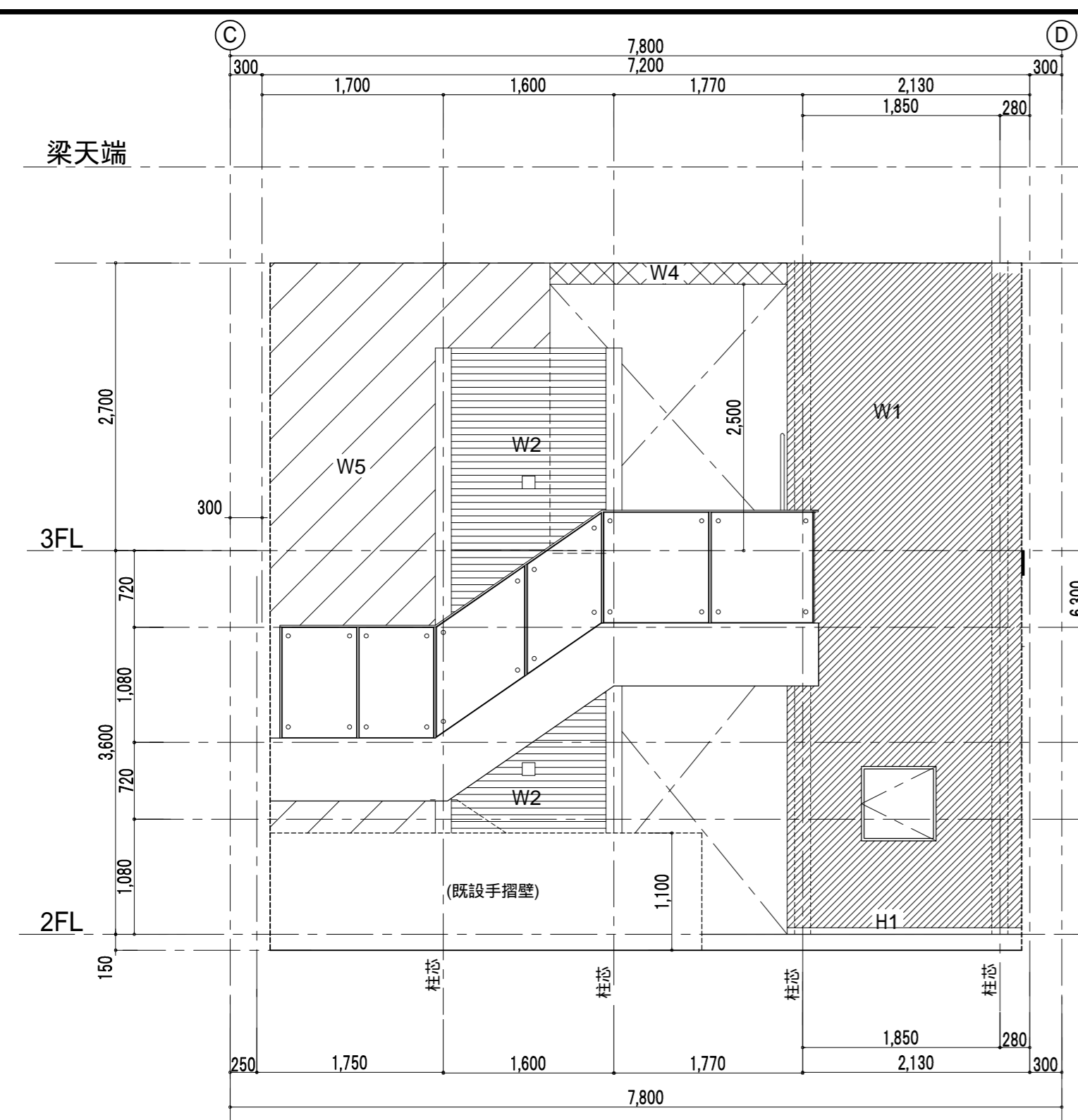
B 断面詳細図

C 断面詳細図

- 改修後 凡例
- ▽ : シーリング位置
 - : 仕上げ新設範囲
 - ⊗ : 仕上げ・躯体共新設範囲
 - : 土間C、砕石新設範囲

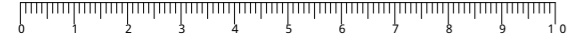
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	図面責任者 関野 大空	図面種類 A	縮尺 1/50(A2)	図面番号 16	改修後 矩計図	株式会社 浦野設計 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 愛知県知事登録(11-20)第705号	図面番 浦野 三男 1級建築士 11388号
----	----------------	------------	-----------------------	----------------	-----------	----------------	------------	---------	---	---------------------------------

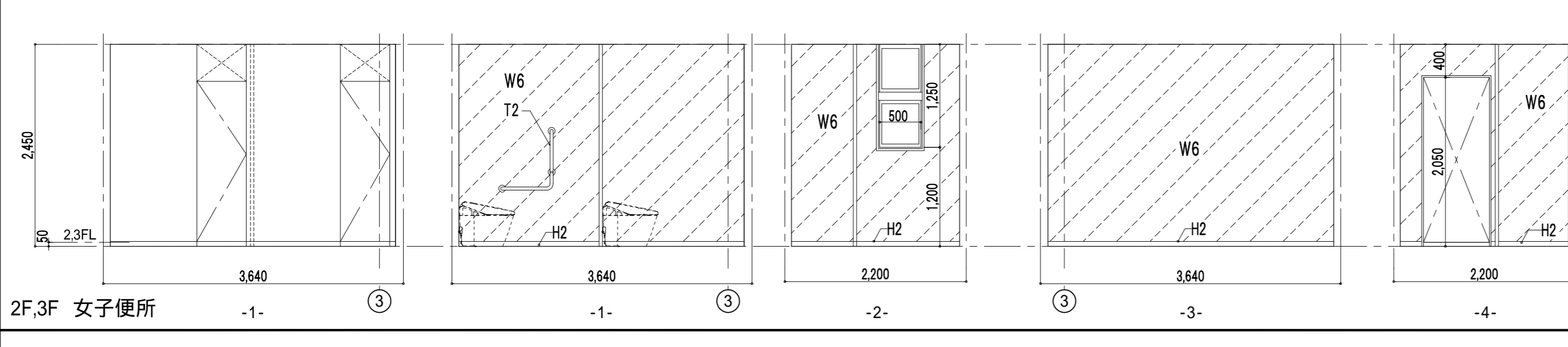
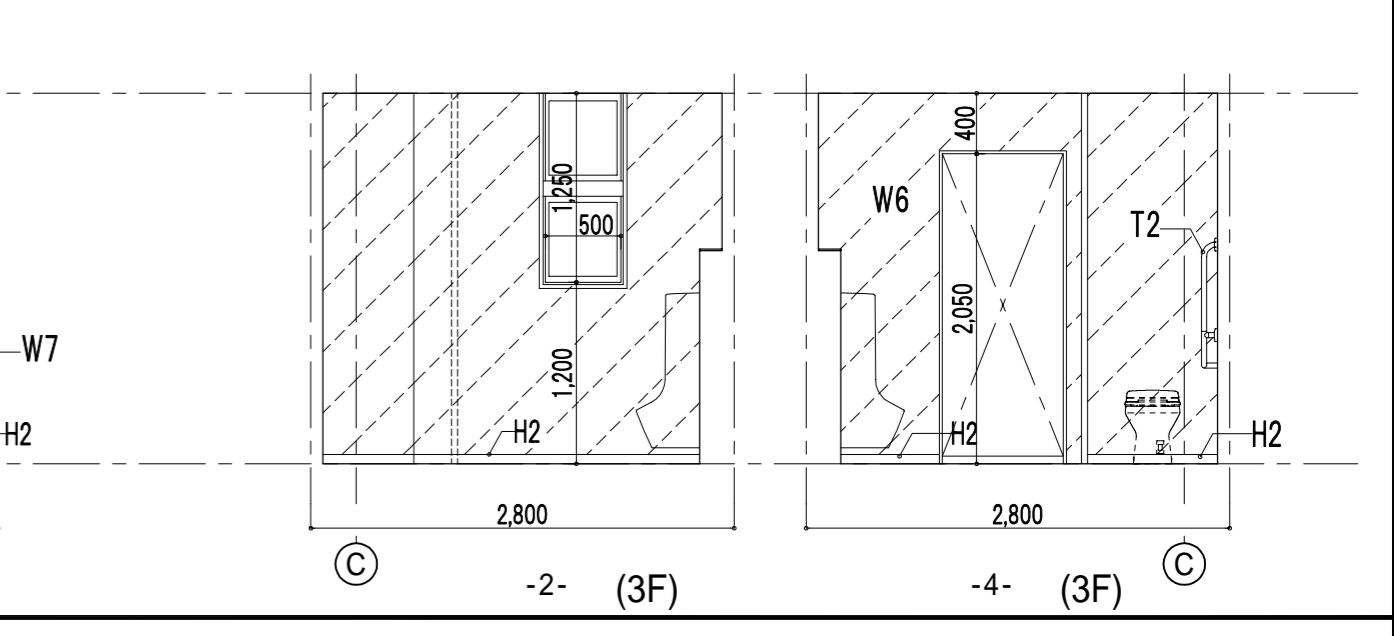
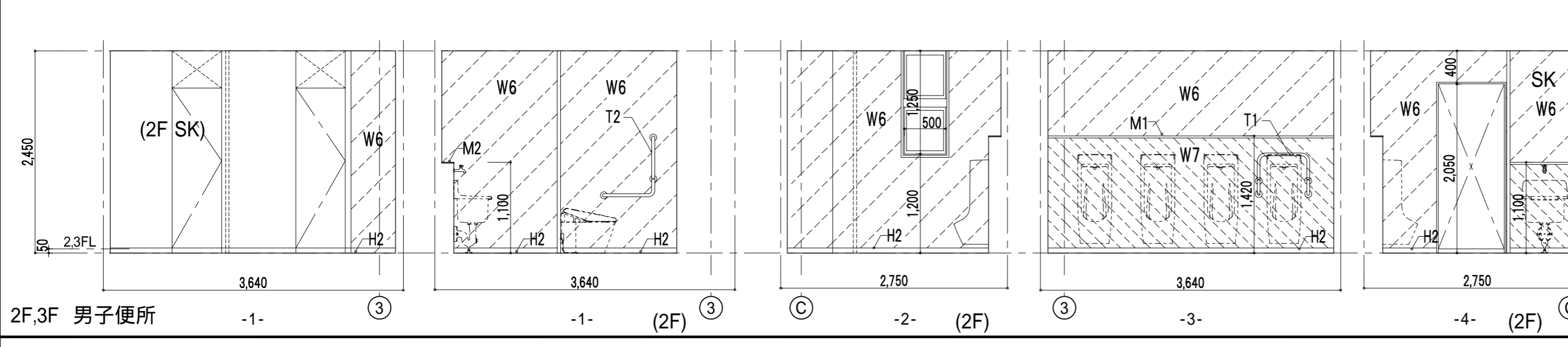
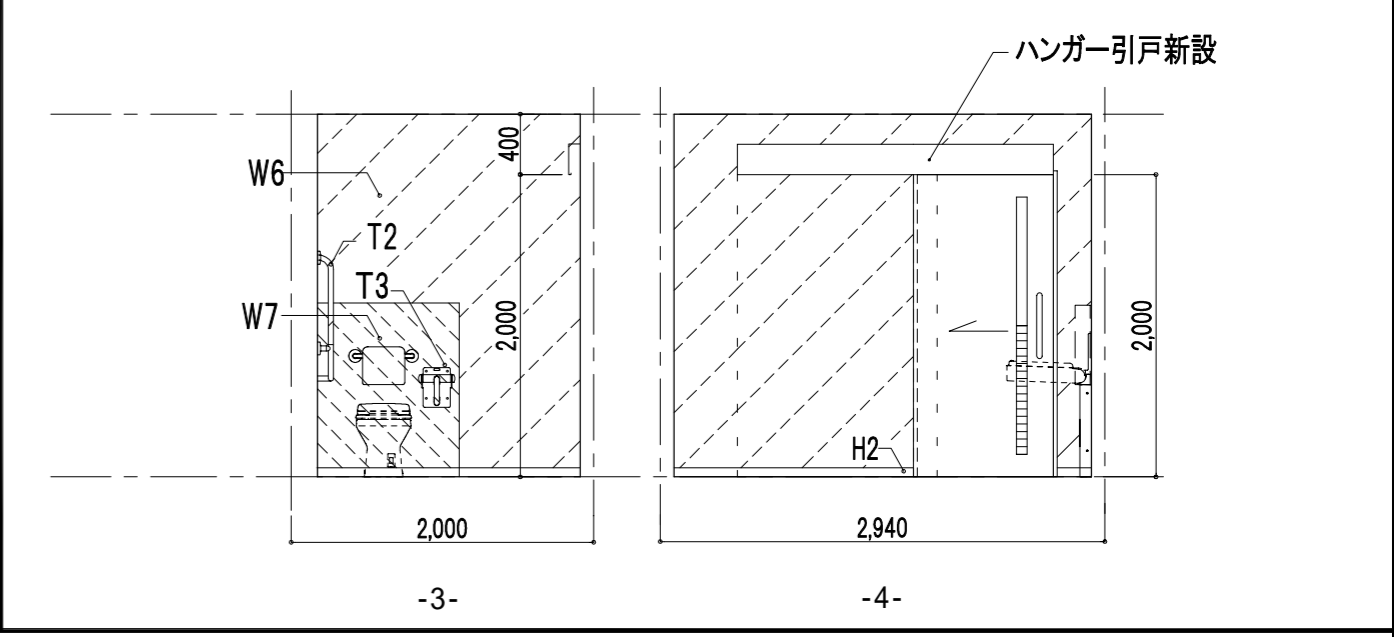
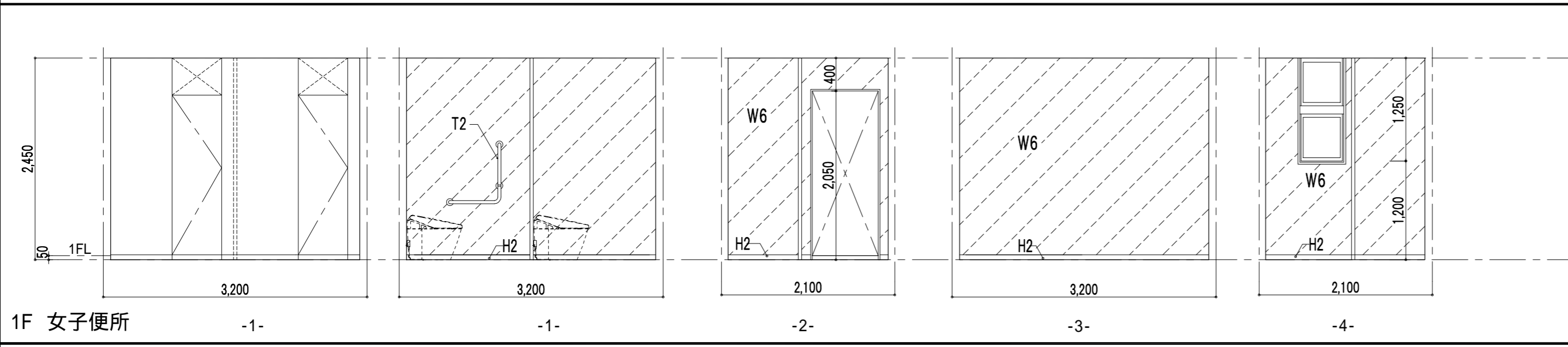
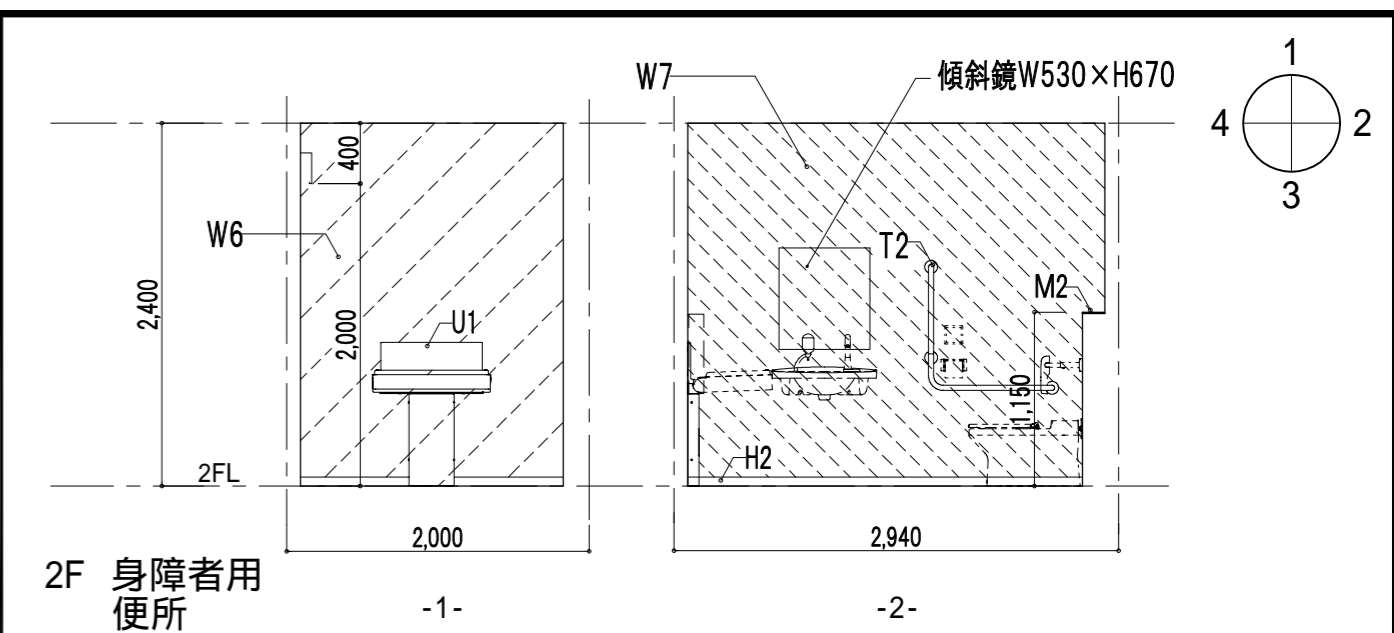
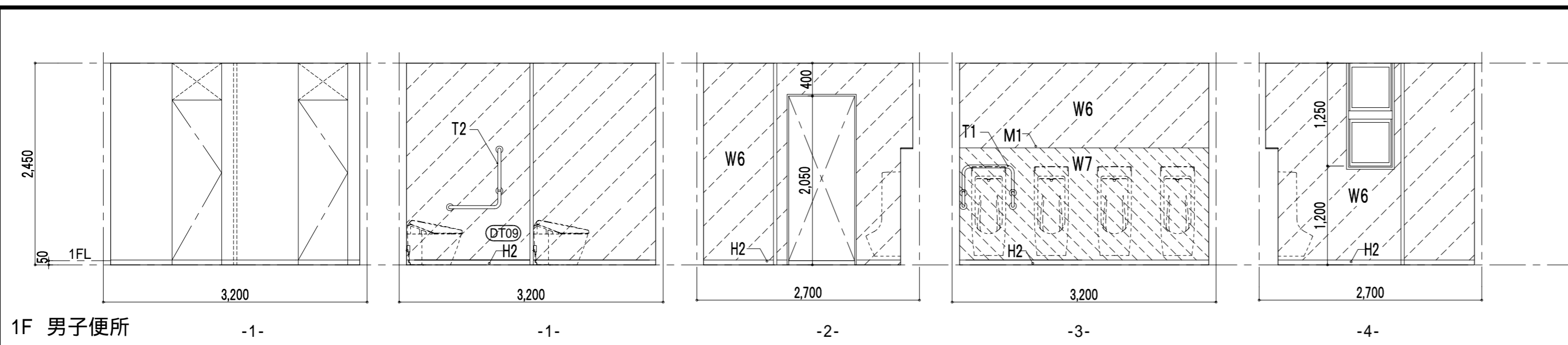




仕上げ材凡例		
壁	W1:GB-R 12.5+12.5(LGS) 不燃化粧板12.5新設 (EV壁) W2:GB-R 12.5+12.5(LGS) EP塗)	巾木 H1:VH
	W3:GB-F 21.0+21.0(LGS) 不燃化粧板12.5新設 (EV壁) 防火区画 1時間耐火	その他
	W4:GB-F 21.0+21.0(LGS) EP(防火戸上部壁) 防火区画 1時間耐火	S01:一方枠 SUS1.5加工 175x25
	W5:(既設RC壁)トップコート新設	

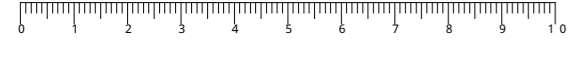
(DT00):部分詳細図番号





仕上げ材凡例			
壁	W6: 既設 磁器質タイル貼の上、不燃化粧板φ3.0 (下地レベリング) W7: GB-Rφ9.5+12.5 不燃化粧板φ3.0	巾木	H2: 床VS-B 立上げH60 (DT09)
		その他	T1: 小便器手摺 T2: L字手摺 T3: 跳ね上げ手摺 M1, M2, M3: 面台 U1: ベビーシート

(DT00): 部分詳細図番号

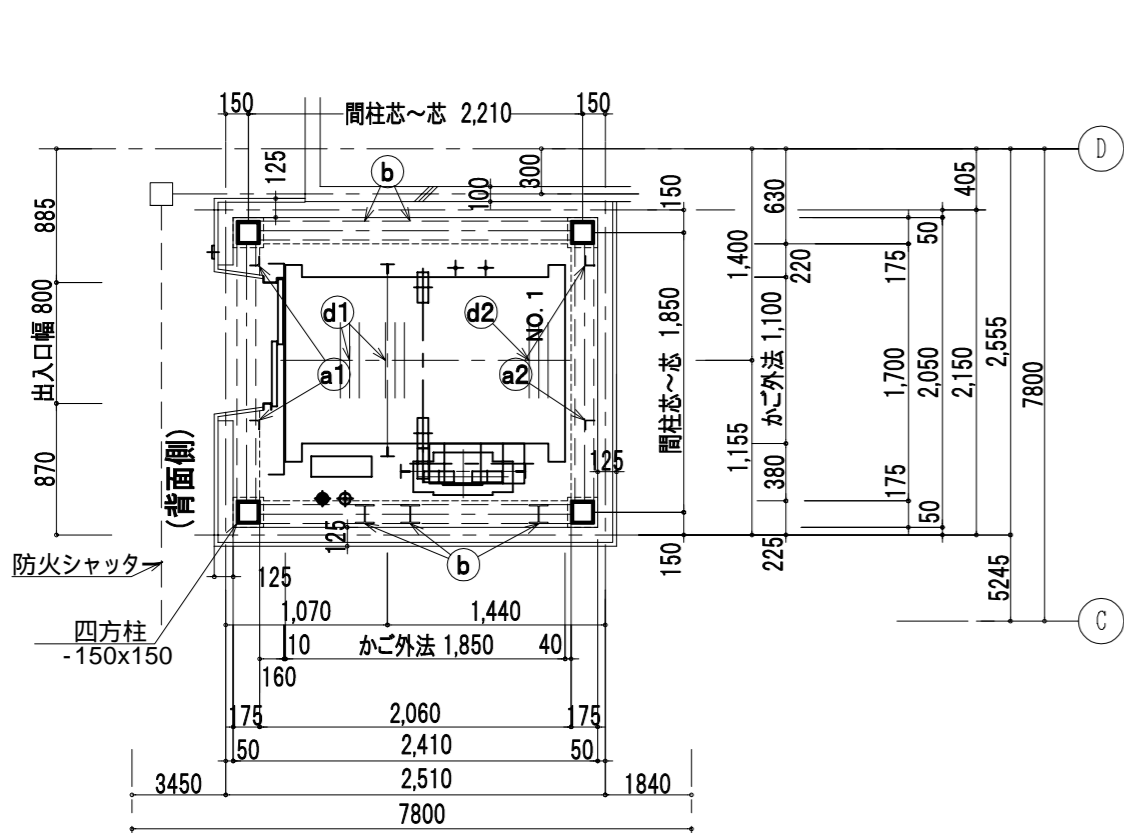


【凡例】 ○：新設 ○：既存改修(撤去)、既存撤去・新設

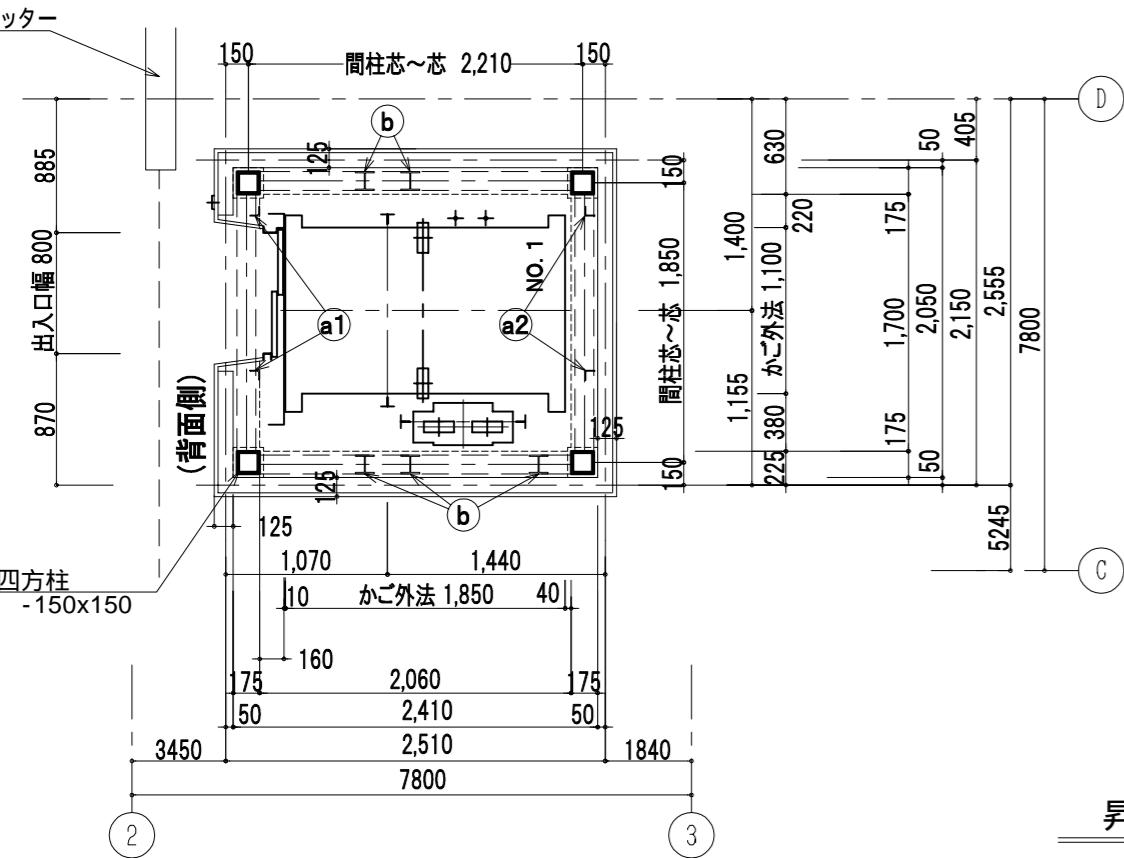
符号	名称	① LSD	① SD	① SD	① TB	② TB	② TB
	場所	軽量スチール片引きハンガードア 2階 身障者用便所	スチール製片開きドア 2階 EVシャフト背面	スチール製折戸 3階 階段前	トイレブース 1F 男子便所、女子便所	トイレブース 2F、3F 男子便所	トイレブース 2F、3F 女子便所
姿 図							
箇所	見込・形状	1	1	1	2	2	2
硝子	仕上	F74	焼付塗装	メラミン化粧板貼	SOP	メラミン化粧板貼	
額縁	(材質/仕上/見込)		St A1.6	SOP	スチール A1.6	SOP	
水切	(材質/仕上/形状)		A	St A1.6	SOP	C	SUS
付属金物		引手ハンドル、HL、ハンガー金物一式 附属金物一式、自閉装置	H CH 附属金物一式	AH,CS 附属金物一式	GH、戸当り、ステンレス巾木、 エナメルウレタン塗装エッジ、スライドボルト		
備考				特定防火設備 遮煙性能 煙感知器連動	パネル芯LVL		

符号	名称	②1A SD	②2 SD	②A SSH	②B SSH	③ SSH
	場所	スチール製両開きドア 1階 玄関	スチール製両開きドア 1階 階段室	既設スチール製シャッター 2階 階段室	既設スチール製シャッター 2階 階段室	スチール製シャッター 3階 階段室
姿 図						
箇所	見込・形状	A: 1、 B: 1	1	1	1	1
硝子	仕上	F76.8	SOP	耐熱強化ガラス	SOP	
額縁	(材質/仕上/見込)	SUS	SUS	SUS		
水切	(材質/仕上/形状)	SUS	SUS	SUS		
付属金物		FH PD SUS握手 附属金物一式	FH PD SUS握手 附属金物一式	附属金物一式		附属金物一式 CH、くくり戸
備考			特定防火設備	特定防火設備 遮煙性能 煙感知器連動 自動閉鎖装置		

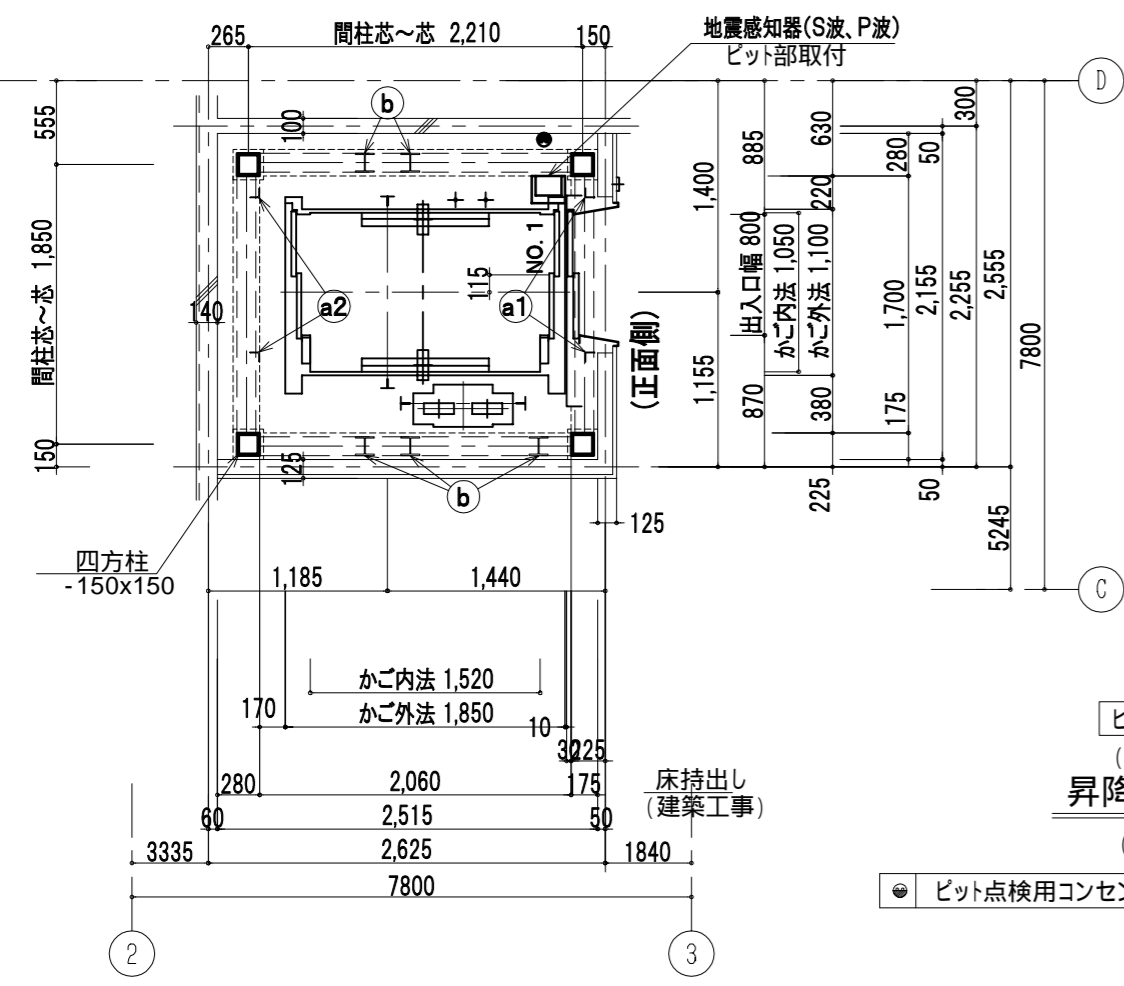
<p>一般事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建具寸法は、現場にて再調整の上、決定する。 2. 特記なき限り、木製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、重量シャッターの仕上げはSOPとする。 3. 特記なき限り、アルミニウム製建具の特見込みは70とする。 4. 特記なき限り、木製戸鋼製戸の見込みは40、鋼製軽量戸は36、木製障子は33とする。 5. 特記なき限り、がらりは建具と同材とする。 6. 特記なき限り、外部はシリンダ・箱錠(内側サムターン)とする。ただし、押板、とっ手の場合はシリンダ・本錠錠(内側サムターン)とする。 7. 特記なき限り、内部はモ/ロックとし形状は下表による。 <table border="1"> <tr> <th>室名</th> <th>室外</th> <th>室内</th> </tr> <tr> <td>一般室及び下記以外の室</td> <td>シリンダ</td> <td>押しボタン</td> </tr> <tr> <td>書庫、倉庫、物品庫など</td> <td>シリンダ</td> <td>空錠</td> </tr> <tr> <td>湯沸室、掃除具入など</td> <td>空錠</td> <td>空錠</td> </tr> <tr> <td>浴室など</td> <td>非常装置付空錠</td> <td>押しボタン</td> </tr> </table> 8. 鋼製軽量建具で簡易気密ドアの縦小口包板(クロープレッスポンジゴムとの取合い)の材質はステンレス鋼板とする。 9. 特記なき限り衝突防止表示の材質はステンレス鏡面、約30 x 3程度とし、位置は建具形状図による。 	室名	室外	室内	一般室及び下記以外の室	シリンダ	押しボタン	書庫、倉庫、物品庫など	シリンダ	空錠	湯沸室、掃除具入など	空錠	空錠	浴室など	非常装置付空錠	押しボタン	<ol style="list-style-type: none"> 10. 特記なき限り非常出入口の表示(一辺20cmの正三角形)は、カッティングシートにより位置は立面図による。 11. 特記なき限り建具金物は、SUS製とし、ユニオンKK同等品以上とする。 12. 特記なき限り常閉防火戸については、オートヒンジ(ストッパー無し)が取付(ものとする)。 13. 特記なき限りガラの形状はAタイプとする(開口率70%以上)。 14. 特記なき限り1階のクレセントは鍵付きとする。 15. 特記なき限りアルミサッシの隠線はアルミ製とする。 16. アルミガラ部分のうち、梁側面等ダクトの接続のない部分については止水処理を施すこと。 17. 特記なき限りSD、LSDの枠はSOPとする。 18. 化粧フィルムは、住友3Mファサラ同等以上とする。 19. 化粧シートは、住友3Mダイノックフィルム同等以上とする。 20. 排煙窓回転角度は45°以上とする。 21. 特記なき排煙オペレーター及びハンドルは隠蔽式とする。 22. 自然排煙設備の引違い窓クレセント、片開き窓のハンドル、排煙オペレーターの取付け高さは、FL+800以上、1500以下とする。 	<p>建具符号凡例</p> <table border="1"> <tr><td>AW</td><td>アルミサッシュ</td></tr> <tr><td>AG</td><td>アルミガラ</td></tr> <tr><td>ACW</td><td>カーテンウォール</td></tr> <tr><td>SW</td><td>スチールサッシュ</td></tr> <tr><td>SD</td><td>スチールドア</td></tr> <tr><td>SG</td><td>スチールガラ</td></tr> <tr><td>SF</td><td>スチール製三方枠</td></tr> <tr><td>LSD</td><td>軽量スチールフラッシュドア</td></tr> <tr><td>SSW</td><td>ステンレスサッシュ</td></tr> <tr><td>SSD</td><td>ステンレスドア</td></tr> <tr><td>SSG</td><td>ステンレスガラ</td></tr> <tr><td>SSF</td><td>ステンレス三方枠</td></tr> <tr><td>SS</td><td>シャッター</td></tr> <tr><td>WW</td><td>木製窓</td></tr> <tr><td>WD</td><td>木製ドア</td></tr> <tr><td>WG</td><td>木製ガラ</td></tr> <tr><td>WF</td><td>木製三方枠</td></tr> <tr><td>FD</td><td>ふすま、戸ふすま</td></tr> <tr><td>TB</td><td>トイレブース</td></tr> <tr><td>AP</td><td>アルミパーテーション</td></tr> <tr><td>SP</td><td>スチールパーテーション</td></tr> <tr><td>SLW</td><td>スライディングウォール</td></tr> <tr><td>AAD</td><td>アルミ製自動ドア</td></tr> </table>	AW	アルミサッシュ	AG	アルミガラ	ACW	カーテンウォール	SW	スチールサッシュ	SD	スチールドア	SG	スチールガラ	SF	スチール製三方枠	LSD	軽量スチールフラッシュドア	SSW	ステンレスサッシュ	SSD	ステンレスドア	SSG	ステンレスガラ	SSF	ステンレス三方枠	SS	シャッター	WW	木製窓	WD	木製ドア	WG	木製ガラ	WF	木製三方枠	FD	ふすま、戸ふすま	TB	トイレブース	AP	アルミパーテーション	SP	スチールパーテーション	SLW	スライディングウォール	AAD	アルミ製自動ドア	<p>符号凡例</p> <table border="1"> <tr><td>FL</td><td>フロート板ガラス</td><td>DC</td><td>ドアローザ(ストッパー有)</td></tr> <tr><td>F</td><td>型板ガラス</td><td>DCN</td><td>ドアローザ(ストッパー無)</td></tr> <tr><td>HP</td><td>熱線吸収フロートガラス</td><td>FH</td><td>フロアヒンジ</td></tr> <tr><td>RP</td><td>熱線反射ガラス</td><td>AH</td><td>オートヒンジ(ストッパー無)</td></tr> <tr><td>TL</td><td>強化ガラス(t4.5はスクール強化)</td><td>PH</td><td>ヒポットヒンジ</td></tr> <tr><td>TLF</td><td>型強化ガラス</td><td>GH</td><td>グラビティヒンジ</td></tr> <tr><td>FFL</td><td>透明防火ガラス</td><td>LTH</td><td>ラバトリヒンジ</td></tr> <tr><td>IG</td><td>複層ガラス</td><td>H</td><td>丁番</td></tr> <tr><td>L</td><td>合わせガラス</td><td>FO</td><td>フランソ落し</td></tr> <tr><td>PW</td><td>網入層ガラス</td><td>FD</td><td>ファイアーダンパー</td></tr> <tr><td>線**</td><td>線入り</td><td>PD</td><td>シリンダ本締り錠</td></tr> <tr><td>FW</td><td>網入型板ガラス</td><td>HL</td><td>シリンダ錠錠</td></tr> <tr><td>GB</td><td>ガラスブロック</td><td>CP</td><td>シリンダ錠錠</td></tr> <tr><td>AT</td><td>エアタイト</td><td>ER</td><td>電気錠</td></tr> <tr><td>SAT</td><td>セミエアタイト</td><td>MR</td><td>モ/ロック</td></tr> <tr><td>防</td><td>告示第1360号に定める防火設備(防火戸)とする。</td><td>GR</td><td>グレモン錠</td></tr> <tr><td>特防</td><td>告示第1369号に定める特定防火設備(防火戸)とする(特記外)。</td><td>L1</td><td>表示付ラッチ錠</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>K</td><td>握り玉</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>LH</td><td>レバーハンドル</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>CH</td><td>ケースハンドル</td></tr> </table>	FL	フロート板ガラス	DC	ドアローザ(ストッパー有)	F	型板ガラス	DCN	ドアローザ(ストッパー無)	HP	熱線吸収フロートガラス	FH	フロアヒンジ	RP	熱線反射ガラス	AH	オートヒンジ(ストッパー無)	TL	強化ガラス(t4.5はスクール強化)	PH	ヒポットヒンジ	TLF	型強化ガラス	GH	グラビティヒンジ	FFL	透明防火ガラス	LTH	ラバトリヒンジ	IG	複層ガラス	H	丁番	L	合わせガラス	FO	フランソ落し	PW	網入層ガラス	FD	ファイアーダンパー	線**	線入り	PD	シリンダ本締り錠	FW	網入型板ガラス	HL	シリンダ錠錠	GB	ガラスブロック	CP	シリンダ錠錠	AT	エアタイト	ER	電気錠	SAT	セミエアタイト	MR	モ/ロック	防	告示第1360号に定める防火設備(防火戸)とする。	GR	グレモン錠	特防	告示第1369号に定める特定防火設備(防火戸)とする(特記外)。	L1	表示付ラッチ錠			K	握り玉			LH	レバーハンドル			CH	ケースハンドル	<p>建具廻り凡例</p> <p>窓枠形状</p> <p>アルミ額縁 木額縁</p> <p>ガリ形状</p>
室名	室外	室内																																																																																																																																															
一般室及び下記以外の室	シリンダ	押しボタン																																																																																																																																															
書庫、倉庫、物品庫など	シリンダ	空錠																																																																																																																																															
湯沸室、掃除具入など	空錠	空錠																																																																																																																																															
浴室など	非常装置付空錠	押しボタン																																																																																																																																															
AW	アルミサッシュ																																																																																																																																																
AG	アルミガラ																																																																																																																																																
ACW	カーテンウォール																																																																																																																																																
SW	スチールサッシュ																																																																																																																																																
SD	スチールドア																																																																																																																																																
SG	スチールガラ																																																																																																																																																
SF	スチール製三方枠																																																																																																																																																
LSD	軽量スチールフラッシュドア																																																																																																																																																
SSW	ステンレスサッシュ																																																																																																																																																
SSD	ステンレスドア																																																																																																																																																
SSG	ステンレスガラ																																																																																																																																																
SSF	ステンレス三方枠																																																																																																																																																
SS	シャッター																																																																																																																																																
WW	木製窓																																																																																																																																																
WD	木製ドア																																																																																																																																																
WG	木製ガラ																																																																																																																																																
WF	木製三方枠																																																																																																																																																
FD	ふすま、戸ふすま																																																																																																																																																
TB	トイレブース																																																																																																																																																
AP	アルミパーテーション																																																																																																																																																
SP	スチールパーテーション																																																																																																																																																
SLW	スライディングウォール																																																																																																																																																
AAD	アルミ製自動ドア																																																																																																																																																
FL	フロート板ガラス	DC	ドアローザ(ストッパー有)																																																																																																																																														
F	型板ガラス	DCN	ドアローザ(ストッパー無)																																																																																																																																														
HP	熱線吸収フロートガラス	FH	フロアヒンジ																																																																																																																																														
RP	熱線反射ガラス	AH	オートヒンジ(ストッパー無)																																																																																																																																														
TL	強化ガラス(t4.5はスクール強化)	PH	ヒポットヒンジ																																																																																																																																														
TLF	型強化ガラス	GH	グラビティヒンジ																																																																																																																																														
FFL	透明防火ガラス	LTH	ラバトリヒンジ																																																																																																																																														
IG	複層ガラス	H	丁番																																																																																																																																														
L	合わせガラス	FO	フランソ落し																																																																																																																																														
PW	網入層ガラス	FD	ファイアーダンパー																																																																																																																																														
線**	線入り	PD	シリンダ本締り錠																																																																																																																																														
FW	網入型板ガラス	HL	シリンダ錠錠																																																																																																																																														
GB	ガラスブロック	CP	シリンダ錠錠																																																																																																																																														
AT	エアタイト	ER	電気錠																																																																																																																																														
SAT	セミエアタイト	MR	モ/ロック																																																																																																																																														
防	告示第1360号に定める防火設備(防火戸)とする。	GR	グレモン錠																																																																																																																																														
特防	告示第1369号に定める特定防火設備(防火戸)とする(特記外)。	L1	表示付ラッチ錠																																																																																																																																														
		K	握り玉																																																																																																																																														
		LH	レバーハンドル																																																																																																																																														
		CH	ケースハンドル																																																																																																																																														



ヒック: t25
(3F)
昇降路平面図
(A2 1/50)



ヒック: t25
(2F)
昇降路平面図
(A2 1/50)

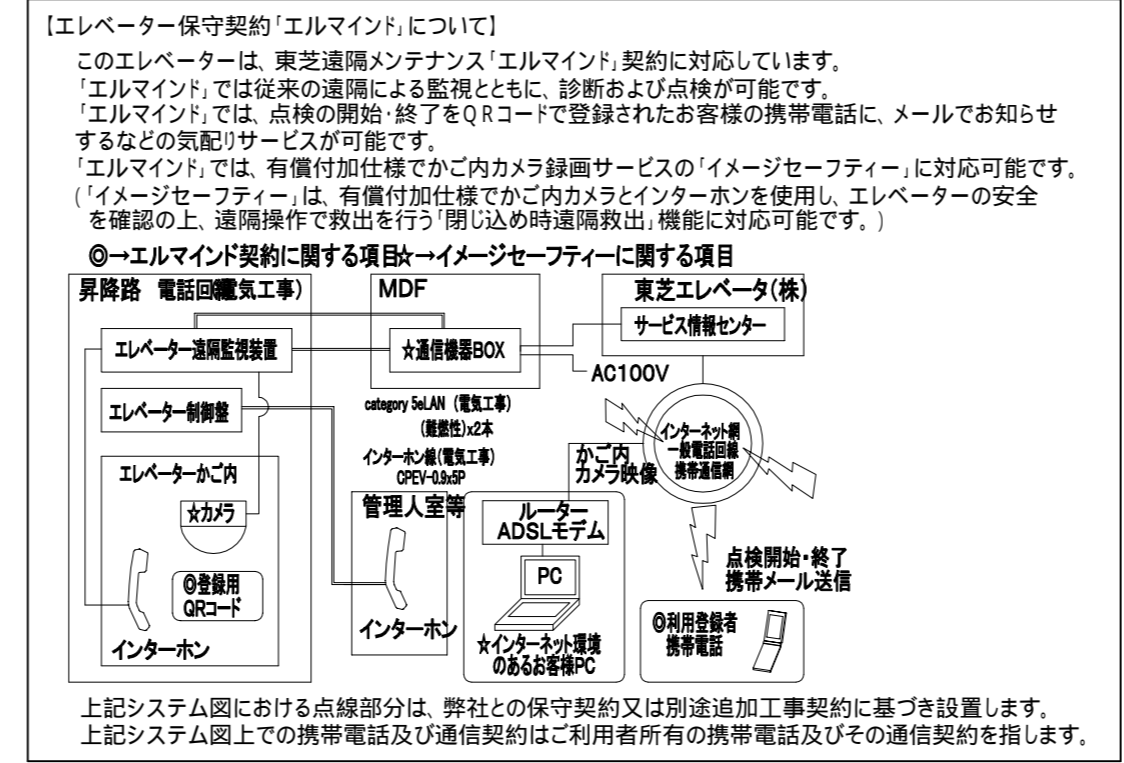


ヒック: t25
(1F)
昇降路平面図
(A2 1/50)

● ビット点検用コンセント (電気工事)

エレベーター廻り鉄骨部材 (耐火被覆なし)		(建築工事)
(a1)	三方枠取付材 L-65x65x6	
(a2)	フェッシャプレート取付材 L-65x65x6	
(b)	レール支持柱 H-125x125x6.5x9	
(d1)	トローリービーム (荷重 19.6 kN) H-125x125x6.5x9	
(d2)	トローリービーム (荷重 9.8 kN) H-125x125x6.5x9	

⊕ 電源引込み (受電盤への接続) ・動力・照明、接地線 3階FL-1350 引出長さ 2m	(電気工事)
⊕ 配線引込み ・インターホン配線、電話線 ・火災信号無電圧点検点検 ・BGMスピーカー用配線 3階FL-650 引出長さ 1m	(電気工事)



(1台1回線)

電源設備	
号機名	NO.1
電源設備容量	200V 4kVA
照明	100V 1.5kVA
最大電流	26.9A
動力機サイズ(mm)	5.5 8.0 14.0
最大引込み距離(m)	60 93 162
建屋側MCCB	30A
接地線最小サイズ	2.0mm ²
インターホン用配線	0.9mm ² ×5P
電話用配管・配線	19配管、電話線1P
ビットコンセント容量	1kVA/台

レール反力リスト (地震時作用荷重)		NO.1	
かご側	Px	3.90kN	
一般階	Py	2.00kN	
かご側	Px	5.30kN	
最上階	Py	4.00kN	
おもり側	Px	5.90kN	
一般階	Py	3.00kN	
おもり側	Px	9.80kN	
最上階	Py	6.90kN	

上記 荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定下さい。

エレベーター除外工事

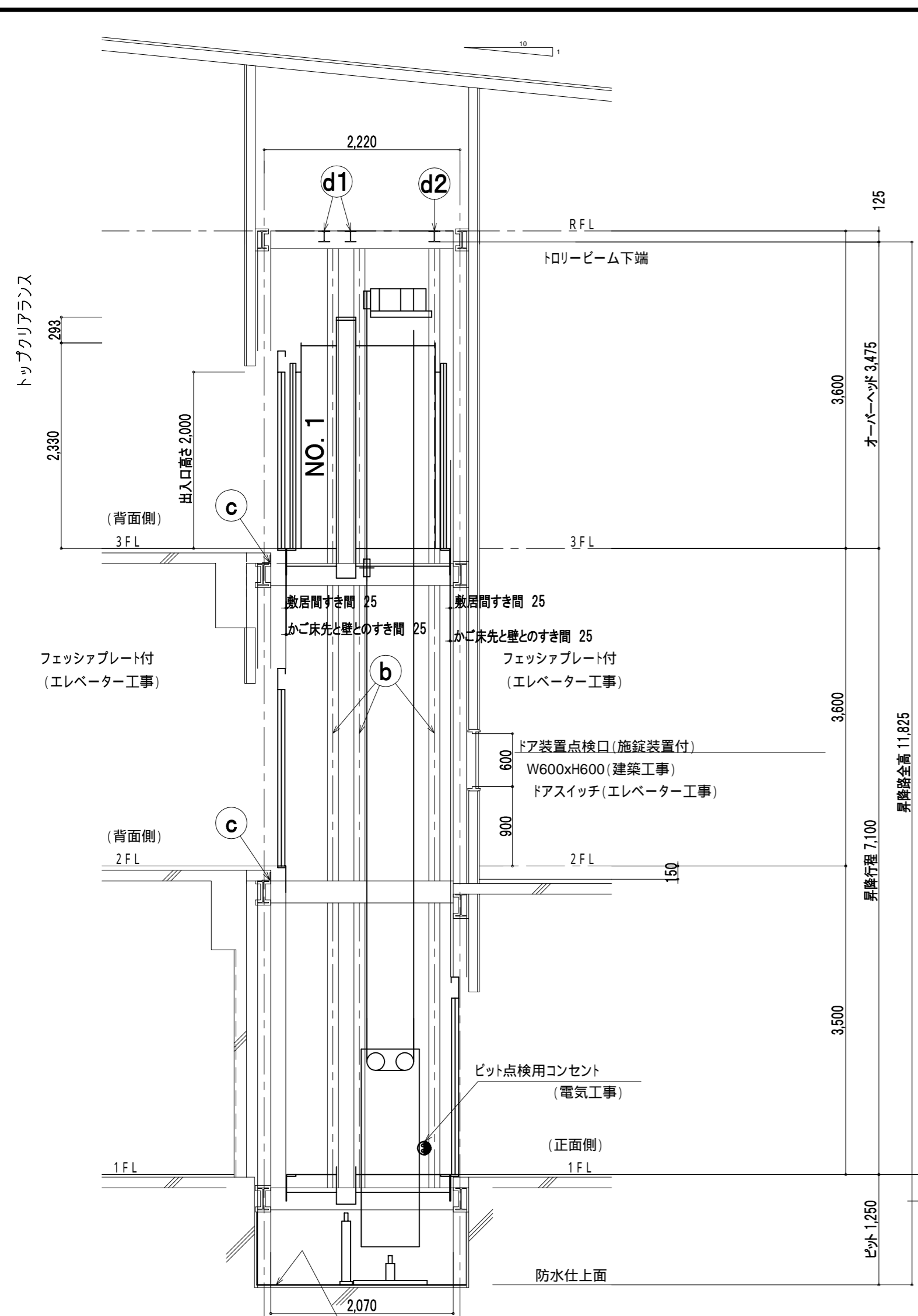
- [1] 建築関係
- 各階乗場出入口廻り(押ボタン用穴を含む)の穴明工事
 - 乗場関係機器取付後の出入口廻りの壁及び床仕上げ工事
 - ビット内防水工事、及びビットが深い場合の埋戻し工事
 - 昇降路天井フック又はトローリービーム設置工事 (安全率5を確保する)
 - 昇降路内機器取付用ファスナー、ビーム、柱等の設置工事
 - 乗場関係機器取付用鋼材の設置工事
 - 昇降路の壁または囲いは間隙無きものとする。
- [2] 電気関係
- 昇降路制御盤までの動力電源・照明電源・接地線の引込工事
 - インターホン用及び監視用配管・配線工事 (昇降路制御盤から外部取付位置まで)
 - ビットの点検用コンセント設置工事
 - 遠隔監視保守システム用配管、電話線工事
 - 昇降路内頂部の煙感知器設置工事 (昇降路外部から保守点検できる構造)
 - 自火報設備の発報信号用配管・配線の引込工事
 - BGMスピーカー用配管・配線の引込工事

遮煙のりばドア設置上の注意事項
・遮煙のりばドアの設置条件として建物の火災信号が必要。
自動火災報知機の火災代表信号をエレベーター制御盤に供給のこと。(無電圧点検 回路電圧 DC24V 接点容量 DC30V 0.3A)
・自動火災報知機の設置義務のない建物では、自動火災報知機に代わるものから火災信号を供給のこと。
例) 煙感知器・防火扉連動制御盤の火災信号など。
遮煙のりばドアを設置する階の火災信号をエレベーター制御盤に供給のこと。 接点仕様は自動火災報知機に準じる。

- [3] 確認事項
- 昇降路壁・床等は、機器取付けや反力等に十分な強度を有する構造で施工すること
 - 昇降路内法の鉛直施工誤差は、30mm以内に施工すること
 - 昇降路壁には、設備配管等を埋込まないこと
 - 受電電圧の変動は、受電端において動力用は±10%以内、照明用は±5%以内とし、動力用の電圧不平衡率は5%以内とすること
 - 電源引込み計画時は、エレベーター側と協議すること
 - 外部からの影響により、昇降路内の温度が40℃を超える場合は換気設備を設けること
 - 台車などで搬入可能な荷重は250kg以下(台車含む)とすること

遮煙のりばドア(Smokeproof)
認定番号 CAS-0572
NO.1 適用階床(正面側):1F
適用階床(背面側):2,3F

エレベーター仕様	
号機名(台数)	NO.1 (1台)
用途(形式)	乗用(SR9-2S60)兼車いす用
積載量(定員)	600kg (9人)
速度	60m/min
制御方式	交流インバータ制御方式
操作方式	乗合全自動方式
停止ヶ所・出入口方向	正面側(1F) 1ヶ所 背面側(2,3F) 2ヶ所 2方向
かご内法(WxDxH)	1050mmX1520mmX2250mm
出入口寸法(WxH)	800mmX2000mm
ドア方式	2枚戸片開き(電動式)
電動機出力	AC-3.7kW
電源	動力 三相3線 200V 60Hz 照明 単相 100V 60Hz
管制運転	地震 (P波+S波感知器(3段検知)リスタート機能付) 火災 有 自家発 無 ビット浸水 有
停電時自動着床装置	有
耐震クラス	A09
かご内連絡装置	同時通話式インターホン
基本仕様	ローラーガイド(かご、おもり) 照明・換気装置自動休止機能 長周期地震対策 2D多光軸(マルチビーム)ドアセフティ いたずら呼びキャンセル機能 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 行先階取消し機能 気配リアナウンス機能 戸開走行保護装置
三方枠	1階(正面) 大枠・全傾斜 鋼板製単色塗装仕上 2,3階(背面) 大枠・全傾斜 鋼板製単色塗装仕上
ドア	1階(正面) 鋼板製単色塗装仕上 2,3階(背面) 鋼板製単色塗装仕上
遮煙	1階(正面) 有 2,3階(背面) 有
敷居	1階(正面) 硬質アルミ製 2,3階(背面) 硬質アルミ製
乗場	ボタン 1階(正面) 抗菌凸文字ボタン(SIAA認証)
インジケータ	2,3階(背面) 抗菌凸文字ボタン(SIAA認証)
ボタン	インジケータ 1階(正面) ドットデジタル 2,3階(背面) ドットデジタル
フェースプレート	1階(正面) 樹脂成形品 2,3階(背面) 樹脂成形品
天井照明	デラックスLED天井(DLX-1L)
換気装置	ファン
リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上
出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上
ドア	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
側板	化粧鋼板
巾木	化粧鋼板
床	ビニタイル(t2)
敷居	硬質アルミ製
操作盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン(SIAA認証) インジケータ ドットデジタル フェースプレート 抗菌樹脂成形品(SIAA認証・一部鋼板製)
特記事項	・デラックス照明 ・磁石式保護マット(3面)・H1800) ・床マット ・BGMスピーカー ・戸開延長ボタン ・乗場ボタン点字プレート ・かご操作盤点字プレート ・オートアナウンス(音声合成装置)
車いす仕様	・専用乗場ボタン ・専用操作盤 ・ミラー(リアビューミラー) ・手すり(丸パイプ) ・戸開放時間の延長(車いす専用ボタンを押した場合のみ)



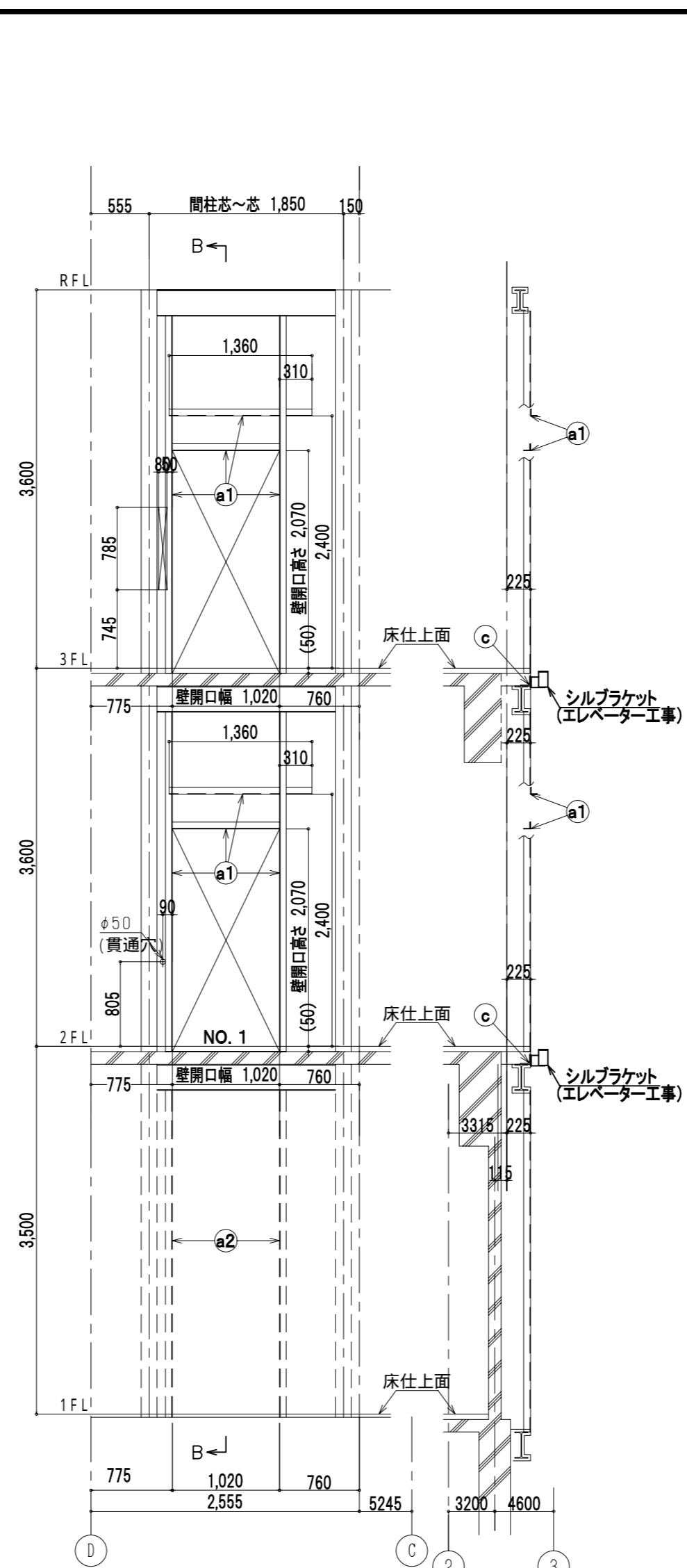
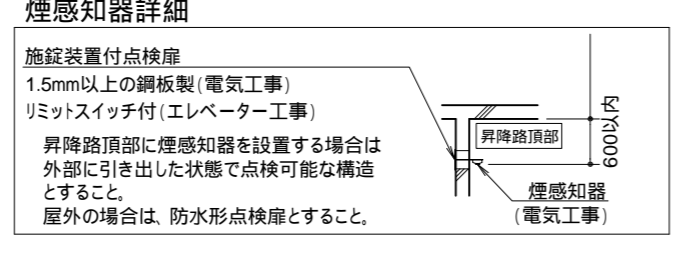
NO. 1
昇降路縦断面図

点検用タラップはピット内に保管
(A2 1/50)

NO. 1

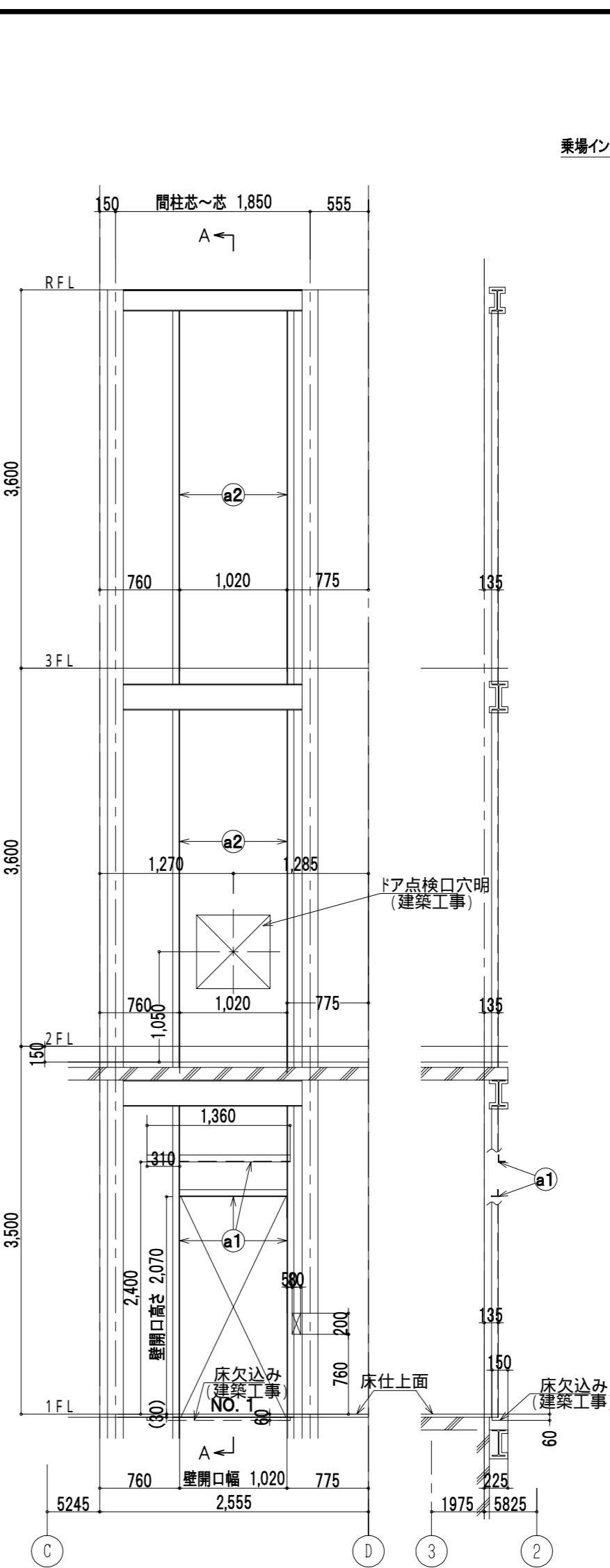
ピット反力	65.9 kN
ピット衝撃荷重	かご側 68.2 kN C/W側 55.2 kN

エレベーター廻り鉄骨部材 (耐火被覆ナシ)	
a1) 三方枠取付材	L-65x65x6
a2) フェッシャプレート取付材	L-65x65x6
b) レール支持柱	H-125x125x6.5x9
c) 敷居取付材	L-100x100x10
d1) トローリーム (荷重 19.6 kN)	H-125x125x6.5x9
d2) トローリーム (荷重 9.8 kN)	H-125x125x6.5x9



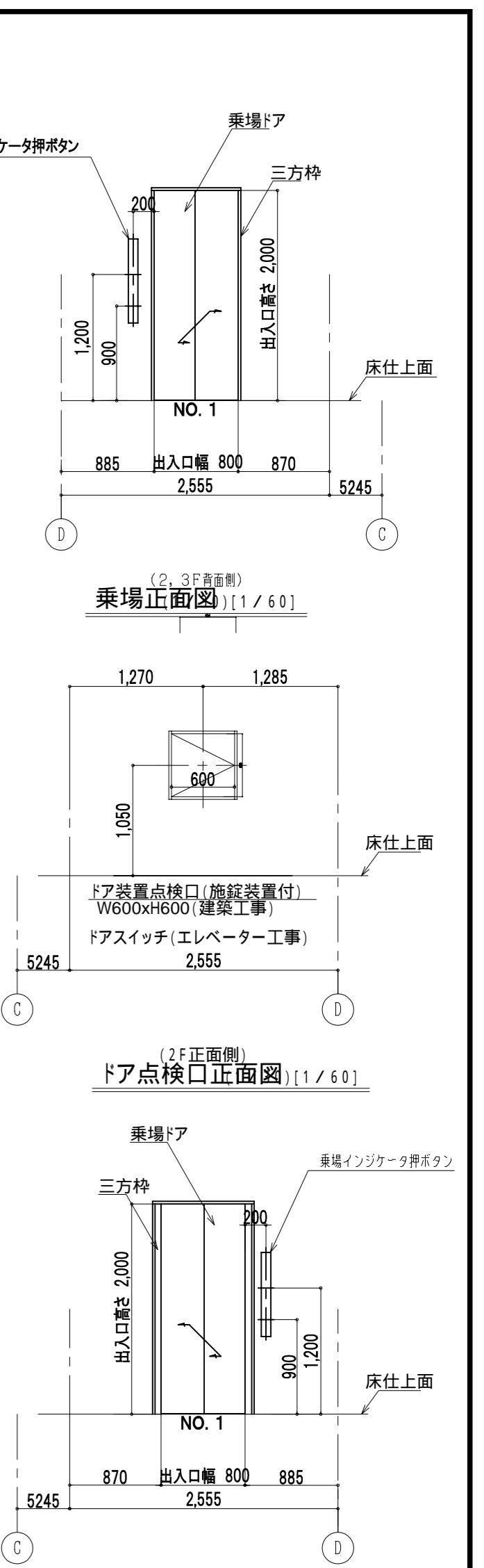
(2F背面側)
出入口壁穴明図

(建築工事)
(A2 1/50)



(1F正面側)
出入口壁穴明図

(建築工事)
(A2 1/50)



(1F正面側)
乗場正面図

(A2 1/50)

<p>T1:小便器手摺</p>	<p>T2:L字手摺</p>	<p>T3:跳ね上げ手摺</p>	<p>M1, M2, M3 : 面台</p> <p>M1 (小便器面台) :メラミン化粧板 ポストフォーム加工(集成材) 面台幅・高さ:W150 H1420</p> <p>M2 (SK面台) :ステンレスHL t=1.5 面台幅・高さ:W150 H1100</p> <p>M3 (身障者トイレ大便器) :メラミン化粧板 ポストフォーム加工(集成材) 面台幅・高さ:W150 H1150</p> <p>(L=平面図による)</p>	<p>U1 : ベビーシート</p> <p>TOTO YKA25 (オープン) 同等以上</p>
------------------------	-----------------------	-------------------------	---	---

DT-01 : ガラス手摺

DT-02 : 床見切り

DT-03 : ササラカバー

DT-04 : 壁付手摺

DT-05 : EV出隅部

DT-06 : EV出隅部 (縦穴区画)

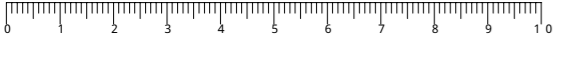
DT-07 : 玄関スロープ

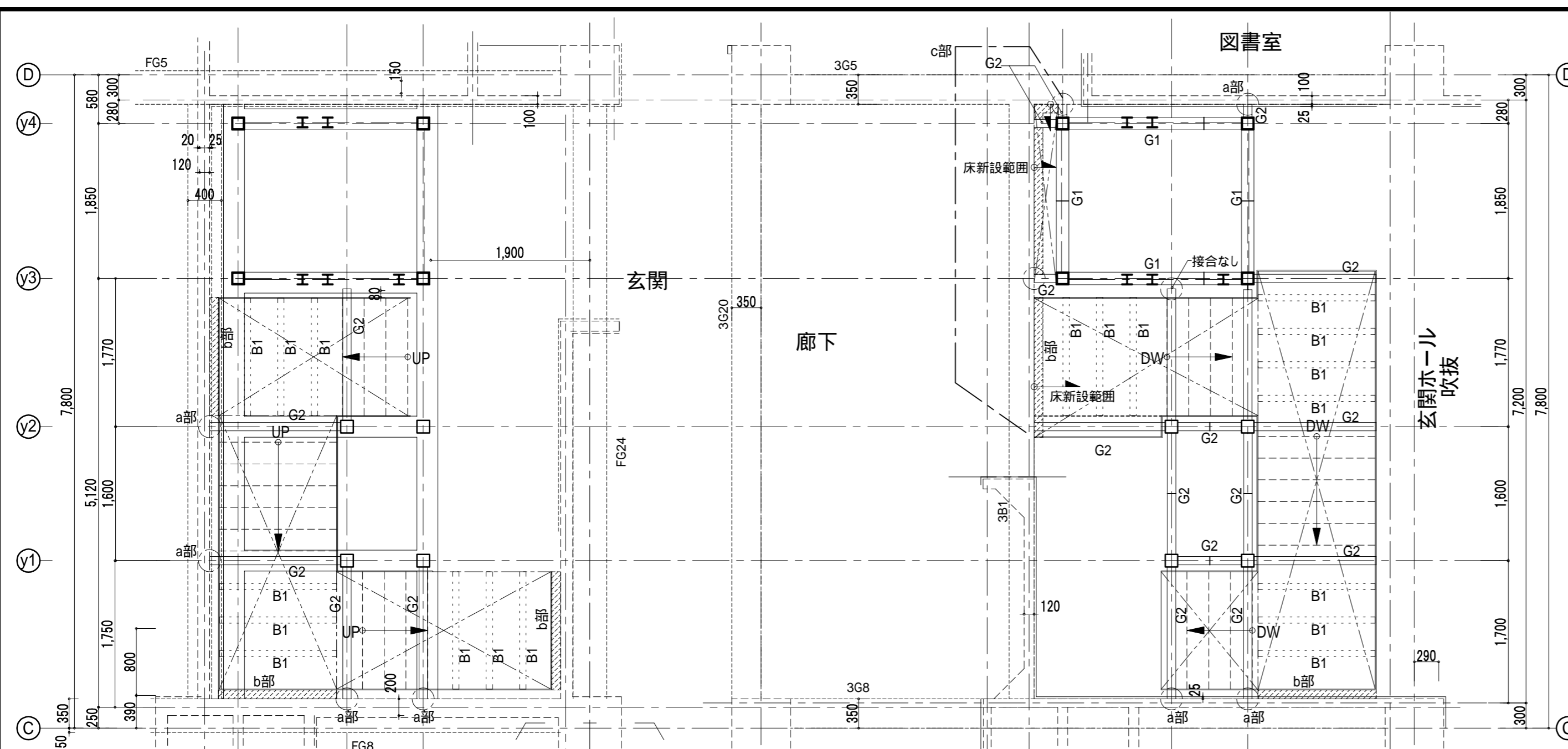
2階身障者用便所 LSD断面詳細図

鉄骨階段 部分詳細図

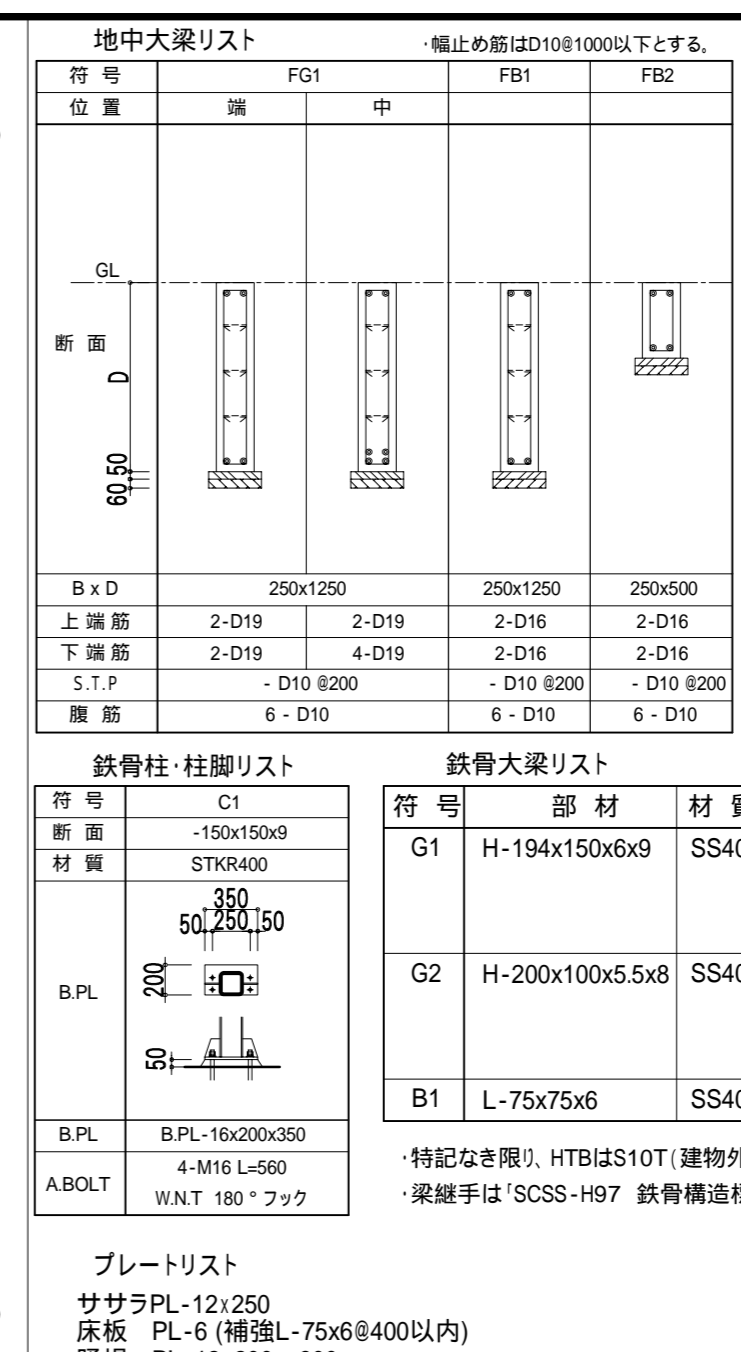
DT-08 : トイレ段差解消

DT-09 : 巾木立上

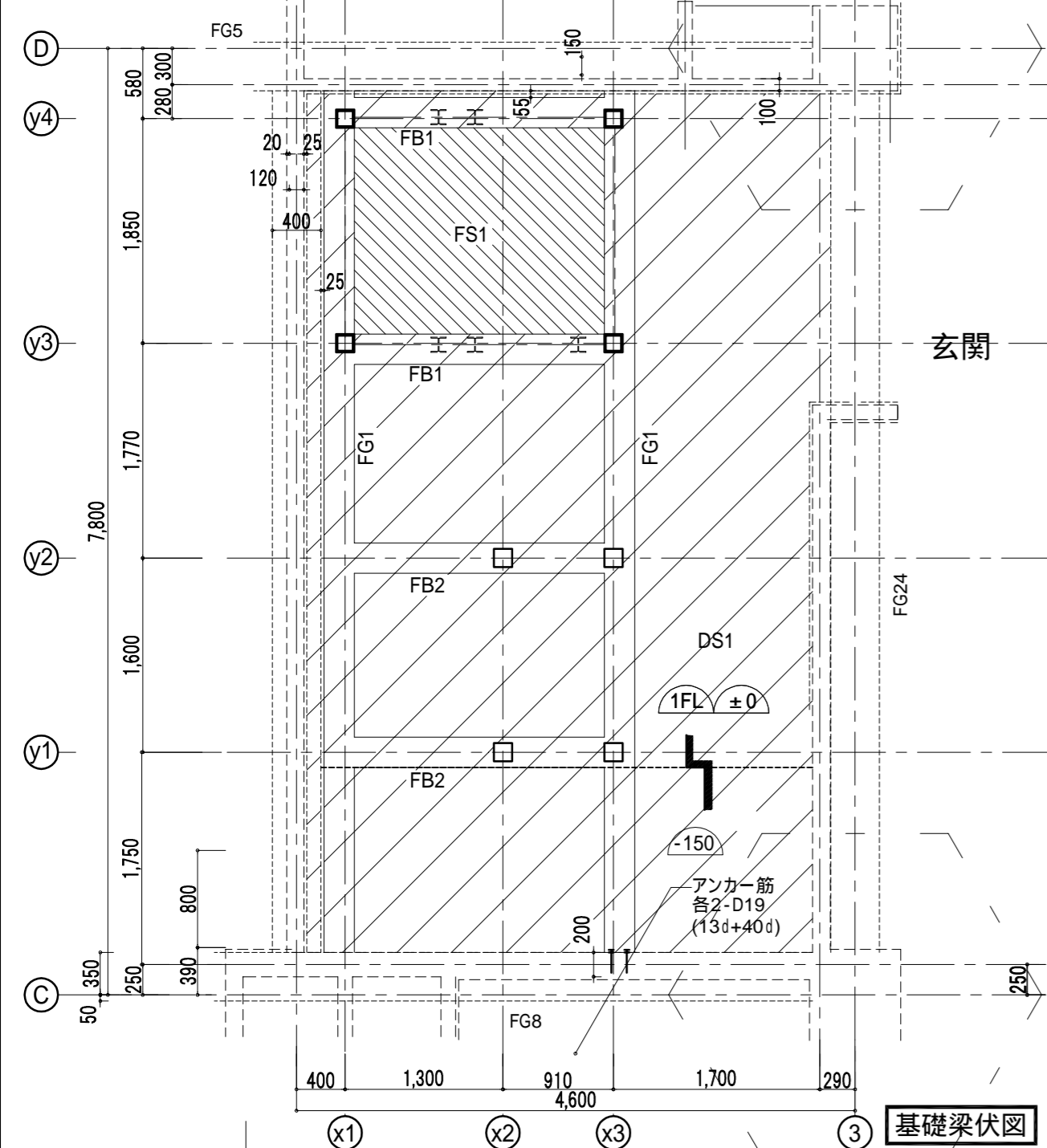




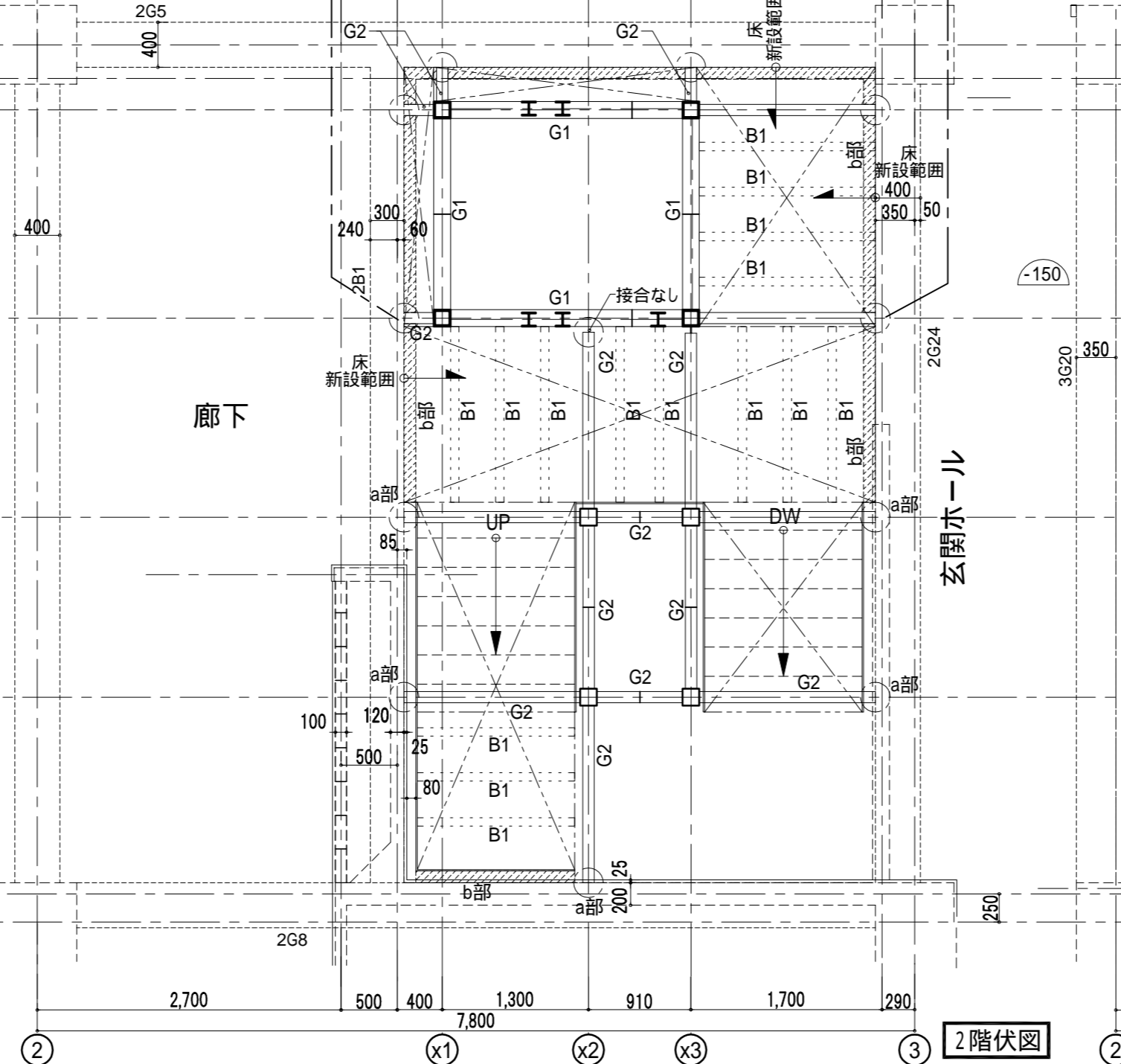
1階伏図



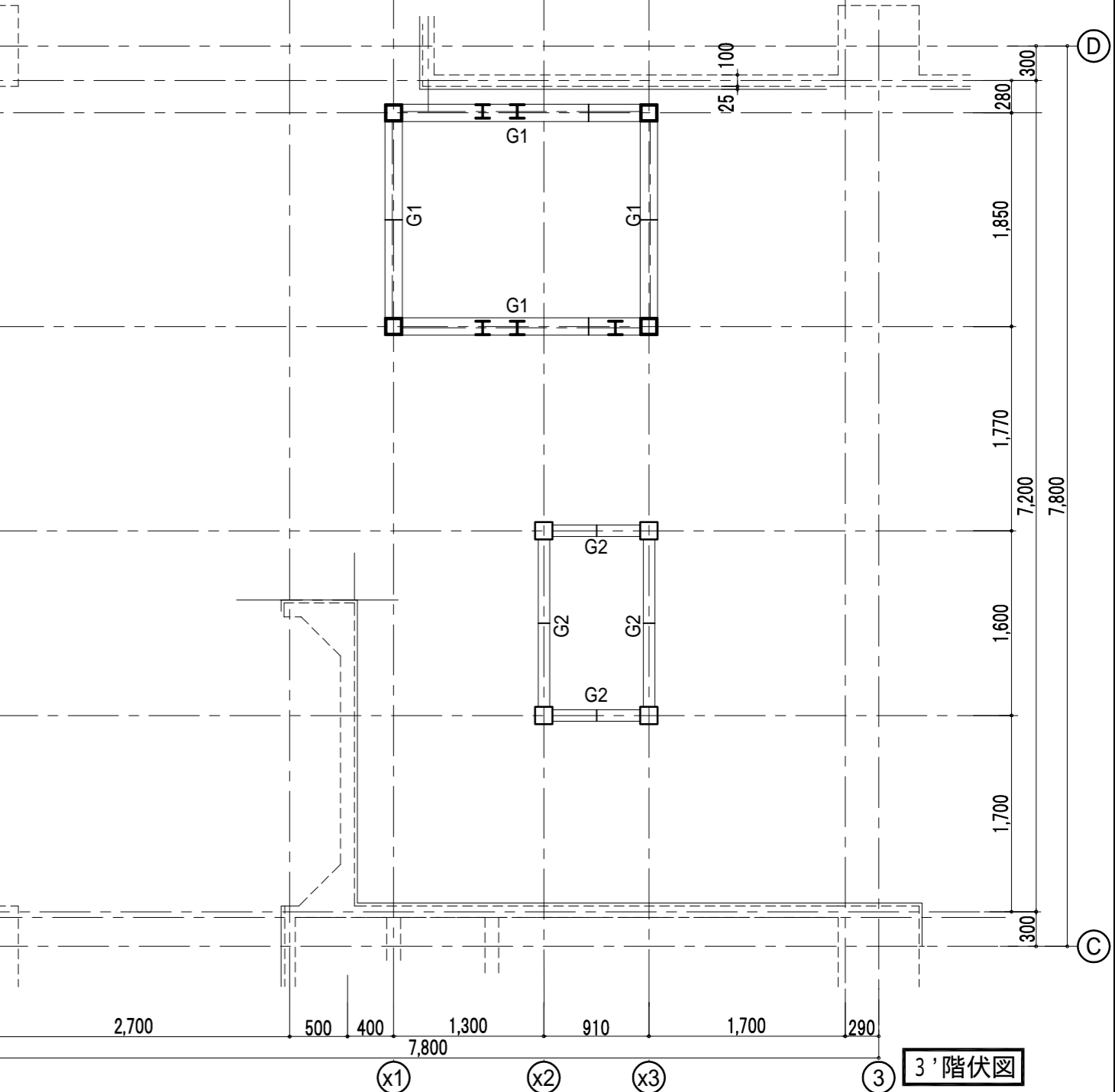
3階伏図



基礎梁伏図



2階伏図



3'階伏図

地中大梁リスト

幅止め筋はD10@1000以下とする。

符号	位置	端	中
FG1			
FB1			
FB2			

断面

B x D	250x1250	250x1250	250x500
上端筋	2-D19	2-D19	2-D16
下端筋	2-D19	4-D19	2-D16
S.T.P	- D10 @200	- D10 @200	- D10 @200
腹筋	6 - D10	6 - D10	6 - D10

スラブリスト

符号	版厚	位置	短辺方向	長辺方向
FS1	250	上	D13@200	D13@200
		下	D13@200	D13@200
DS1	150	-	D10@250	D10@250

DS1は土間コンとし、差し筋D10@250(定着L2)とする。
(既存土間筋とフレア溶接10d以上)

使用材料
下記使用材料一覧同等以上のものを使用のこと

鉄筋	D10 - D19	SD295A	JIS G 3112
コンクリート	躯体	Fc=21 (S=15cm)	JIS A 5308
	土間	Fc=18 (S=15cm)	JIS A 5308
	捨てコン	Fc=18 (S=15cm)	JIS A 5308
鋼材	鋼管	STKR400	JIS G 3466
	H型鋼	SS400	JIS G 3101, JIS G 3136
	軽量形鋼	SSC400	JIS G 3350
	鋼板	SS400	JIS G 3138
	溶融亜鉛めっき高力ボルト	F8T	国産指番号302号MBLT-9026
	普通ボルト	強度区分4.6	JIS B 1051
	アンカボルト	SNR400B	JIS G 3138

鉄骨柱・柱脚リスト

符号	部材	材質
C1	-150x150x9	SS400
B.PL	B.PL-16x200x350	SS400
ABOLT	W.NT 180°フック	SS400

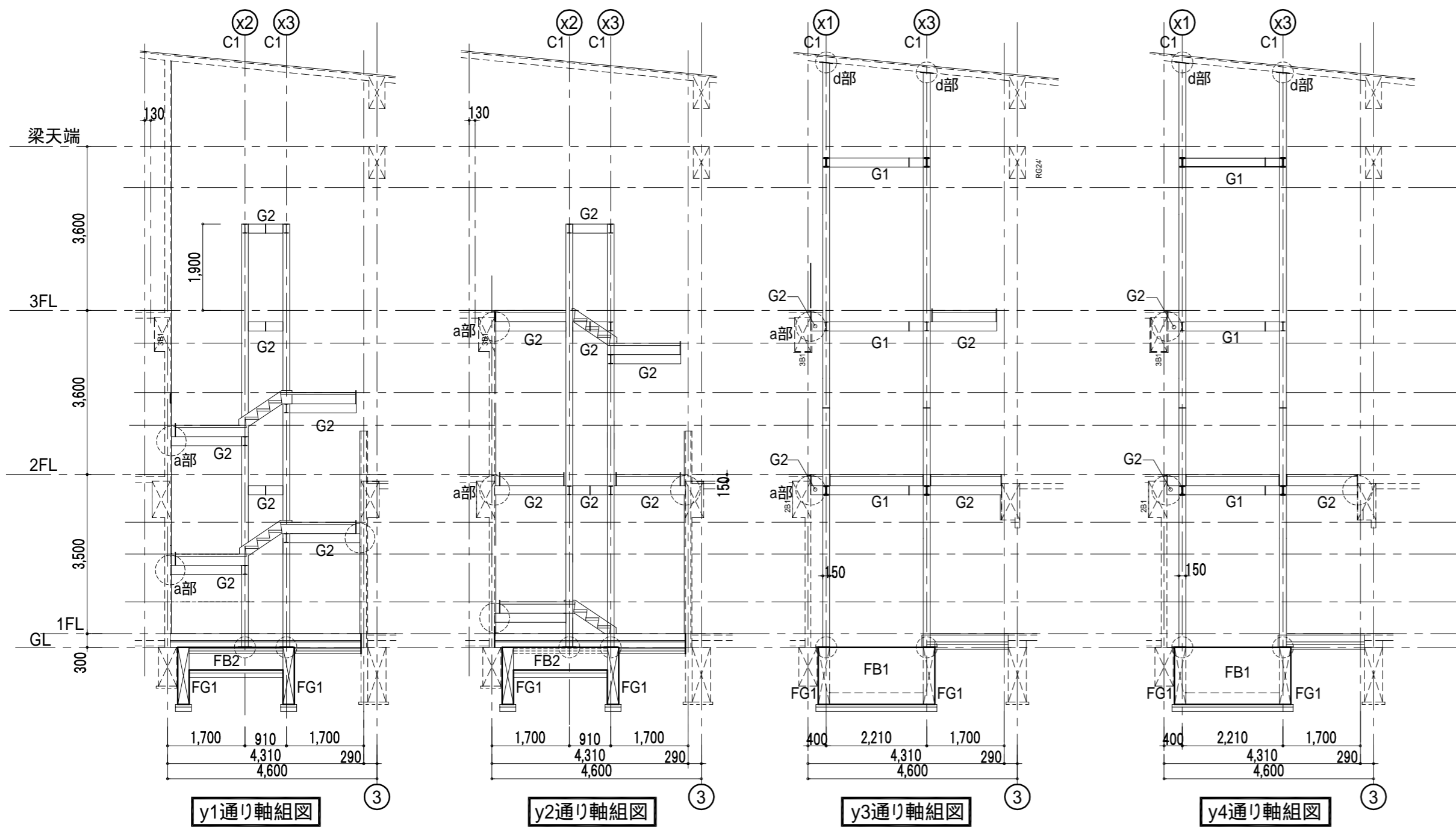
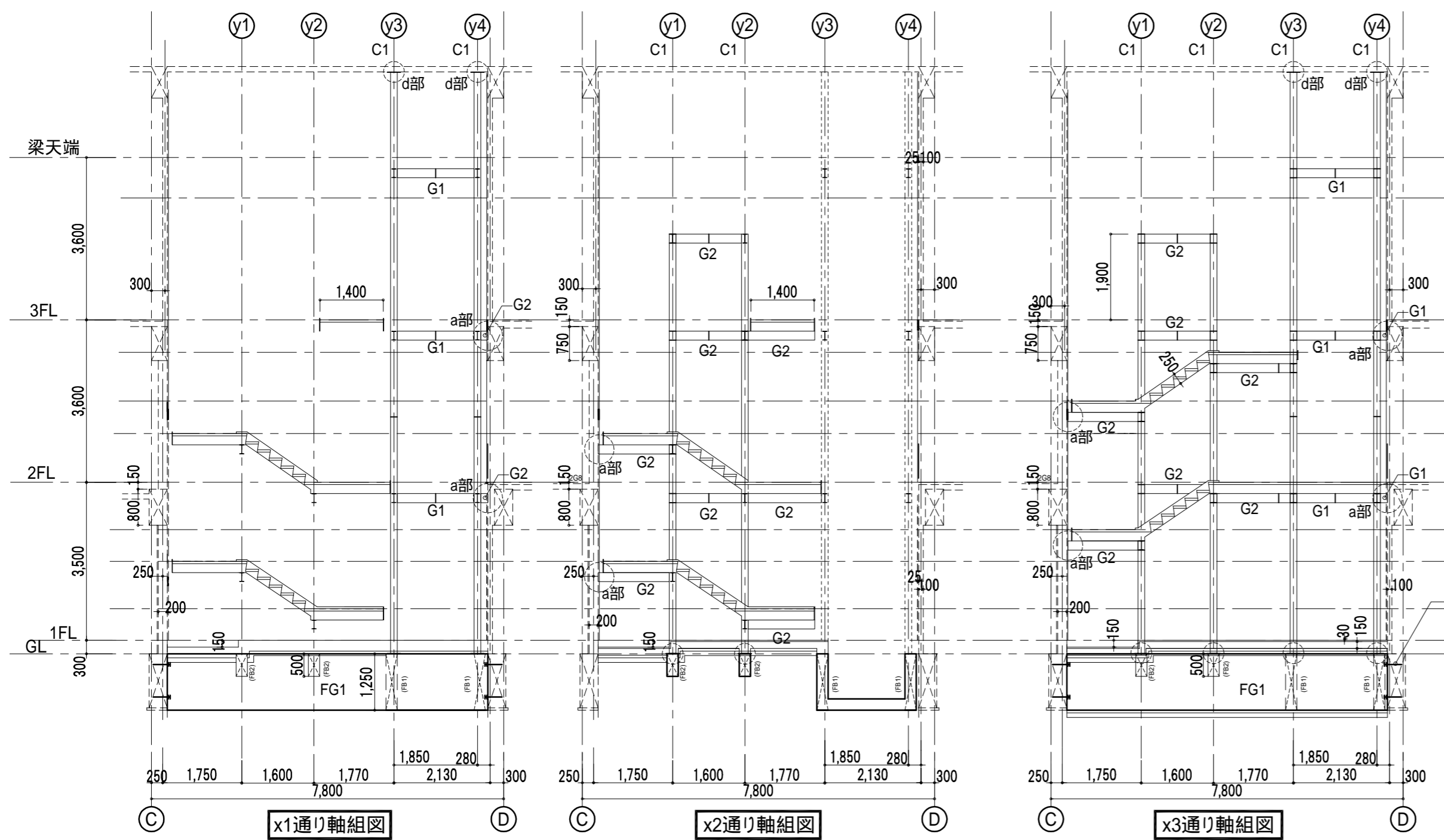
鉄骨大梁リスト

符号	部材	材質	継手部
G1	H-194x150x6x9	SS400	FLG 外: PL-9x290x90 内: 2PL-9x60x90 HTB 4-M16 WEB 2PL-6x140x230 HTB 2-M16
G2	H-200x100x5.5x8	SS400	FLG 外: PL-16x290x90 内: - HTB 6-M16 WEB 2PL-6x140x170 HTB 2-M16 ピン G.PL-12 HTB 4-M20
B1	L-75x75x6	SS400	

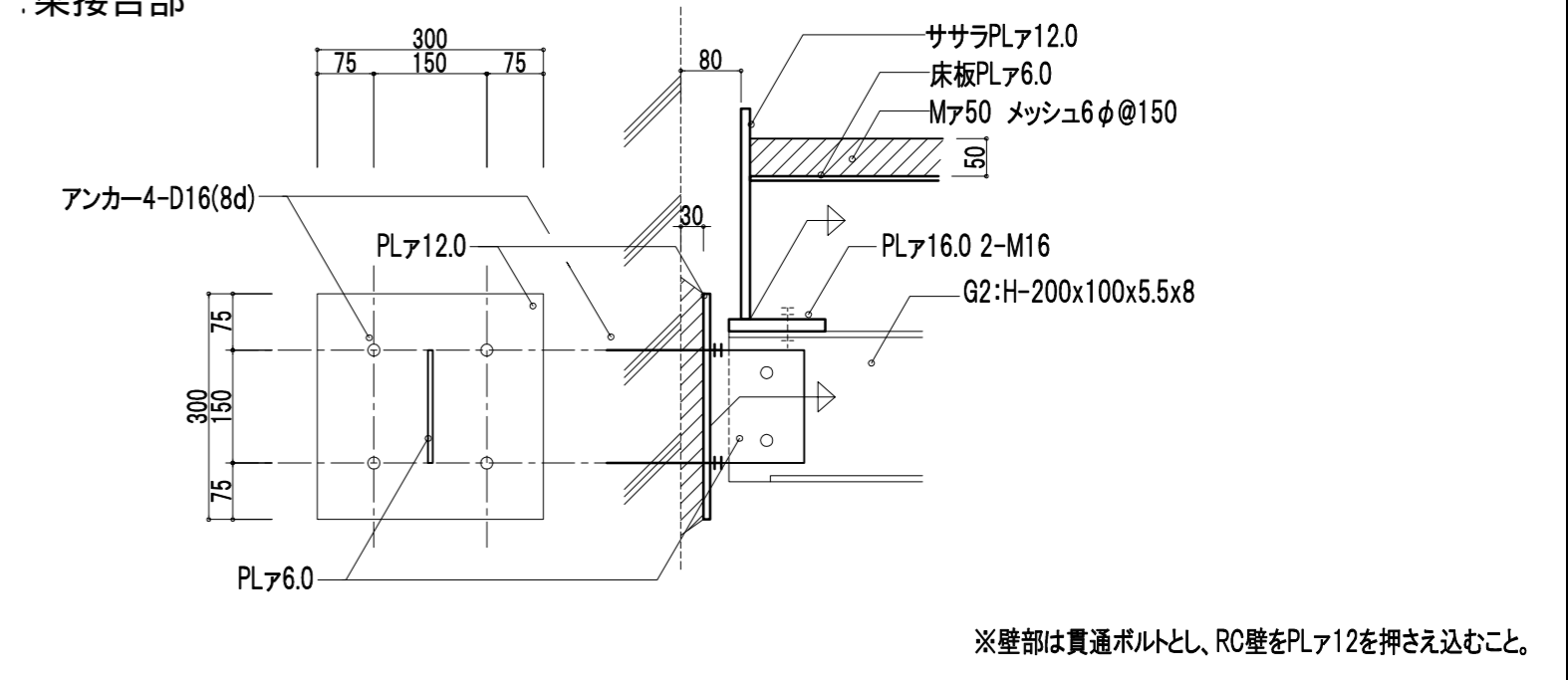
・特記なき限り、HTBはS10T(建物外部は溶融亜鉛メッキ高力ボルトF8T)とする。
・梁継手は「SCSS-H97 鉄骨構造標準接合部 H形鋼編」による

プレートリスト

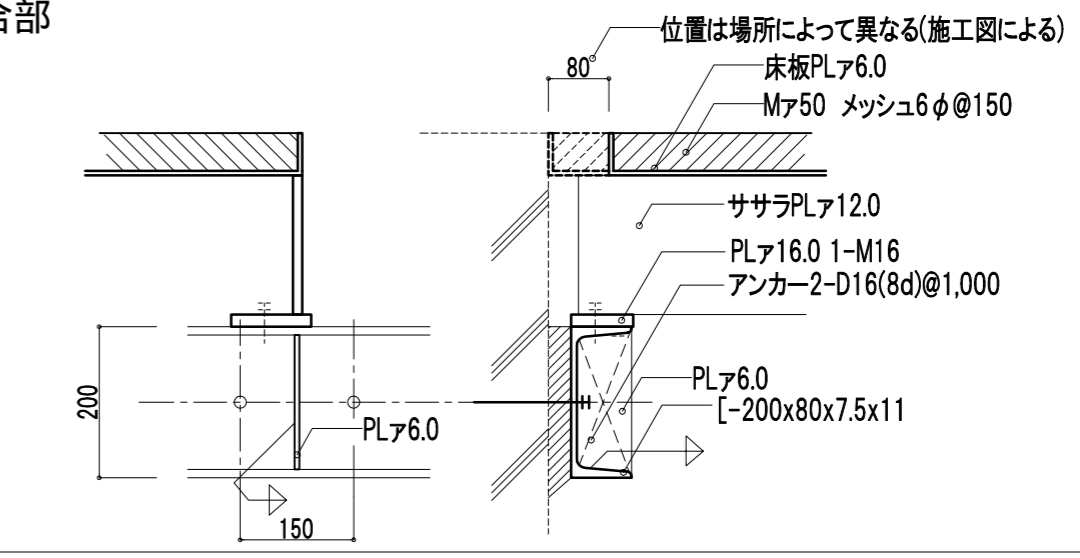
ササラPL-12x250
床板 PL-6(補強L-75x6@400以内)
踊場 PL-12x200~300



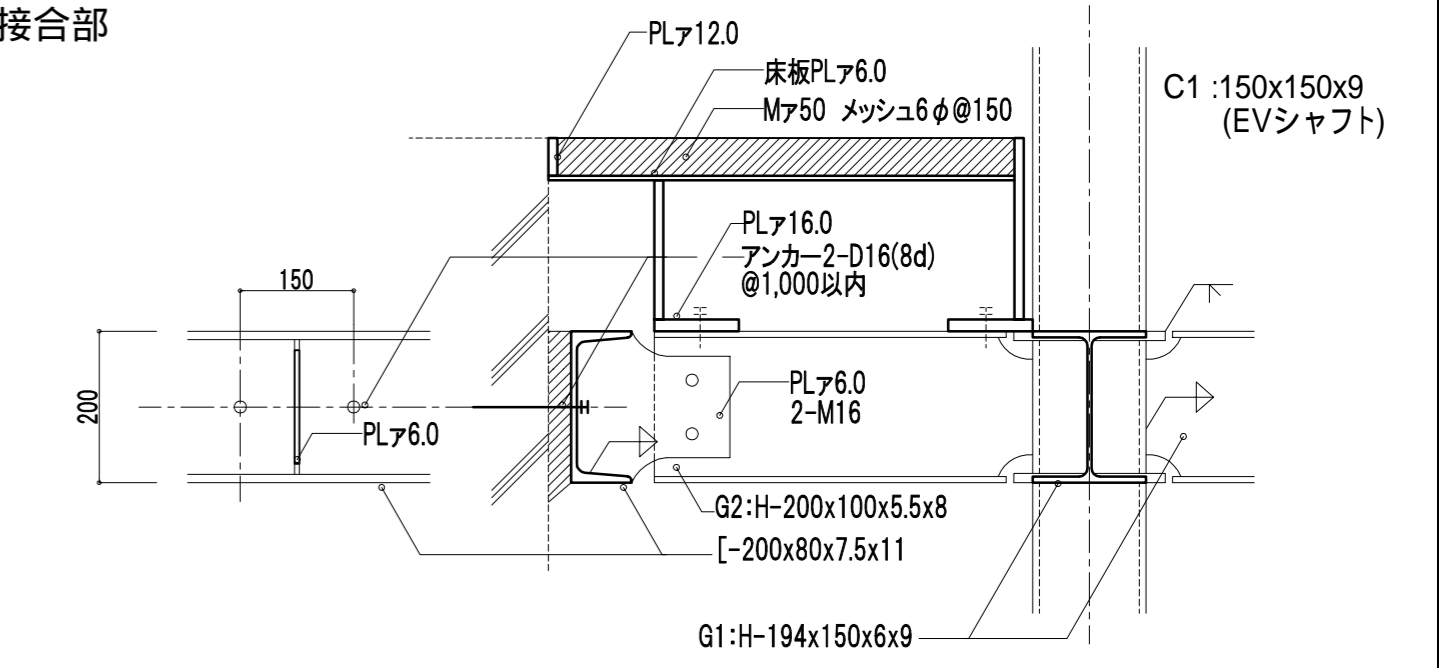
a部 梁接合部



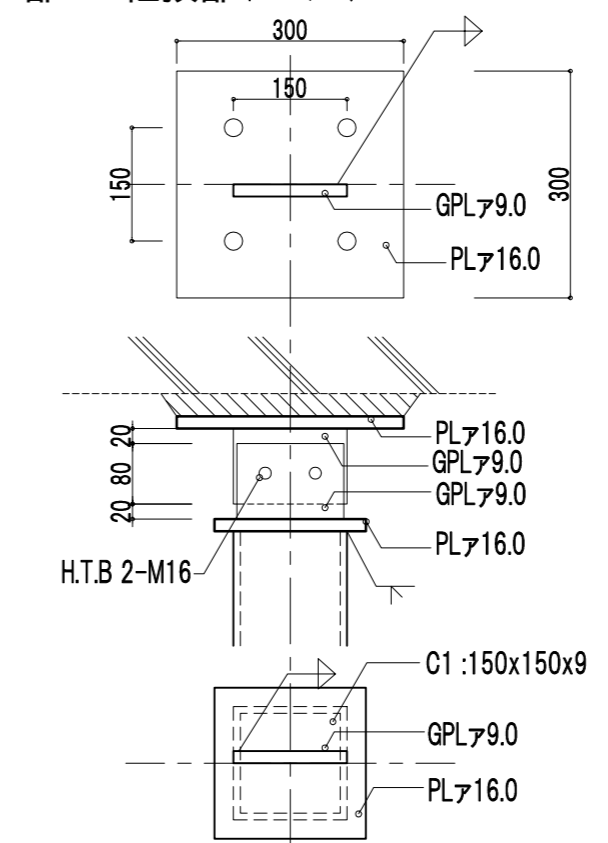
b部 床接合部



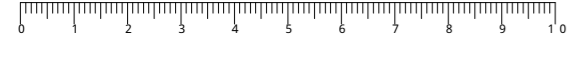
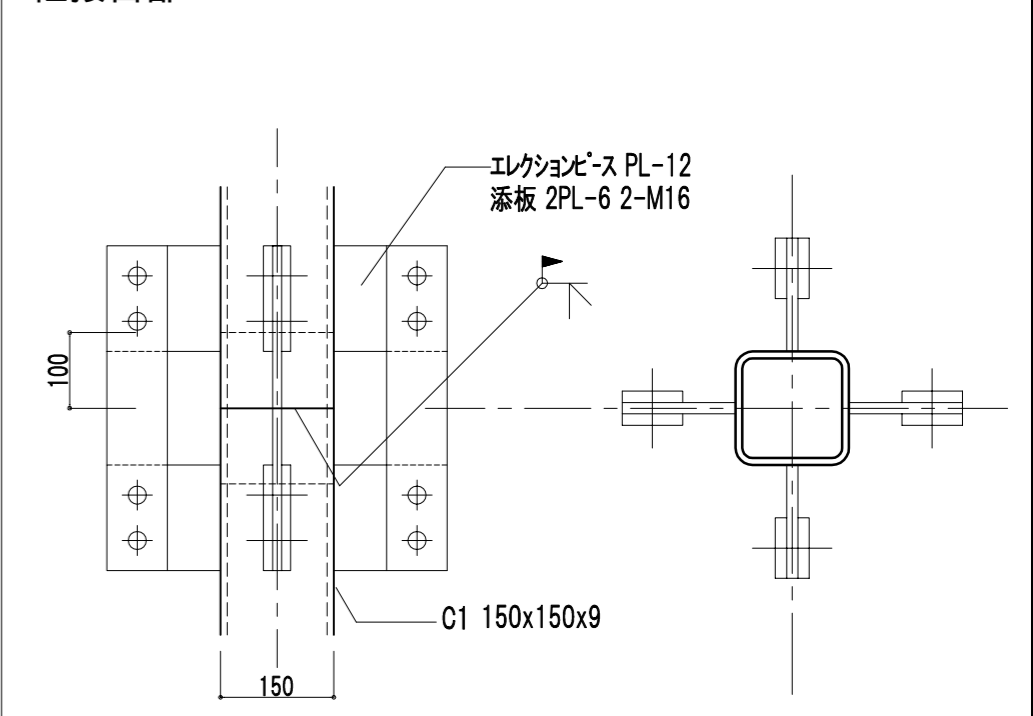
c部 梁・床接合部

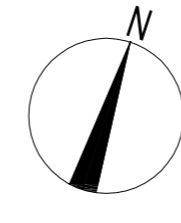
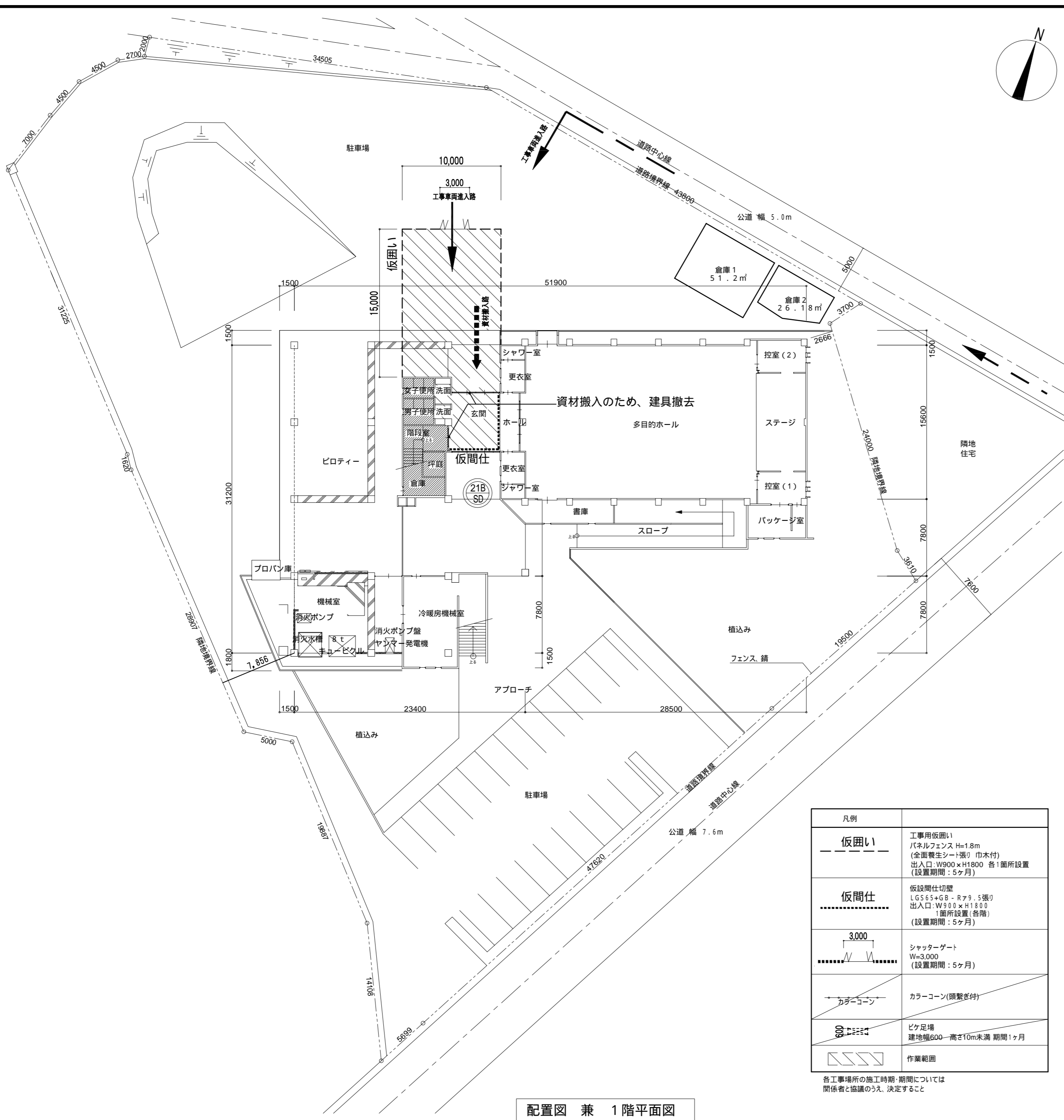


d部 柱頂部 (EVシャフト)

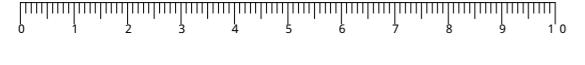
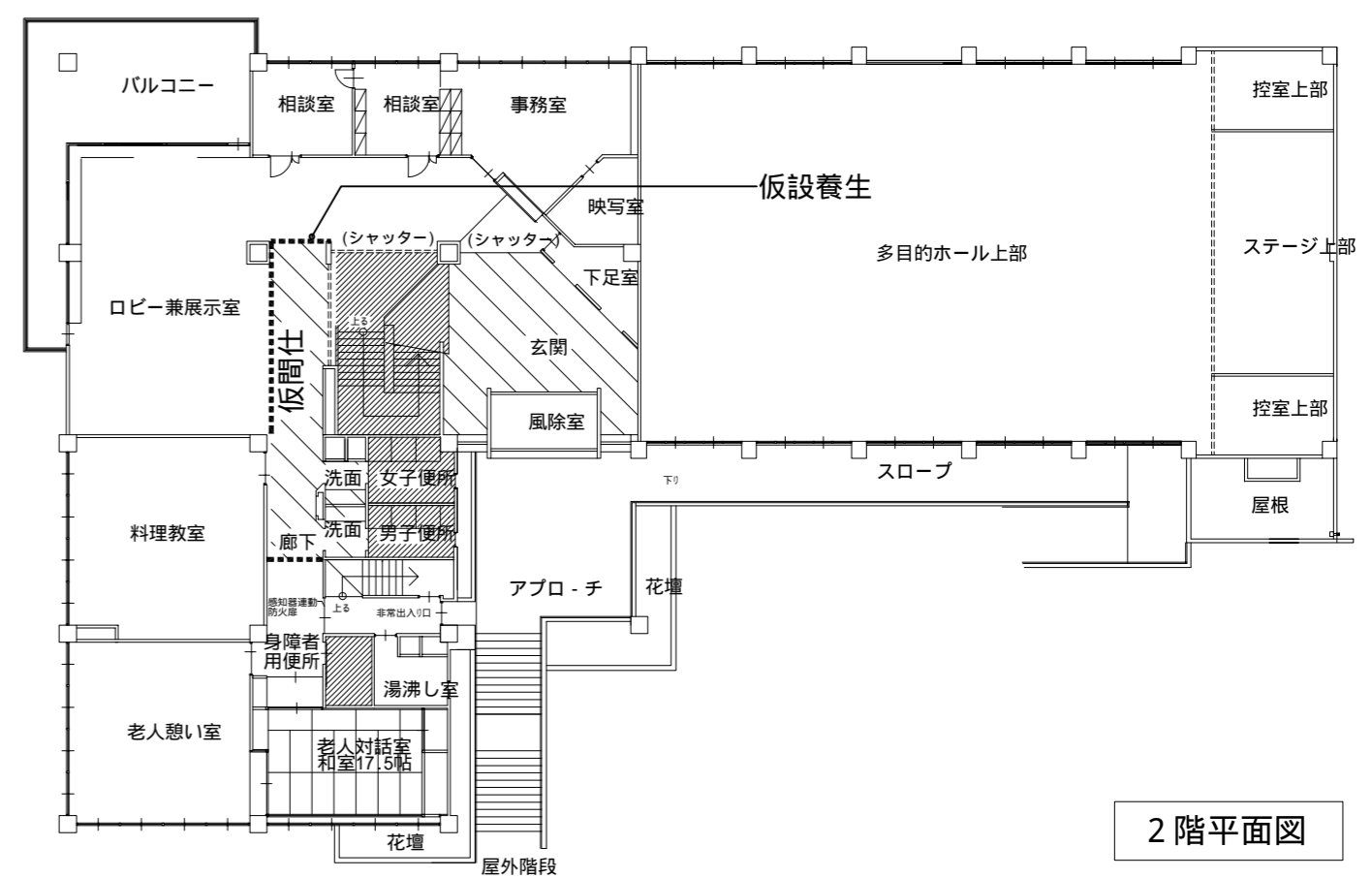
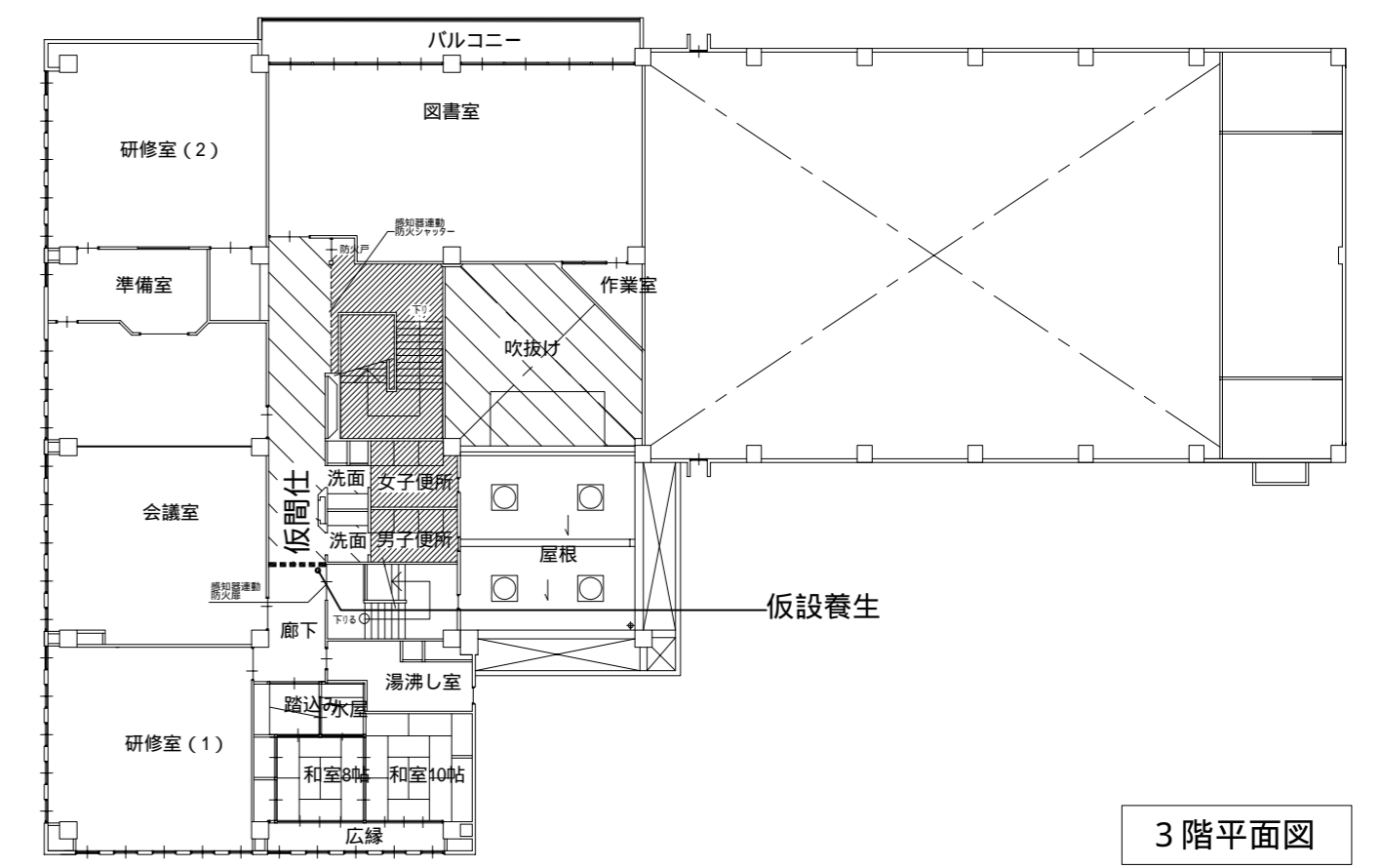


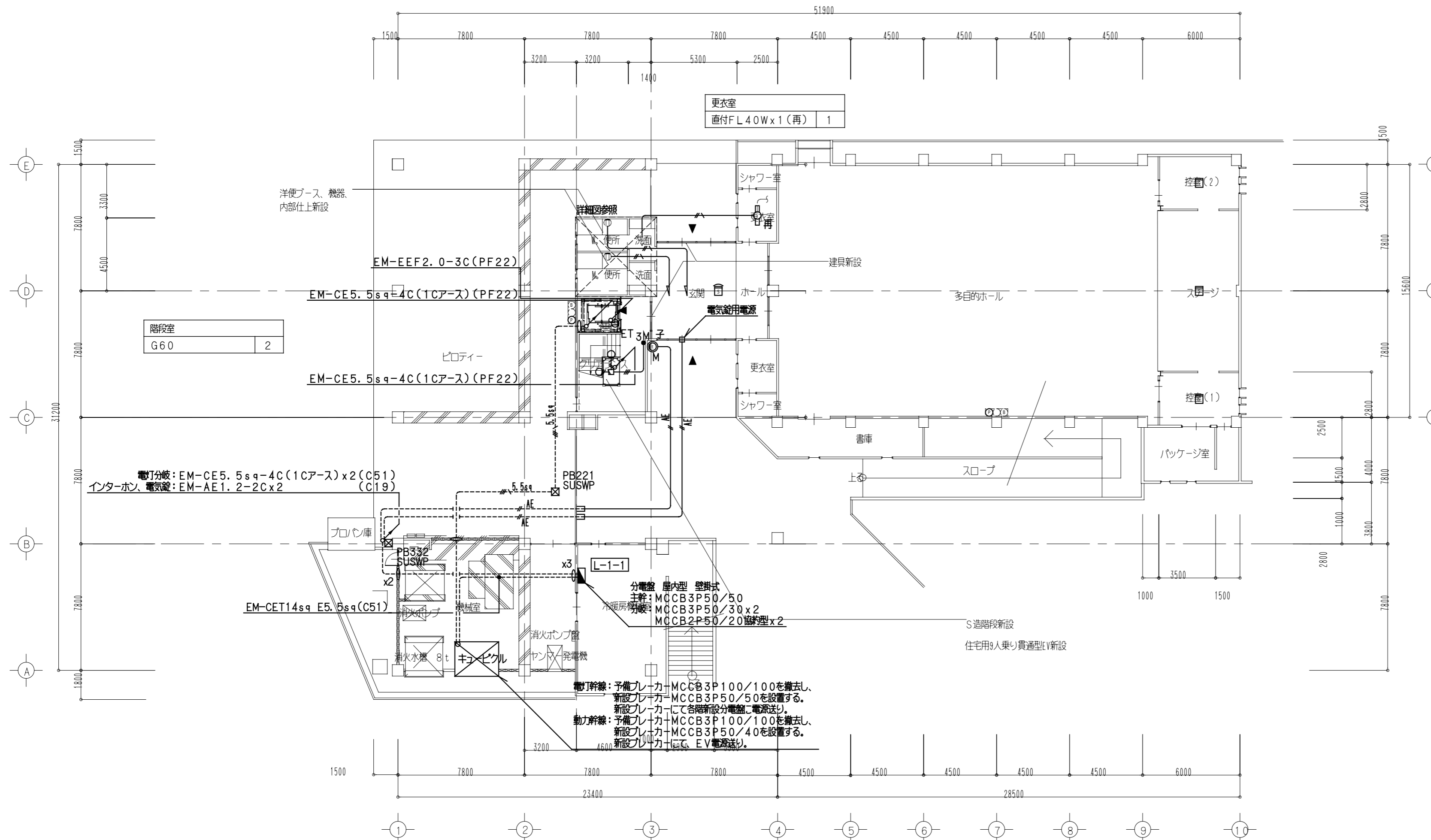
柱接合部





注意事項	
1) 本工事の施工に先立ち仮設計画書を作成の上提出し、監理者、市監督員及び施設側と安全計画、防災計画について十分調整すること。また、仮設計画書に基づき仮囲い、標識、看板等の施設を設置の上、周囲に対して安全管理をおこなうこと。尚、これらの保守点検を日常怠りなくおこなうこと。	6) 特定建設作業などの作業に伴い発生する騒音・振動は、低騒音低振動工法を採用すること。また騒音規制・規則に基づき関係官庁への届出・協議をおこなった上で工事を着手すること。なおこれらの作業については、監理者、文化交流センター職員、と協議をおこない、作業日時を調整をおこなうこと。
2) 工事関係車両の出入口における車両の通行は、必ず工事関係者が誘導をおこない、利用者及び通行人に危険の及ばぬ様十分に安全管理をおこなうこと。尚、工事車両の通行は保育園児の通園時間に配慮し施設側と協議をおこなった上で通行時間帯を調整すること。	7) 本工事の施工に関わる諸官庁への届・書類の提出等は工事進行に支障のないよう適切な時期に受注者において手続きをおこなう。また必要に応じ書類を監督員に提出すること。
3) 本工事の施工について、既設建物に損傷を与えた場合は、受注者において原形復旧すること。	8) 工事期間中は文化交流センターの行事日程との調整をおこない、工事日程、作業方法の調整をおこなうこと。
4) 解体発生材は全て場外処分とし、関係法令に従い適切に処分すること。	9) 工事範囲はもとより、範囲外においても車両出入口、周辺道路の清掃、保全をおこない、周辺住民や通行人への配慮にも注意すること。
5) 資材搬入等に伴う進入経路については、適切な養生をおこない、必要に応じて施設利用の支障にならないよう速やかに補修すること。	





A	階段通路誘導灯	B	富士型
A321	FHF32WX1	B401	LDL40WX1
非常時FHF32形1灯点灯(2110lm)一般型(30分間)階数表示		ランプ素材:ガラス管 反射板:銅板(高反射白色粉末塗装) 光源寿命(40000時間)	
C	富士型	D	ブラケット
C201	LDL20WX1	D401	LDL40WX1
ランプ素材:ガラス管 反射板:銅板(高反射白色粉末塗装) 光源寿命40000時間		壁面(横向き)取付専用 枠:亜鉛鋼板(ホワイト) カバー:クリアアクリル 光源寿命40000時間	
E	ブラケット	F	ブラケット
E201	LDL20WX1	F60	LED6.0W
防湿・防雨型 壁面(縦向き・横向き)取付専用 カバー:クリアアクリル(乳白) 光源寿命40000時間		集積型LED<ワゴン>(ひと粒)タイプ 反射板:アルミダイカスト(高反射ホワイト仕上) カバー:ポリカーボネート(透明つや消し) 枠:アルミダイカスト(高反射ホワイト仕上) 埋込穴φ125. 埋込高94	
G	ブラケット	a	非常用照明器具
G60	LED6.0W	a13	ハロゲン球13Wx1
電球色		K1-ISS4-JE13	

凡例

■	分電盤
□	端子盤
●3	埋込スイッチ 1P15Ax1
●4	埋込スイッチ 1P15Ax1 PL付
●RA	切替スイッチ
⊖ET	埋込コンセント 2P15Ax1 ET付
▽a	人感センサー 親機
▽b	人感センサー 子機
⊙親	インターホン モニター付親機
⊙子	インターホン カメラ付玄関子機
⊠	電気錠操作盤 1回路用
⊙	EVインターホン(EV工事)
○NC	表示灯

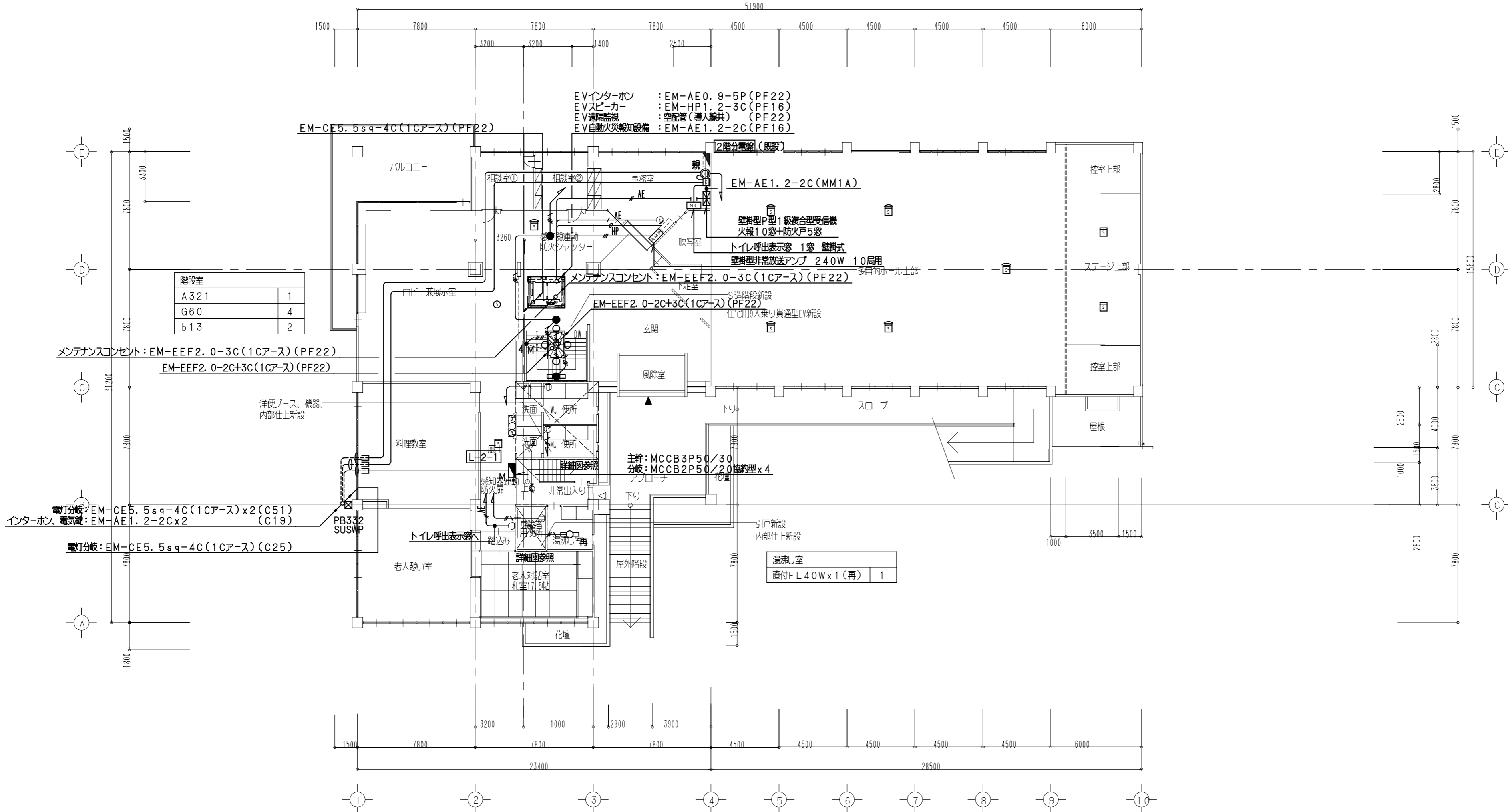
□	復旧ボタン
⊠	トイレ呼出押ボタン
⊠H	トイレ呼出押ボタン 紐付
⊠	煙感知器 2種 埋込
⊠	煙感知器 2種 露出
⊠	煙感知器 3種 露出
⊠	発信機 P型1級
⊠PB332 SUSWP	プルボックス SUS製 防水 332=300x300x200
○	穴あけ貫通補修 φ50
□	アウトレットボックス
⊠	天井付換気扇(機械設備工事)

特記なき限り配線は下記とする。
(新設)
—— 天井こころし配線
----- 露出配管配線

EM-E-EFケーブルにおいて、分電盤から第一器具及び、コンセント配線は2.0mmとする。
特記なき限り、配管配線の際は、下記の保護管にて保護する事。

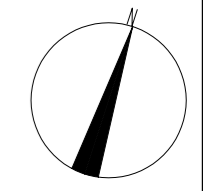
——	EM-E-EF1.6-2C	(PF16)
——	EM-E-EF1.6-3C(1Cアース)	(PF22)
——	EM-E-EF1.6-2Cx2(1Cアース)	(PF22)
——	EM-E-EF1.6-3C	(PF22)
——	EM-E-EF1.6-2Cx2	(PF22)
——	EM-E-EF1.6-2C+3C	(PF22)

——	EM-E-EF1.6-3Cx2	(PF16+PF22)
——	EM-CE5.5sq-4C(1Cアース)	(PF22)
——	EM-AE1.2-2C	(PF16)
——	EM-HP1.2-3C	(PF16)
——	空配管(導入線共)	(PF22)
(撤去)		
——	IV2.0x2	(既設管内)
——	IV2.0x3	(既設管内)
——	IV2.0x4	(既設管内)
——	IV2.0x5	(既設管内)
——	IV2.0x6	(既設管内)



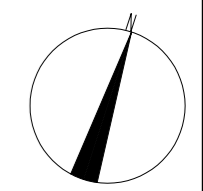
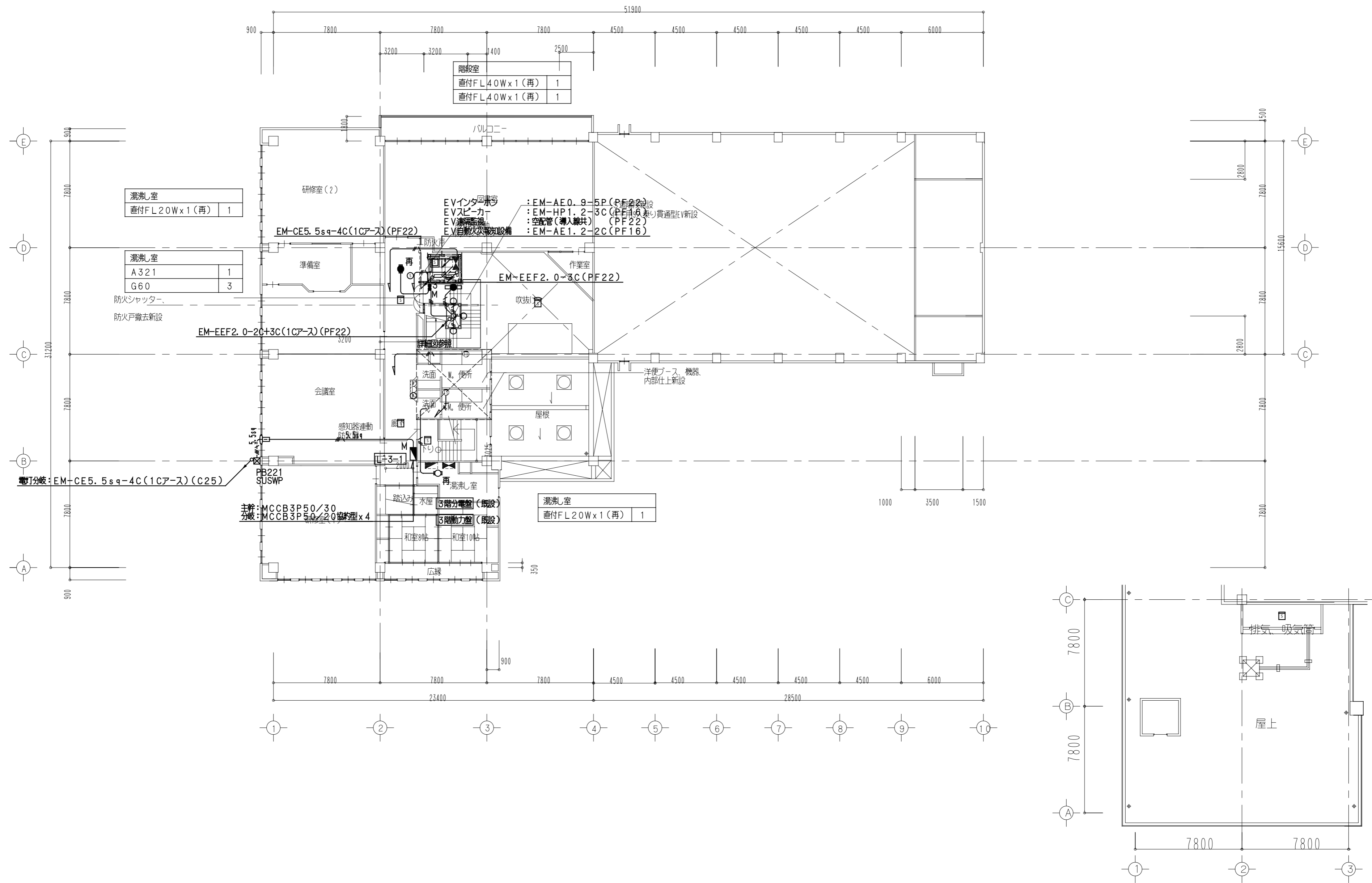
階段室	
A321	1
G60	4
b13	2

湯沸し室	
直付FL40Wx1(再)	1



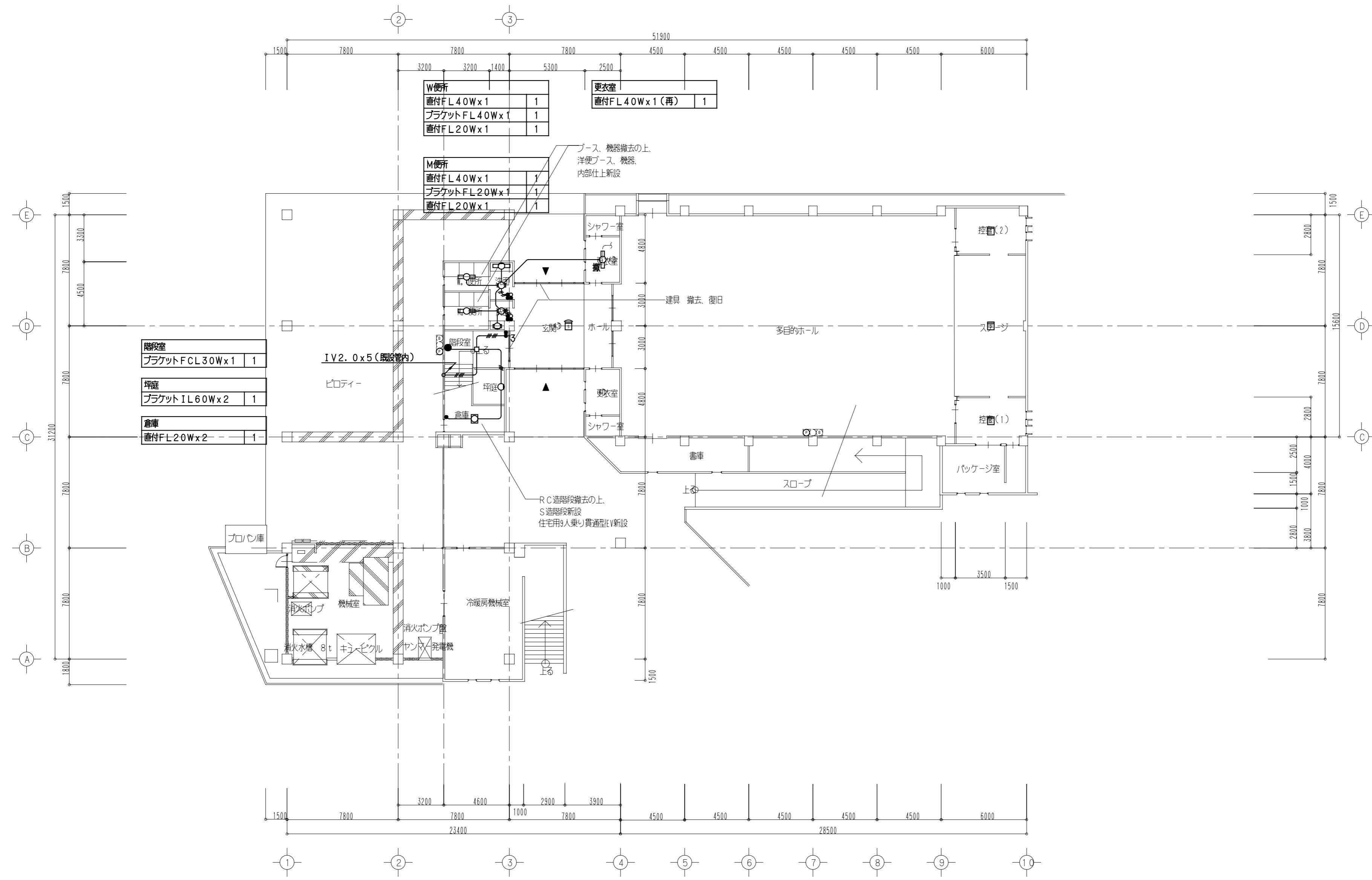
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者	担当者	図面種別 E	縮尺 1/200(A2)	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理建築士
				図面番号 03	図面名称 電気設備 2階平面図(改修図)	図面番号 03	縮尺 1/200(A2)		山本博博 1級建築士 195582号



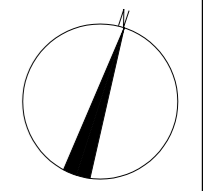


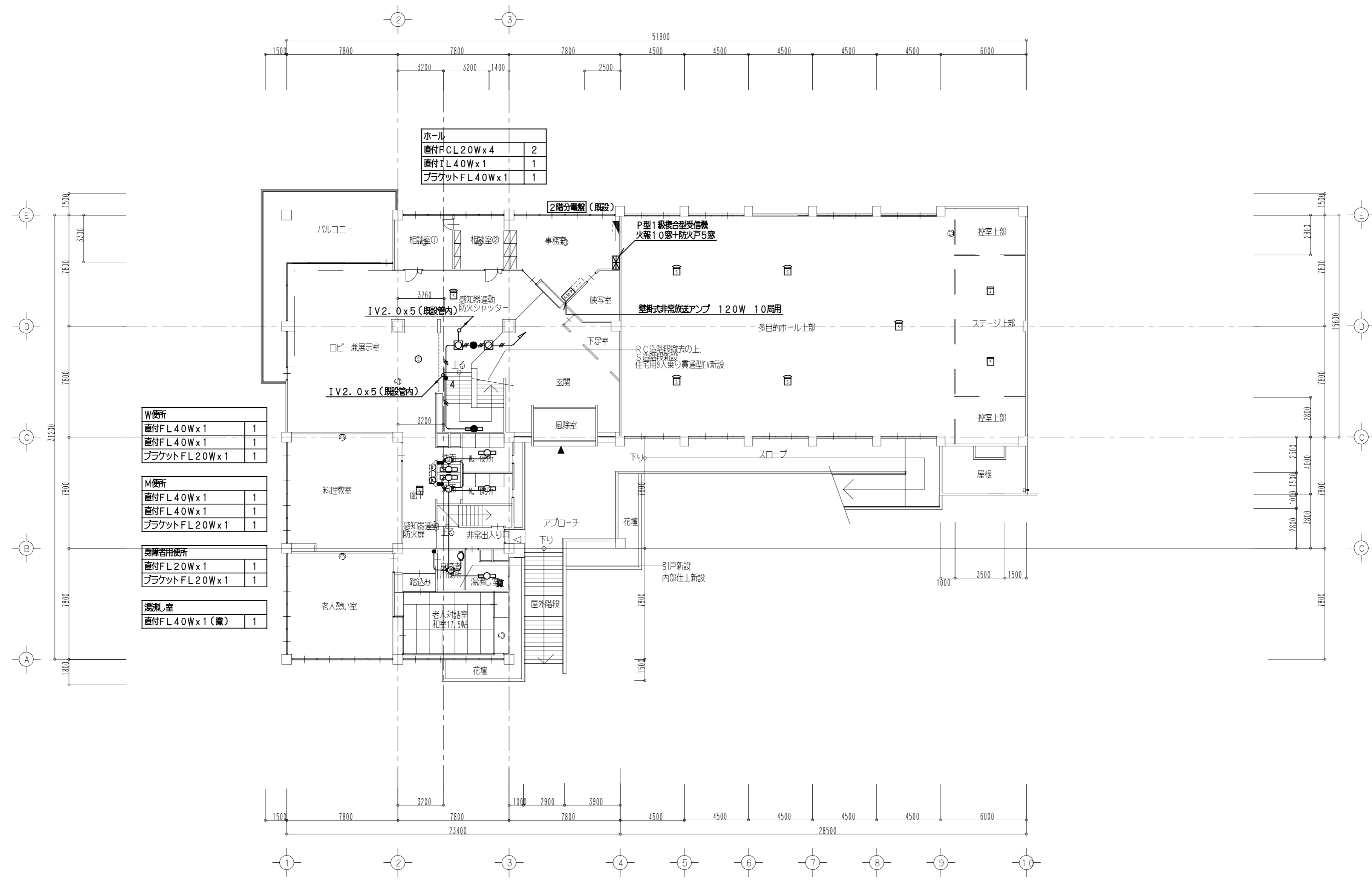
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者	担当者	図面種別 E	縮尺 1/200(A2)	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理建築士 山本博博 1級建築士 195582号
		図面名称 電気設備 3階平面図(改修図)		図面番号 04		1級建築士 第142316号			





特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者	担当者	図面種別	縮尺	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理建築士 山本隆博 1級建築士 195582号
				図面名称 電気設備 1階平面図(撤去図)	図面番号 05	縮尺 1/200(A2)			





ホール		
直付FL 20W x 4		2
直付FL 40W x 1		1
ブラケットFL 40W x 1		1

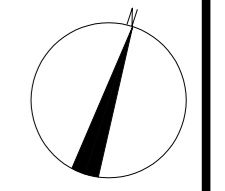
W便所		
直付FL 40W x 1		1
直付FL 40W x 1		1
ブラケットFL 20W x 1		1

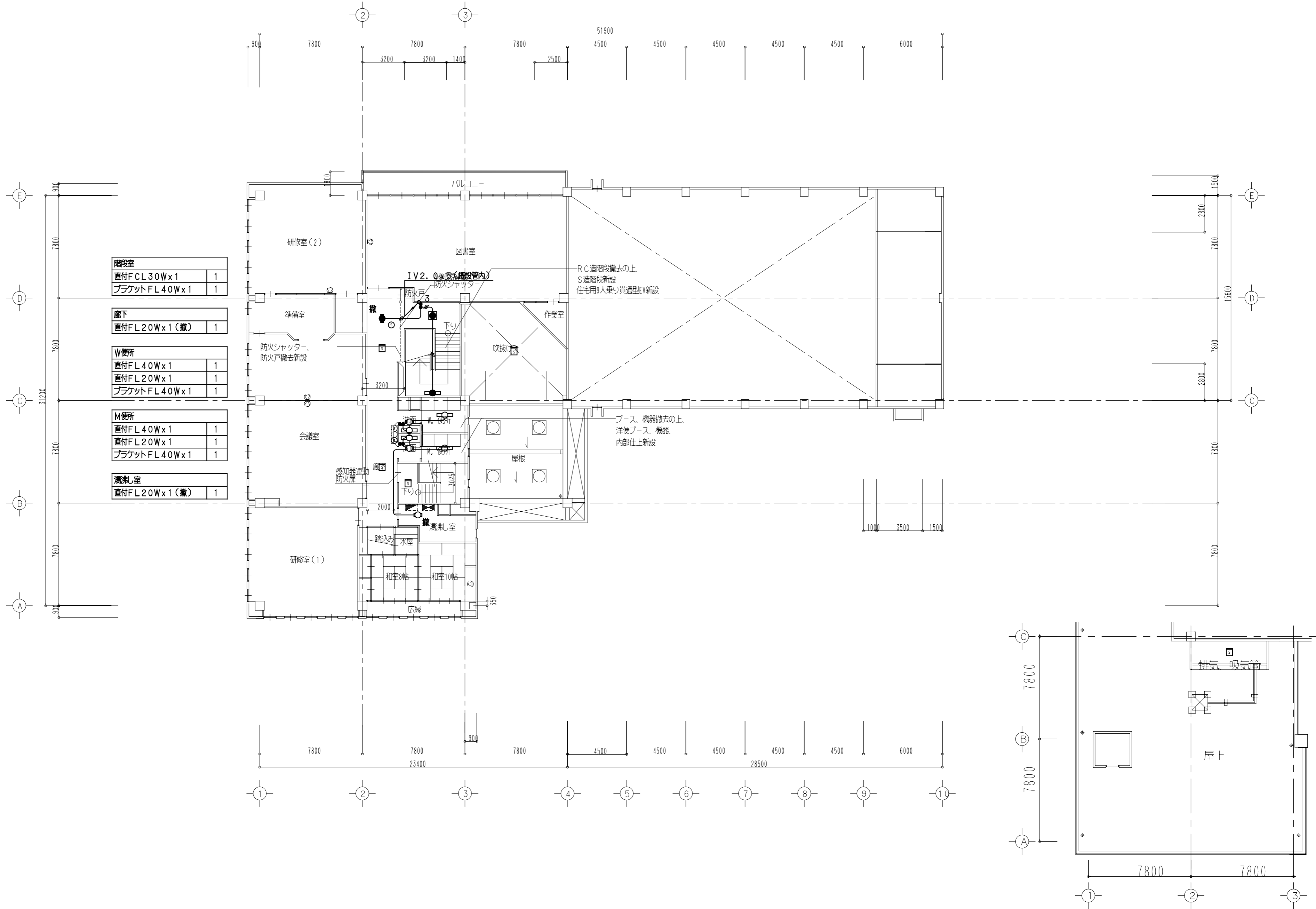
M便所		
直付FL 40W x 1		1
直付FL 40W x 1		1
ブラケットFL 20W x 1		1

身障者用便所		
直付FL 20W x 1		1
ブラケットFL 20W x 1		1

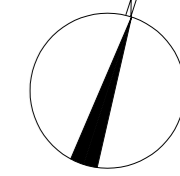
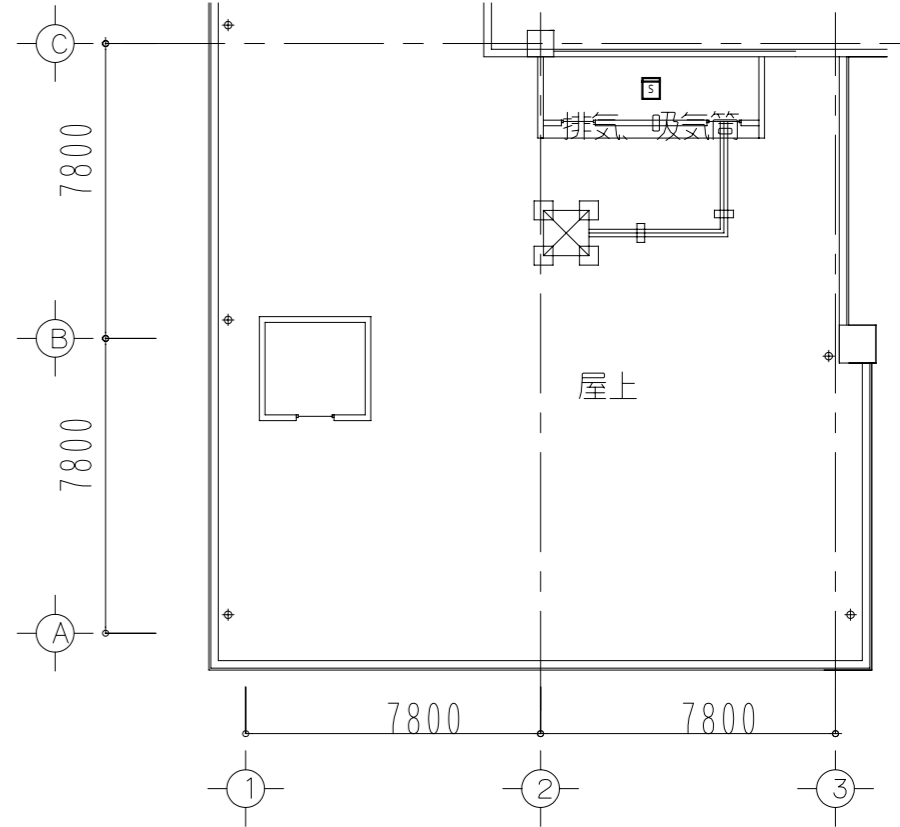
湯沸し室		
直付FL 40W x 1 (兼)		1

特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者	担当者	図面種類 E	縮尺 1/200(A2)	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理建築士 山本隆博 1級建築士 195582号
				図面名称 電気設備 2階平面図(撤去図)	図面番号 06	図面種類 E	縮尺 1/200(A2)		





階段室	
直付FL30Wx1	1
ブラケットFL40Wx1	1
廊下	
直付FL20Wx1(兼)	1
W便所	
直付FL40Wx1	1
直付FL20Wx1	1
ブラケットFL40Wx1	1
M便所	
直付FL40Wx1	1
直付FL20Wx1	1
ブラケットFL40Wx1	1
湯沸し室	
直付FL20Wx1(兼)	1



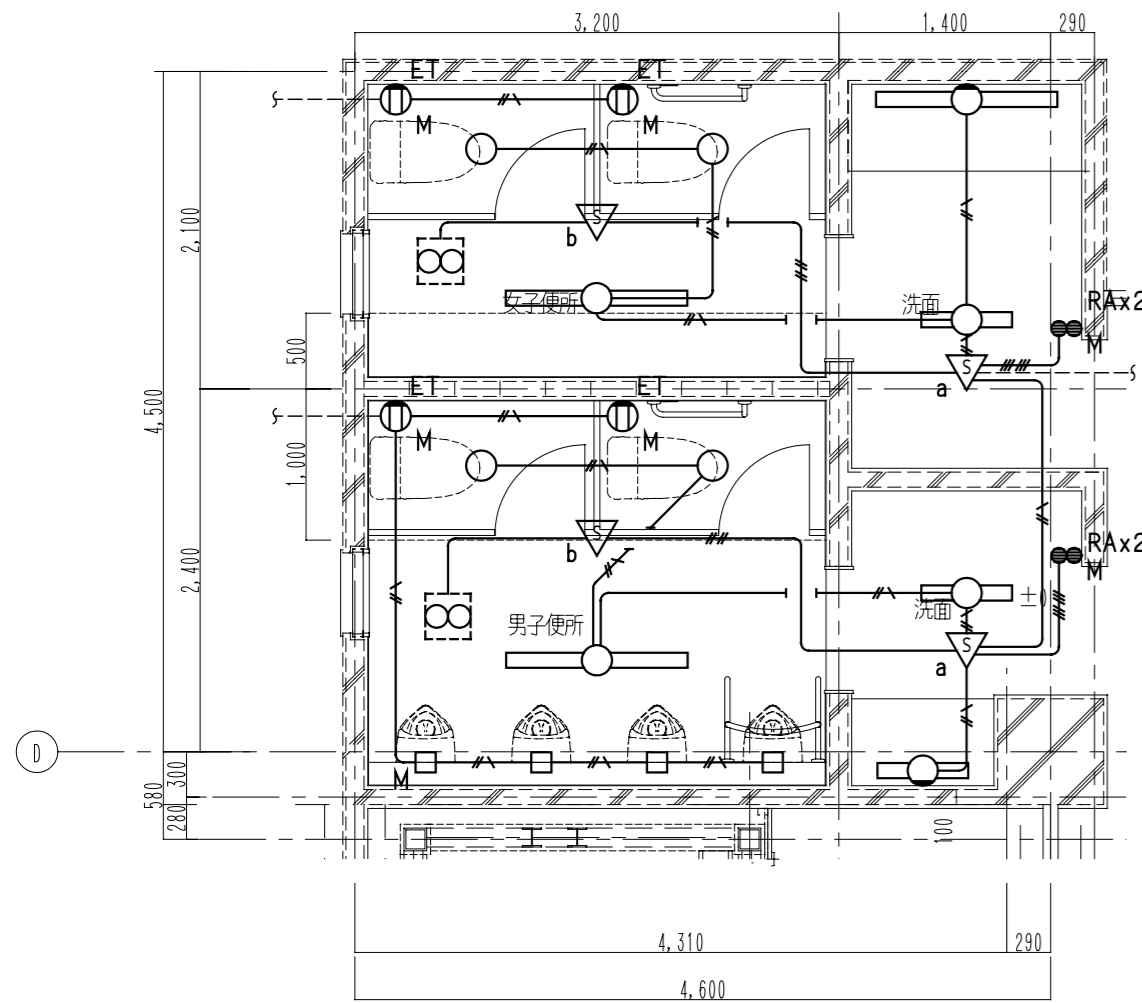
特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者	担当者	図面種別 E	縮尺 1/200(A2)	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理建築士 山本博徳 1級建築士 195582号
				図面名称 電気設備 3階・4階平面図(撤去図)	図面番号 07	図面名称 電気設備 3階・4階平面図(撤去図)	図面番号 07		



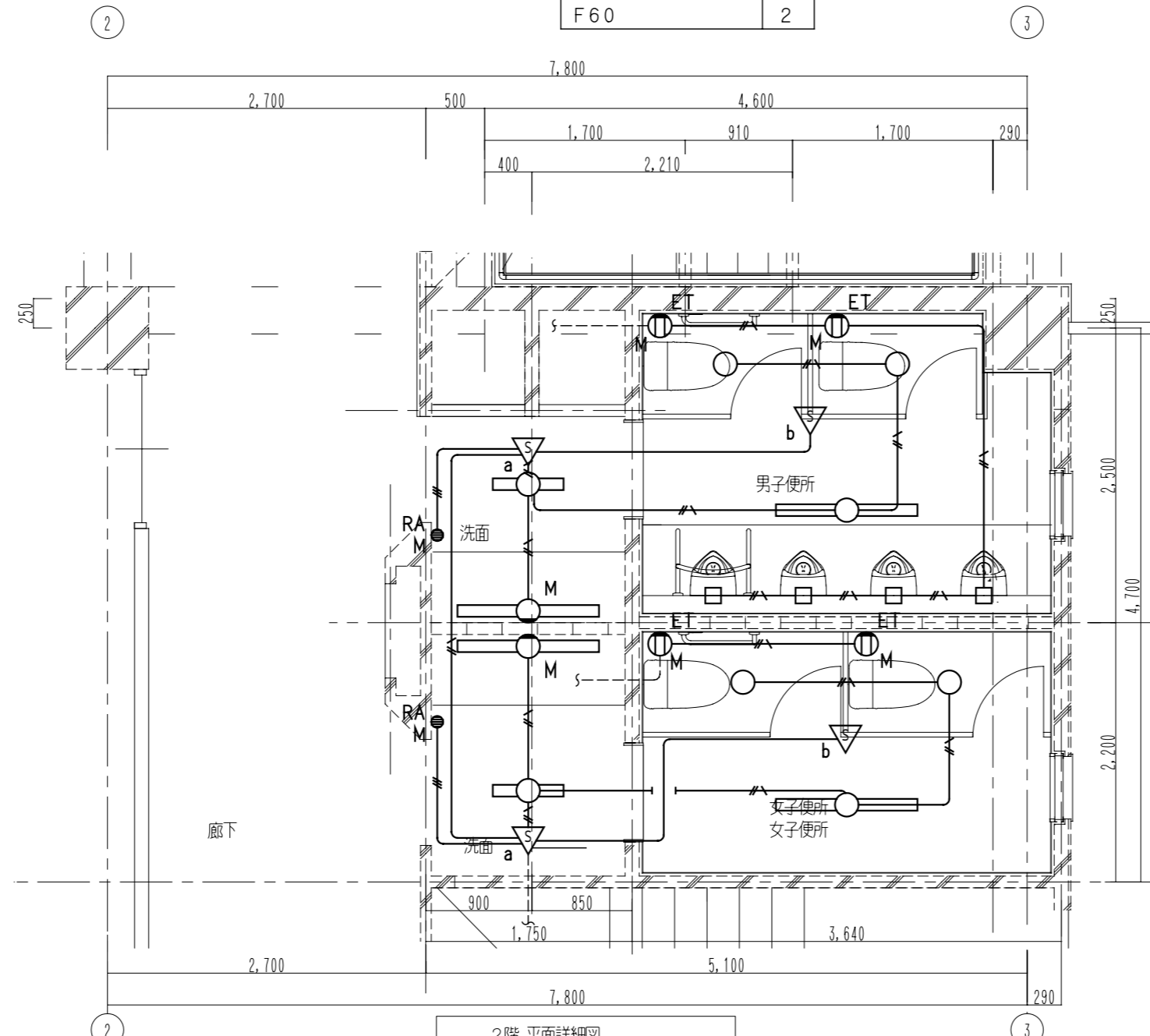
女子便所	
B 4 0 1	1
C 2 0 1	1
D 4 0 1	1
F 6 0	2

男子便所	
B 4 0 1	1
C 2 0 1	1
D 4 0 1	1
F 6 0	2

男子便所	
B 4 0 1	1
C 2 0 1	1
D 4 0 1	1
F 6 0	1

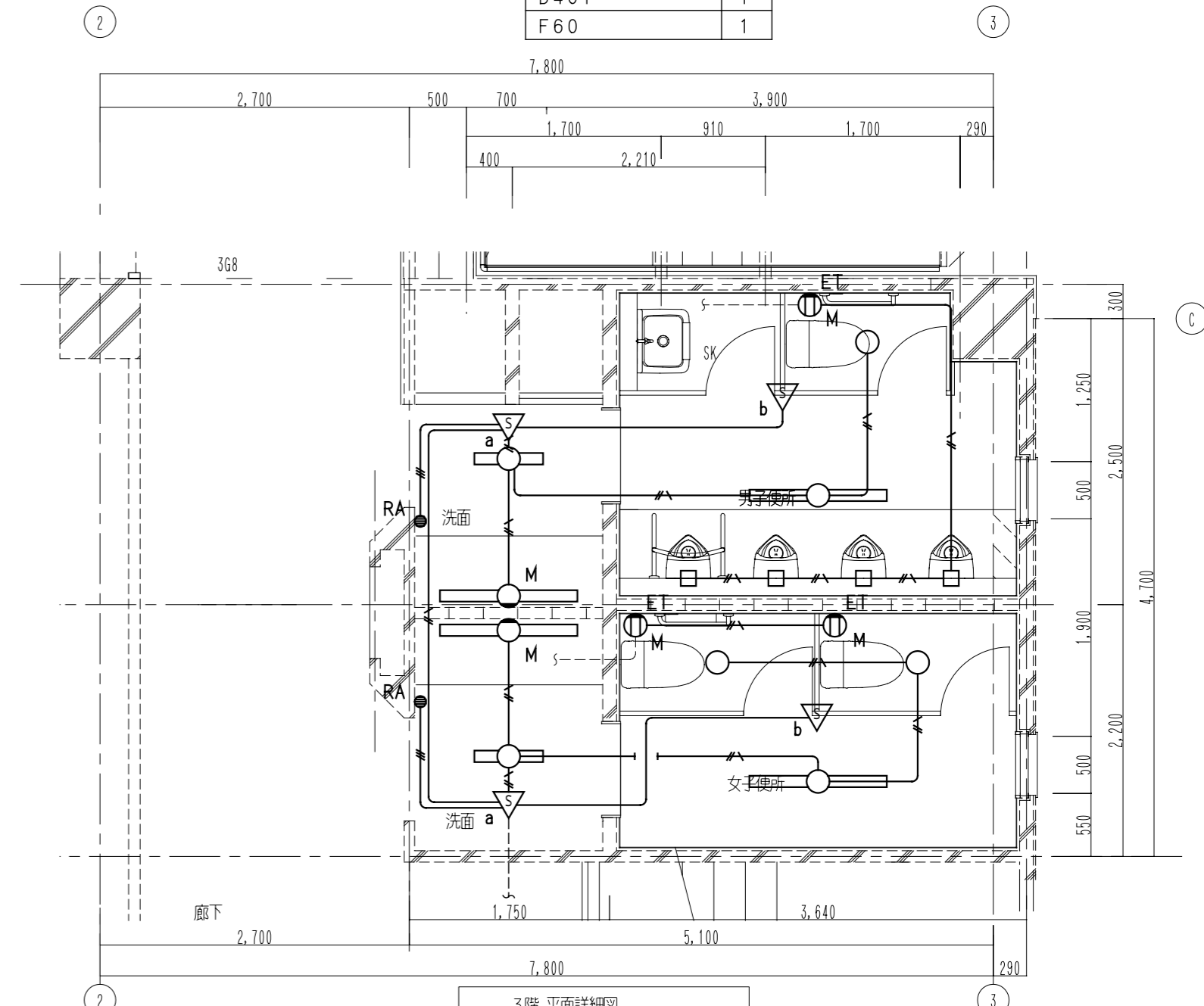


男子便所	
B 4 0 1	1
C 2 0 1	1
E 4 0 1	1
F 6 0	2



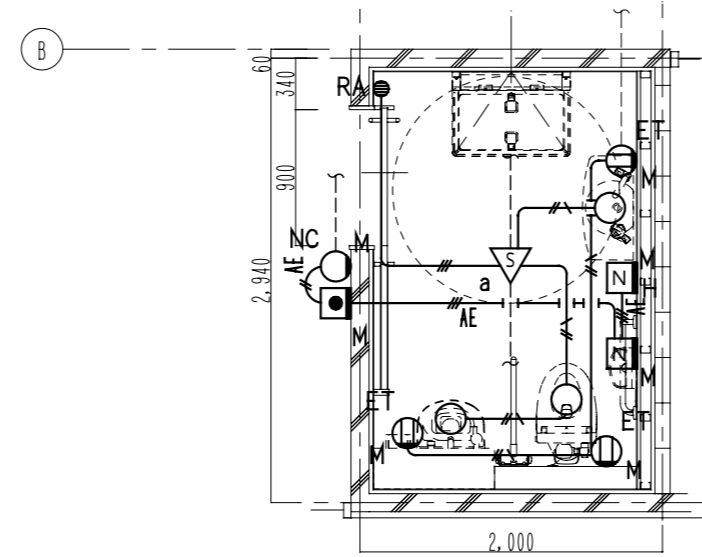
2階 平面詳細図

女子便所	
B 4 0 1	1
C 2 0 1	1
D 4 0 1	1
F 6 0	2



3階 平面詳細図

女子便所	
B 4 0 1	1
C 2 0 1	1
D 4 0 1	1
F 6 0	2



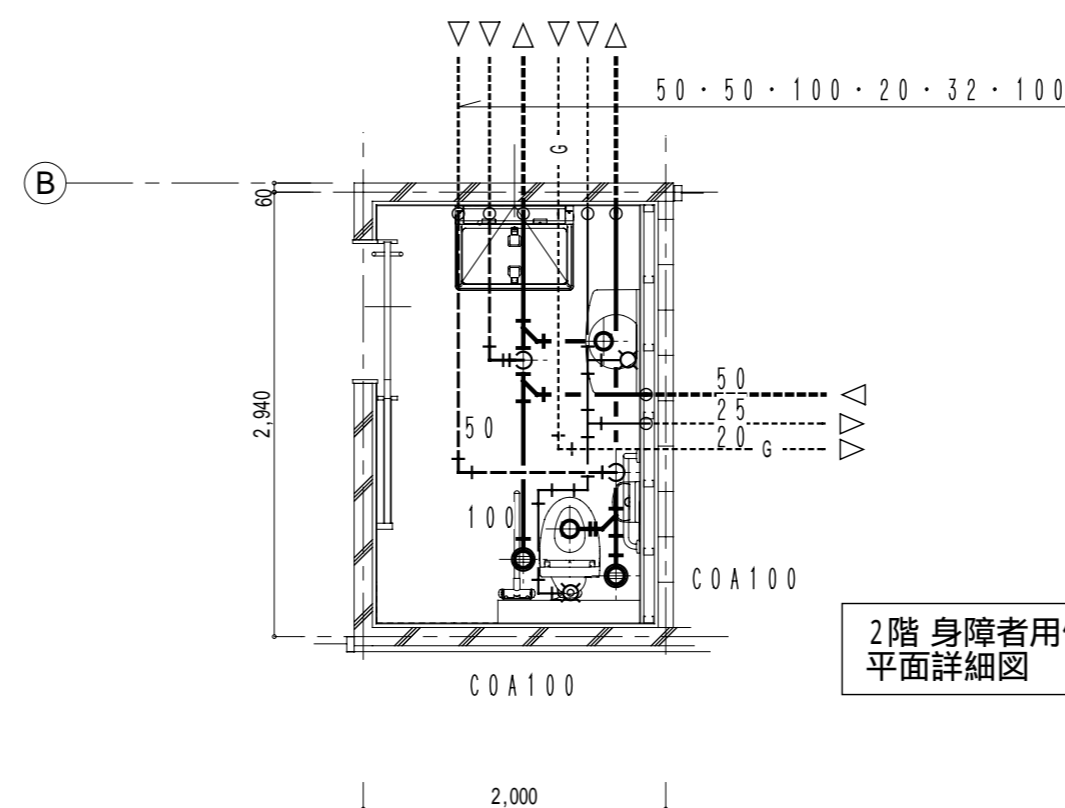
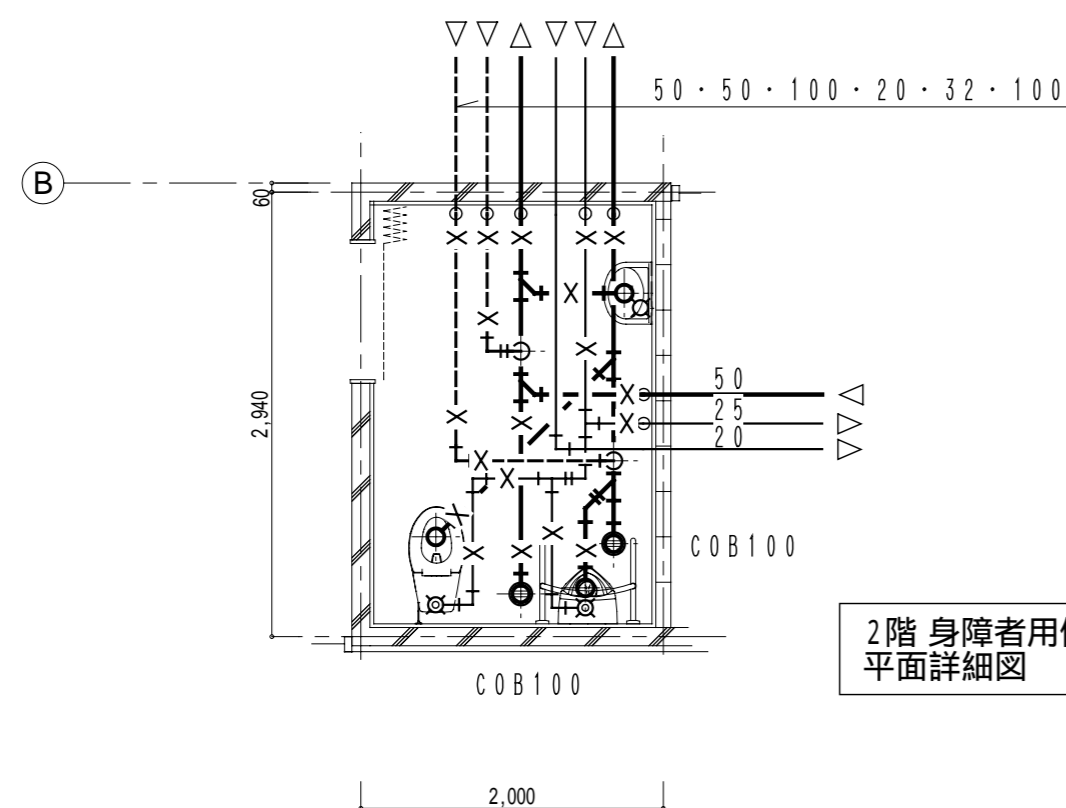
身障者用便所	
F 6 0	3

2階 身障者用便所
平面詳細図

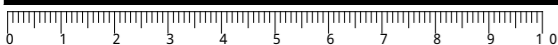


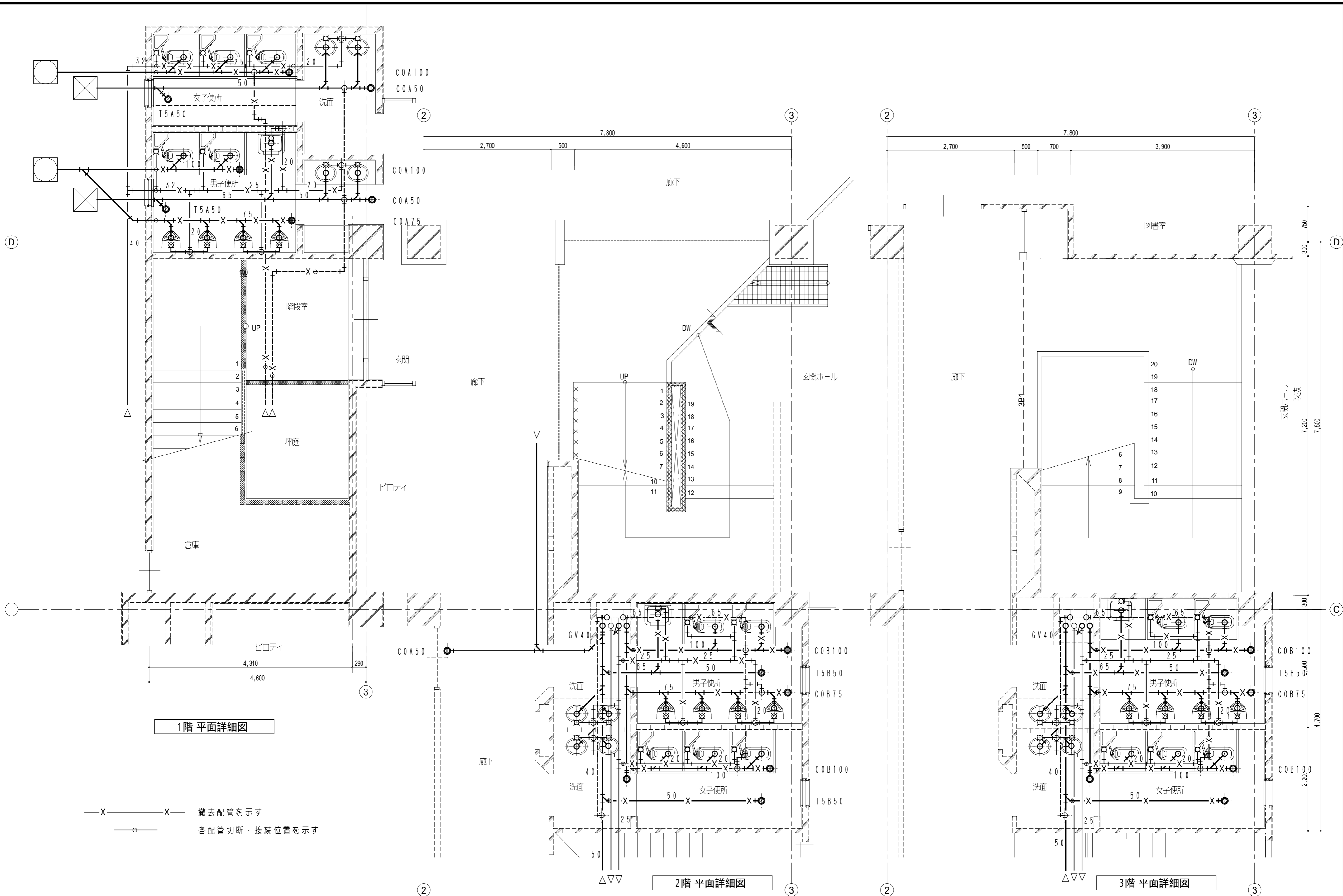
撤去衛生器具表							
名称	品番	1階	2階	2階身障便所	3階	計	備考
大便器	C252 DT470	5	5		5	15	
洗面器	L2584FC LF2584-1105P	(4)	(4)		(4)	(12)	既存再使用
人口大理石カウンター	ML-3	(2)	(2)		(2)	(6)	既存再使用
掃除流し	S202 LF7E-19	1	1		1	3	
小便器	U206S UF3	4	4	1	4	12	
身障者便器	C5 CF170KWV CF210S			1		1	
小便器	U206S UF3 TEA80 KF600			1		1	

新設衛生器具表							
名称	品番	1階	2階	2階身障便所	3階	計	備考
洋風便器	CS60B SH671BA TCF581MR YH600FM	2	2		1	5	
洋風便器	CS60B SH671BA TCF581WR YH600FM	2	2		2	6	
小便器	UFS800C	4	4		4	12	
掃除流し	SK22A TK22 T37SEP T23AE20 TN114X T9R			1		1	
洗面器		(4)	(4)		(4)	(12)	既存再使用
人口大理石カウンター		(4)	(4)		(4)	(12)	既存再使用
身障者便器	C480S TEF75LRX TES27T TH758 TS40L T82C32 HP430 T53DNAY TCF4121 TCA88 TH484V3 EWC283 YH51R			1		1	
手洗器	LSE570AP			1		1	
洗面器	L270DM TEL76GX T6BMP TS126AR TL220D TS119RCR4			1		1	



----- 既設配管を示す
 -X-X- 撤去配管を示す
 ○ 各配管切断・接続位置を示す





1階 平面詳細図

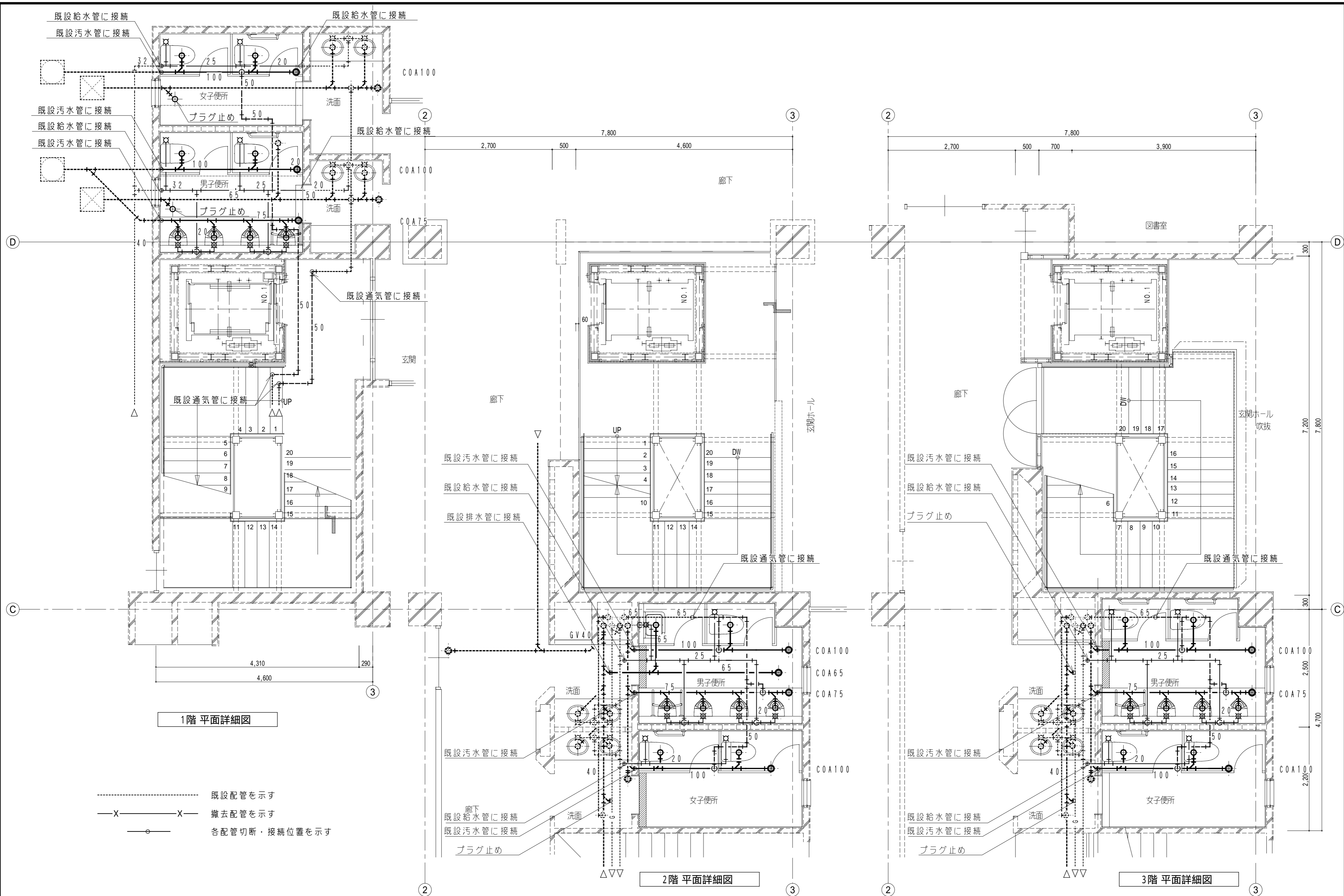
2階 平面詳細図

3階 平面詳細図

—X—X— 撤去配管を示す
 ○ 各配管切断・接続位置を示す

特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者 岡部 六弥 1級建築士 第142316号	担当者	図面種類 M 03	縮尺 1/50 (A2)	図面名称 改修前 便所平面詳細図	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理棟士 山本博博 1級建築士 195582号
----	----------------	------------	-----------------------	-------------------------------------	-----	-----------------	-----------------	---------------------	---	----------------------------------





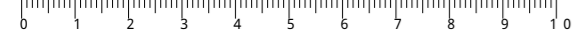
1階 平面詳細図

2階 平面詳細図

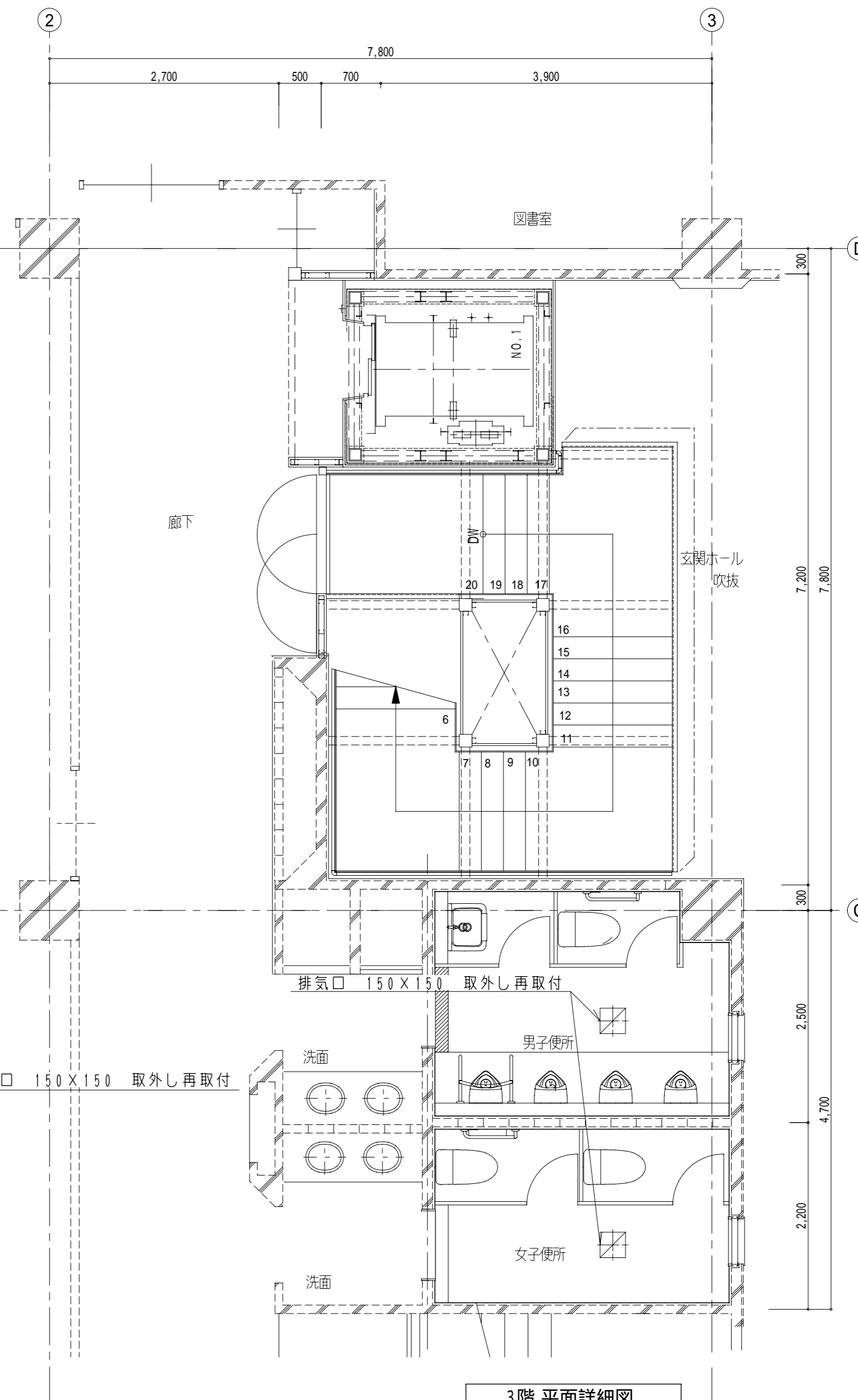
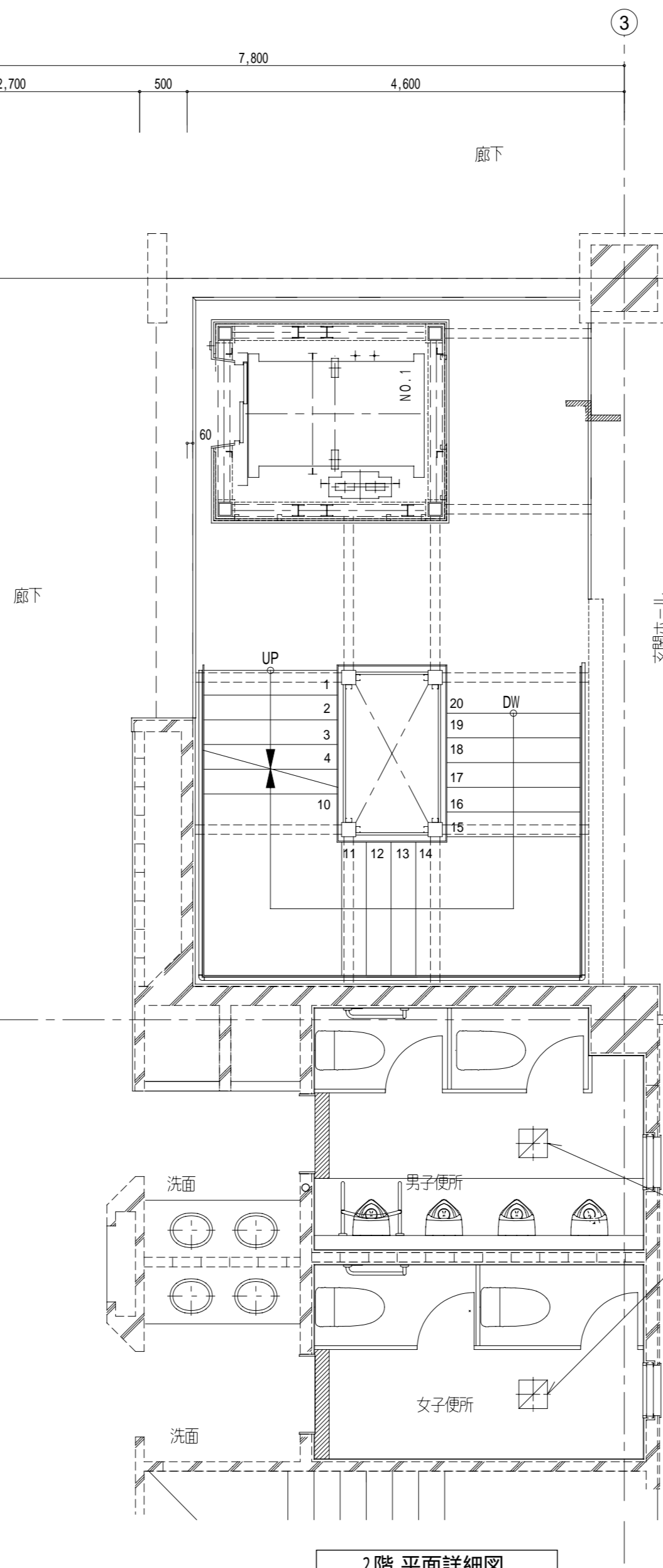
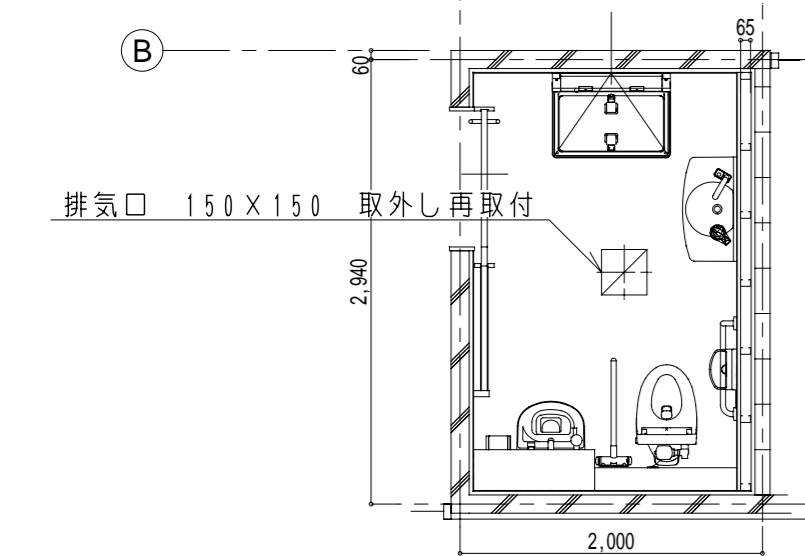
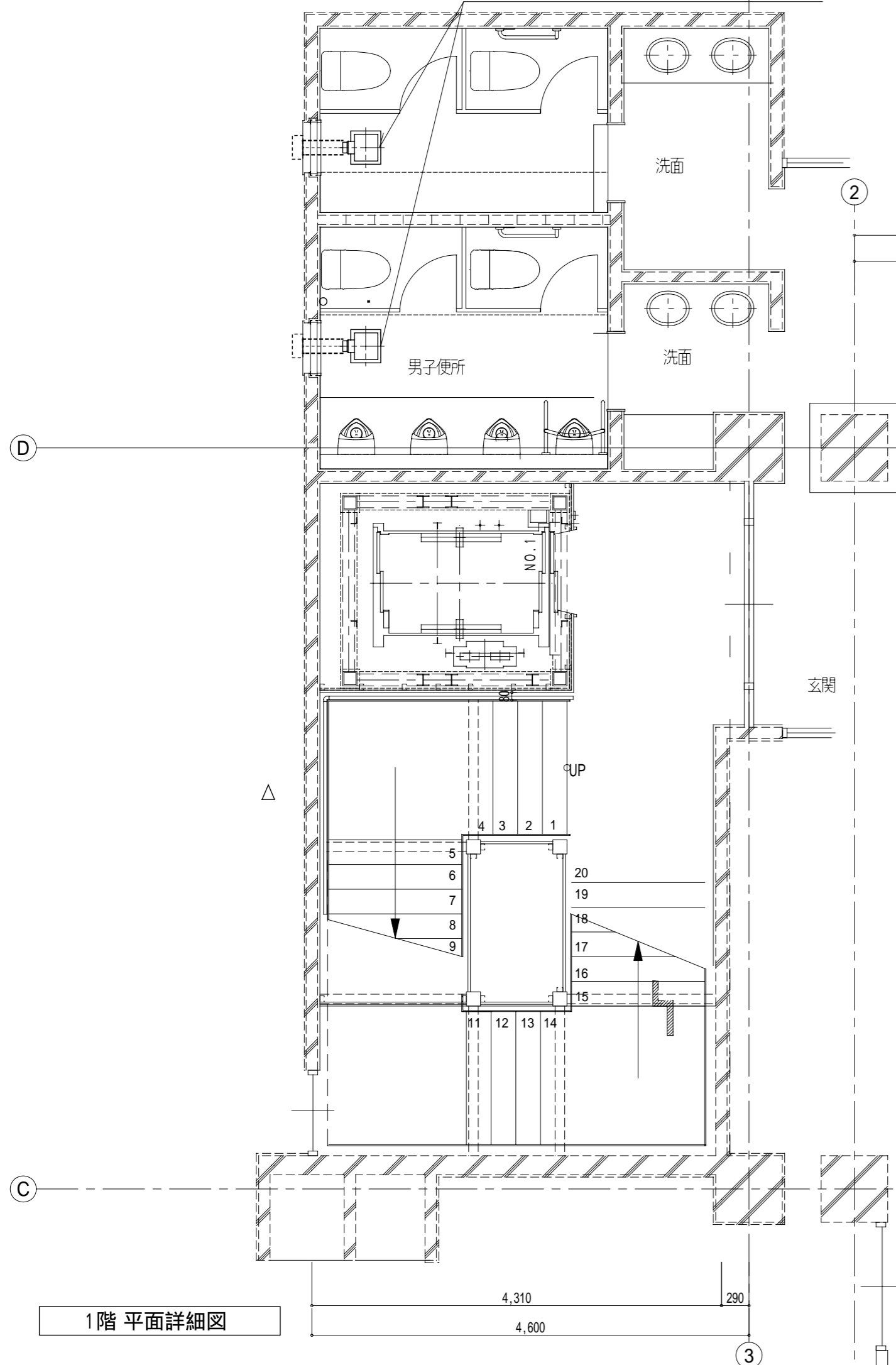
3階 平面詳細図

- - - - - 既設配管を示す
 -X-X- 撤去配管を示す
 ○ 各配管切断・接続位置を示す

特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者 岡部 六弥 1級建築士 第142316号	担当者	図面種別 M 04	縮尺 1/50(A2)	図面名称 改修後 便所平面詳細図	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1・2016号	管理建築士 山本博徳 1級建築士 195582号
----	----------------	------------	-----------------------	-------------------------------------	-----	-----------------	----------------	---------------------	---	-----------------------------------



天井換気扇撤去更新 520m³/h X 82W



特記	設計番号 P1203M	作成日付 訂正	工事名称 関文化交流センター改修工事	総括責任者 岡部 大智 1級建築士 第142316号	担当者	図面種別 M 05	縮尺 1/50 (A2) 改修後 換気平面詳細図	株式会社 浦野設計 三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理建築士 山本博博 1級建築士 195582号
----	----------------	------------	-----------------------	-------------------------------------	-----	-----------------	--------------------------------	---	-----------------------------------

